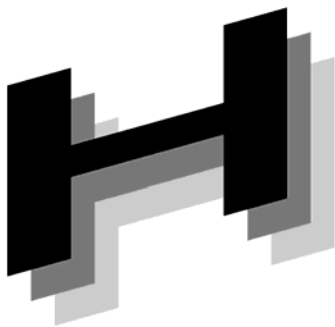




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

医療情報交換仕様

J A H I S
病名情報データ交換規約
Ver. 1.0

平成 20 年 3 月

保健医療福祉情報システム工業会
メッセージ交換委員会

JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver. 1.0

まえがき

従来よりHIS（病院情報システム）と病院内部システム間のデータ交換において、メーカー間での統一はもとより、同一メーカーにおいても導入ユーザによってその仕様が異なり、接続する際には多くの手間と時間を要していた。また、地域連携や病診連携等で病院内外でのデータ交換の必要性が求められる中、病名データ交換規約の策定が重要な課題となってきた。そこで、保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）では、そうした状況を踏まえ、広く病名データの交換に活用できる規約をめざし検討を行った。

本書では、HL7 Ver.2.5に対応したメッセージの検討を行っている。別途JAHISから発行されている「臨床検査データ交換規約」や「放射線データ交換規約」との共通部分の整合性、さらに経済産業省「医療情報システムにおける相互運用性の実証事業」の成果を考慮し、とりまとめたものである。対象範囲として、患者情報や保険情報も含めた。

本規約に基づくインタフェースが多くのシステムに実装され、病名情報データ交換標準化に貢献できれば幸いである。

2008年3月

保健医療福祉情報システム工業会
メッセージ交換委員会

<< 告知事項 >>

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

Copyright©2008 保健医療福祉情報システム工業会

Copyright©2008 日本HL7協会

Copyright©2008 Health Level Seven Inc. .

目 次

1. はじめに	1
2. HL7 概要	2
3. 主な用語	3
4. 病名情報データ交換規約の対象範囲	4
5. 関連情報詳細	6
5.1 HL7 メッセージについて	6
5.2 フィールドについて	6
5.3 Message Delimiters メッセージ区切り文字	9
5.4 Data types データ型	10
5.5 HL7 定義以外のテーブルについて	39
6. 病名情報メッセージ構文	41
6.1 患者情報通知 (ADT/ACK)	41
6.2 病名情報通知 (PPR/ACK)	43
6.3 患者情報照会 (QBP/RSP)	45
6.4 病名情報照会 (QBP/RSP)	47
7. 関連セグメント詳細	49
7.1 MSH - Message Header Segment メッセージヘッダセグメント	49
7.2 MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ肯定応答セグメント	54
7.3 ERR - Error Segment エラーセグメント	56
7.4 QPD - Query Parameter Definition Segment 照会パラメータセグメント	61
7.5 QAK - query acknowledgment segment 照会認知セグメント	63
7.6 PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント	65
7.7 NK1 - Next of Kin / Associated Parties Segment 近親者情報セグメント	72
7.8 PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント	79
7.9 AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報	86
7.10 IAM - Patient Adverse Reaction Information Segment 副作用情報セグメント	88
7.11 PRB - Problem Detail Segment プロBLEM詳細セグメント	93
7.12 IN1/ZI1 - Insurance Segment 保険セグメント	98
7.13 ORC - Order Common Segment 共通オーダーセグメント	109
7.14 OBX - Observation/Result Segment 検査結果セグメント	124
7.15 RCP - response control parameter segment 応答コントロールパラメータセグメント	129
7.16 ZPR - Extended Problem Information プロBLEM拡張情報セグメント	132
付録-1. 患者情報通知のメッセージ例	134
付録-2. 病名情報通知のメッセージ例	144
付録-3. 照会・応答のメッセージ例	156

1. はじめに

1999年にはICD10対応電子カルテ用標準病名マスタが策定され、病名情報の標準化が始動しました。また、医療機関において「病名情報」を扱う場面は多く、特にレセプトとの関わりの深い。1991年にレセプト電算システムの運用が開始し、病院業務における病名情報の電算化が進んできた。2002年にそれまで別々に作成・管理されていた「レセプト電算処理システム用傷病名マスタ/修飾語マスタ」（社会保険診療報酬支払基金（以下「支払基金」））の傷病名マスタ（以下「新傷病名マスタ」）との連携、2003年には修飾語マスタ（以下「新修飾語マスタ」）との連携が成され、さらにDPC (Diagnosis Procedure Combination) による包括的診療報酬制度が導入され、病名情報の標準化が普及してきている。2008年にはレセプトオンライン請求が開始されるなど、病名情報のオンライン化は着実に進んできている。

現在、政府が出したIT新改革戦略を背景に電子カルテ構築が加速している。その中では標準規格・コードを用いたシステム構築を推奨している。電子カルテシステムと部門システムとの間では、標準規格による接続が望まれている。

上述の状況を背景に、今回、病名情報に関するHL7の適用を検討し、ここに保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）標準として病名情報のデータ交換規約を作成した。このJAHIS標準が活用され、HL7の普及が促進されることを期待する。本規約の策定にあたって、ご指導ご鞭撻を賜った諸先生方と関係団体の皆様には、心から感謝する。

2. HL7概要

(HL7とは)

ヘルスケア関連情報の電子的データ交換のための応用規約であり、また、規約の制定団体の名称でもある。異なるベンダの異なるシステム間のインタフェースとなる標準的書式である。本規約はOSI手順の第7層であるアプリケーション層に由来してHL7と名付けられたものであり、物理的規約は制定していない。

(なぜ標準化なのか)

基本的目的は増大する医療費の削減と医療の質の向上である。それは医療費の効率化のためコスト計算を明らかにするとともにヘルスケア品質の計測化による質の向上を目指すものである。

1960年代は単独処理で他との接続は必要なかったが、1970-85年にかけて部門システムとの接続が始まり、1985年以降様々なシステム間で接続が要望され、インタフェース標準化の必要性が増大している。病院単独から病院の統廃合も手伝ってヘルスケア共同体が拡大し、今日のヘルスケアは病院を中心に事務所、製造業、販社、支払者、診療所、政府機関が一体となった情報連携が必要で、かつ患者を取り巻くすべての部門とのトランザクションが通信で出来ることが必要となってきた。

技術の進歩、通信環境の進歩、場所の多様化、システムの巨大化が背景となり標準化されたデータ交換が可能であり不可欠となっている。

(HL7の歴史)

1987年3月ペンシルバニア大学病院にて初会合、3-4ヶ月かけV1.0のドラフトができた。V1.0は1987年10月に発表され全体的なインタフェースと入退院、オーダエントリ、オーダ照会がふくまれる。患者会計の重要性が認識されていたが時間的制約で含まれなかった。以後1988年9月にV2.0、1990年にV2.1が発表された。1991年にはANSIのメンバとなり、1992年にはANSI HISPP(Healthcare Informatics Standards Planning Panel)の起草メンバとなった。1994年にはANSIに認知された標準化組織となった。1994年末V2.2を発表し、最新版は2001年のV2.5で、ISO規格にも採用された。さらに、2005年の時点でV2.6も一部承認されており、またオブジェクト指向のV3.0も部分的に承認されている。2006年にはRIM(Reference Information Model)がISO/DISになっている。

(HL7の組織)

HL7は会員制の組織であり会員は意見を反映させることができる。即ちHL7の情報源は会員の意見である。HL7の使用は会員であることを問わないが、HL7からのタイムリーな情報提供はない。理事会と作業グループがあり会員が参加できるし、作業グループに参加しなくても案に対して意見を述べるができる。また医療提供者顧問と工業会顧問のアドバイスを受ける。会員には、医療機関、コンピュータ会社、医療関連会社、コンサルタント会社などがある。また米国以外の国々の会員もいる。会員数は増加しており現在1500を超える会員数である。国際支部も既に30ヵ国以上になり各国での利用が進んできた。

(HL7プロトコル概要)

HL7はOSI第7層(アプリケーション層)での規約であり、データの型や要素、要素の構成やグループ、コードや用語、機密保持、管理規約などが定義される。HL7の包含する対象はV2.1では入退転院、患者基本情報、オーダ、検査報告、財務的処理、照会などである、さらにV2.2では、マスタファイル更新、V2.3では、文書管理、予約、患者紹介、患者看護、V2.4、V2.5では自動検査、人事管理、保険請求、材料管理などが追加された。

HL7の基本的体系は、メッセージタイプID付電文で構成され、複数セグメントで論理的意味をなすメッセージとなる。メッセージ(例えば入退転)は、具体的なきっかけとなる事象(例えば患者入院)により、データ構成要素(例えば患者名)からなるセグメント(例えば患者属性)の集合として構成される。メッセージ交換は会話的にもバッチ処理的にも行われるものである。

(他の標準化組織との関連)

ASTM E1238検査システム間データ交換をもとに検査関連をまとめているので互換性がある。HL7を含めた標準化団体の調和を図るためANSIでは、HISPP(現HISB)部門を設置し、NCPDP(薬剤情報)、ACR/NEMA(画像DICOM)、IEEE MEDIX(医療情報記述交換)、ASTM(検査関連臨床情報交換)、ASC X12(会計保険情報の電子データ交換)と協調している。また国際的にもCEN-TC251(European Committee for Standardization Technical Committee 251)などと連絡を取り合っている。これら協調は重複の縮小、標準化のスピードアップ、コスト低減、国際関係の促進、政府によらない開発、販売者の共同作業の促進などのため必要なことである。さらにISO/TC215(Health Informatics)とHL7はPilot ProjectとしてHL7規格をISO規格にすることが決定されている。

(日本HL7協会他国内の標準化組織との関連)

日本HL7協会が1998年7月に設立された。これを受け、JAHISでもHL7標準化規約の日本国内における普及を日本HL7協会と協力し、進めている。

3. 主な用語

トリガーイベント Trigger Event : メッセージの交換を始めるきっかけとなる事象をトリガーイベントという。HL7は、実際のヘルスケア現場でのシステム間データ通信の必要性に応じた事象を受けて書かれている。例えば、「患者が入院」というトリガーイベントは、その患者についての情報を幾つかの他のシステムに伝送する必要性を引き起こすであろう。それらメッセージ型とトリガーイベントコードは一对多の関係である。

メッセージ Message : 1つのメッセージは、システム間で転送されるデータの意味のある最小単位である。これは定義された順序のセグメントの集合からなる。各々のメッセージはその目的を定義するメッセージタイプを持つ。例えば、ADT(入退転)メッセージタイプはあるシステムから別なシステムに患者の入退転データの一部を伝送するために使用される。各々のメッセージに含まれる3文字のコードがそのタイプを識別する。

セグメント Segment : セグメントはメッセージの1つの側面について記述するもので、データ要素(フィールド)の論理的集合体である。各々のセグメントはセグメントIDと呼ばれる3文字のコードで識別される。メッセージ中のセグメントは必要なものと任意のものとなる。それらはメッセージ中一回だけ出現する場合と繰り返しが許される場合となる。たとえば、単一のオーダ関連情報はOBRセグメントとして送られ、検査関連情報は別のOBXセグメントとして送られることがある。

フィールド Field : 診断名などといったセグメント中の一つの意味付けされた属性であり、フィールドには基本属性をさらに詳細に記したデータ成分の集合を含むことがある。

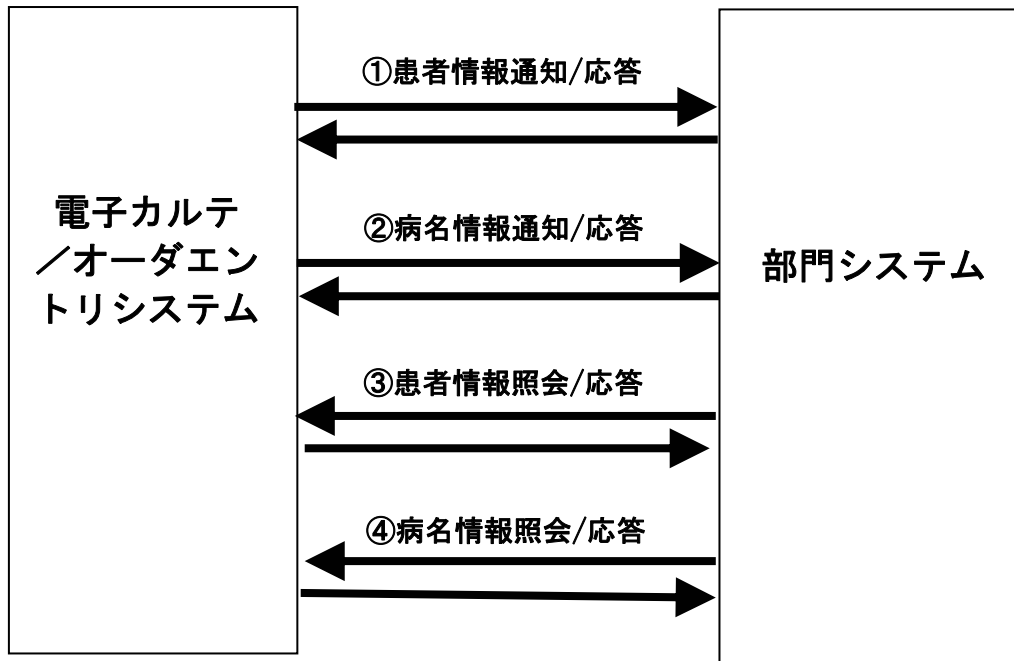
フィールド成分 Field components : フィールドへの入力要素として、成分という識別可能な部分を含むことがある。たとえば患者名は、姓、名、ミドルネーム(イニシャル)として記録されるが、それぞれの要素は別個のエンティティであり、成分区切り文字により分離される。成分はさらに副成分で構成される場合もある。

メッセージ区切り文字 Message Delimiters : メッセージを構成するにあたっては、定義された文字が使用される。それらは、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、そしてエスケープ文字である。

病院情報システム HIS (Hospital Information System) : ADT(入院、退院、転院)機能など、通常、検査室の外部の機能をサポートするデータ管理システム。

4. 病名情報データ交換規約の対象範囲

病名情報データ交換規約は下図「システム間情報伝達イメージ」の範囲を対象とする。また、取り扱うメッセージタイプ及びトリガーイベントを表「メッセージとトリガーイベント」に示す。



システム間情報伝達イメージ

メッセージとトリガーイベント

メッセージ定義	メッセージタイプ	トリガーイベント	イベントタイプ
①患者情報通知/応答	ADT→ ←ACK	入院	A01
		転科転棟	A02
		退院	A03
		患者基本情報、感染症・血型、保険情報 登録／更新	A08
		入院取消	A11
		転科転棟取消	A12
		退院取消	A13
		患者情報（アレルギー）の通知	A60
②病名情報通知/応答	PPR→ ←ACK	病名情報の通知	ZD1
③患者情報照会/応答	QBP→ ←RSP	患者情報（基本情報、保険情報、感染症・血 型、アレルギー）の照会	
④病名情報照会/応答	QBP→ ←RSP	病名情報の照会	

HL7規約書では病名情報を明確に表現するセグメントは規定されていないため、本規約では、病名情報を患者プロブレムセグメントにて表現することとした。

本規約では上記のメッセージタイプ及びイベントタイプをサポートし、QBP等は標準的に使用する範囲を規定する。

患者管理のイベントは患者情報の更新(A08)を通常使用し、その他のイベントは双方の取り決めによる。

「メッセージタイプ」欄の矢印(→、←)は、メッセージの応答関係を表す。上側の矢印(→)が最初のメッセージの送信を意味し、下側の矢印(←)が最初のメッセージに対する応答メッセージの送信を意味する。

メッセージの概要

- ① 患者情報通知 (ADT/ACK)
患者情報を電子カルテ/オーダエントリシステムから部門システムにADTメッセージで通知する。
基本情報通知に際しては、保険情報も含んだ通知文となる。
- ② 病名情報通知 (PPR/ACK)
患者情報を電子カルテ/オーダエントリシステムから部門システムにPPRメッセージで通知する。
- ③ 患者情報照会 (QBP/RSP)
患者情報をQBPメッセージで問合せ、それに対する回答をRSPメッセージで返す。
- ④ 病名情報照会 (QBP/RSP)
患者情報をQBPメッセージで問合せ、それに対する回答をRSPメッセージで返す。

5. 関連情報詳細

5.1 HL7メッセージについて

HL7 の全てのメッセージは、何らかのイベント(事象)が発生することにより生成される。例えば病名情報通知というオーダが発生すると、これをトリガーイベントといい、このイベントにより病名情報通知メッセージが発生することになる。すべてのメッセージは、メッセージヘッダセグメント(MSHセグメント)で始まり、各事象などを説明するためのセグメントが続く。各セグメントは、詳細な情報を説明するために、可変長可読文字で記述されるフィールドで構成される。

つまり、メッセージ、セグメント、フィールドは下記のように構成される。

```
メッセージ :   MSH セグメント <CR>
                xxx セグメント <CR>
                yyy セグメント <CR>
                zzz セグメント <CR>

セグメント :   セグメントID | フィールド1 | フィールド2 | フィールド3 | ... <CR>

フィールド :   エレメント1 ^ エレメント2 ^ エレメント3 ^ ...
```

5.2 フィールドについて

各セグメントは (MSH セグメントで規定される) フィールドセパレータ¹により分離されたフィールドの集まりとして記述される。フィールドで記述されるデータは、

解説 : 各セグメントは、送信側の3種類の意図があり、受信側は次の通りの処理を行わなければならない

1. 有効な文字列で記述されている場合 : 各セグメントには文字、数値で示されたデータが記載されていて、その内容に沿って受信側は表示、データベースの更新などを行わなければならない

例 : |abc| データが abc であることを示している

2. 省略記述 : セパレータ(標準では|が使用される)||により記述されている。つまりデータが空の場合は「データ無し」を示していて、受信側はデータベース等の更新は行わない

例 : || データが無いことを示している

3. NULL 記述 : |""|のように二重引用符が2つ""のように記述されている場合は、値が無いことを明示していて、受信側データベース等は値無し(NULL)にしなければならない

例 : |""|値が無い(NULL)ことを示している

本規格は表で説明していて、表は、(セグメント内の)フィールドに位置、最大長、データタイプ、必須・オプション指示、反復使用の可否、(記述のために使用する)テーブル、識別(ID)番号および名称で構成される。

5.2.1 (セグメント内のフィールド)位置

セグメント表 SEQ はセグメント内のデータフィールドの順序と位置を示し、データフィールドの説

¹ 5.3 メッセージ区切り文字のフィールドセパレータ参照

明の参照番号でもある。

5.2.2 最大長

1つのデータフィールドの1反復で使用される文字の最大数で、セグメント表のLENとして規定される。このフィールド長さは標準値であるが、施設独自で変更しても良い。後に定義する成分セパレータと副成分セパレータも文字数として含まれる。最大長は1つの発生の長さであり、反復セパレータは、最大長を計算するときには含まない（章5.2.5 反復を参照）。

最大長の最大値は65536と表す。この規定は64Kと略記したHL7バージョン2.4以前の慣例に代わるものである。HL7 Ver.2.5では最大長はフィールドのデータ型によって決まる。

5.2.3 データタイプ（データ型）

データフィールドで記述するデータの形式を示し、セグメント表のDTで規定している。もしフィールドのデータタイプが不定な場合、“varies”で示される。HL7では第2A章で説明されている。

JAHIS仕様の本規約書では「データ型」とも呼んでいる。

5.2.4 オプション指定

セグメント内のデータフィールドが、必須、オプション等の条件を示し、セグメント表のOPT列で規定している。

JAHIS仕様(本規約書)での取り扱いは以下のとおりである。（R～WはHL7に同じ。）

セグメント表でのJPN列で規定している。

R - 必須。

O - オプション。

C - トリガーイベントおよびその他のフィールド条件による。

セグメント表に続くフィールド定義(説明)では、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを指定すべきである。

X - 対象のトリガーイベントでは使用されない。

B - HL7の前のバージョンへの後方互換性のために残した。セグメント表に続くフィールド定義(説明)では、先のバージョンのため選択フィールドであると表示すべきである。

W - 規定から削除

N - 通常、使用しない。

5.2.5 反復

そのフィールドが反復記述可能か否かを示し、セグメント表のRP/#列で以下の通り規定する。

- N または空白 — 反復なし。
- Y — 無限回または実装時に規定した回数、フィールドが繰り返される。
(整数) — フィールドは、整数で指定された最大回数まで繰り返す。

繰り返しは、そのフィールドの最大長で指定した文字数を含めることができる（「**5.2.2 最大長**」を参照）。

使用上の注意: 空白は反復をしてはならないことを示し、そのフィールドが任意に反復してよいと解釈してはならない。

5.2.6 テーブル

テーブル番号(4桁)は、そのコード化して使用するためのテーブルの識別子を示す。HL7 では次の3種類のテーブルが使用可能である。

使用者定義テーブル(User-defined Tables)

ユーザまたは施設で定義されたテーブルであり、例えば PV1-3-Assigned patient location のように、通常施設毎に定義された異なる値を持つ。このようなテーブルは規格では定義していないが、理解を容易にするために使用者定義テーブル番号を割り当てている。HL7 では施設が使えるような推奨値を仮に示して（例えばテーブル 0001 性別）実装を支援している。また IS データタイプは、このようなテーブルで使う値をコード化するためによく使用される。このようなテーブルのなかには、共通のマスタファイルを参照するテーブルもあり、注意が必要である（例えばテーブル 0302 Point of cure）。

JAHIS 仕様の本規約書では「使用者定義テーブル nnnn」と表現している。

HL7 表(HL7 Tables)

HL7 表は HL7 によって定義/発行された値であり HL7 規格に含まれる。これらの値は実装時再定義してはならないが、実装に必要な値を拡張することができる。例えば HL7 表 0003 – イベント型 に適用される。

JAHIS 仕様の本規約書では「HL7 表 nnnn」または「表 nnnn」と表現している。

外部テーブル(External Tables)

外部テーブルは他の標準化組織によって定義/発行されたものである。フィールドで記述するには CE (旧版互換性確保のため) CF、CNE、CWE 型で使用される。これらのテーブルは、HL7 とその標準化組織との間で合意を得て変更等が行われ、HL7 が代わって HL7 規約として共に発行するが、HL7 規約より頻繁に改訂される可能性があり、使用する際には注意すること。

5.2.7 ID番号

規格全体のデータフィールドを一意的に識別する整数であり、ITEM#列で示される。

5.2.8 名称

フィールドを説明するための名称であり、ELEMENT NAME 列で示される。同じ名称が複数のセグメントで使用される場合、同じデータタイプ、意味、同じ ID 番号をそのセグメントは持つ

ていなければならない。

5.3 Message Delimitersメッセージ区切り文字²

メッセージには、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字の特殊文字が使われる。セグメントターミネータは必ずキャリッジ・リターン(16進0D)³である。その他の区切り文字はMSHセグメントで定義される。つまり、フィールド区切り文字は4番目の文字位置で定義され、それ以外の区切り文字は、フィールド区切り文字に続くフィールドであるコード化文字フィールドで定義される。MSHセグメントで定義される区切り文字は、メッセージ全体に適用される。

メッセージ区切り文字は、MSHメッセージの中で定義され変更可能であるが、本規約では推奨しない。もし実装上で可変とする場合は、実装当事者でその旨の十分な合意をとることが望ましい。これは実装上のトラブルを軽減する上でも有用である

Delimiter values 区切り文字の値

文字位置	区切り文字	推奨値	用法
-	Segment Terminator セグメントターミネータ	<cr> hex 0D	セグメントレコードを終了する。 この値は、変更できない。
-	Field Separator フィールドセパレータ		セグメント内で2個の隣接データフィールドを分離する。
1	Component Separator 成分セパレータ	^	データフィールド内の隣接成分を分離する。
2	Repetition Separator 反復セパレータ	~	反復可能なデータフィールドの複数のデータを分離する。
3	Escape Character エスケープ文字 ⁴	\	テキストフィールド(ST,TX,FTタイプまたはEDタイプの第4成分)では、エスケープ文字が使用できる。これを表す単一の文字は、MSHセグメントのコード化文字フィールドで指定する。このフィールドはオプションであり、エスケープ文字を使わないメッセージではこの文字は省略できる。しかし、副成分セパレータを使用する際は省略できない
4	Subcomponent Separator 副成分セパレータ ⁵	&	データフィールド内で副成分を記述する際に隣接副成分を分離する。副成分が無いときは、省略できる。

文字位置1～4は、MSHセグメントのMSHおよびフィールドセパレータ(通常)文字に続く位置を示す。

テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用(HL7 第2.7章参照)

TX, FT, ST またはCF型等のフィールドで符号化する場合に、エスケープ文字を使用してテキストフィールドの特殊処理を記述することができる。エスケープ文字は、表示可能な任意のASCII文字で

²区切り文字で囲まれる文字列中でASCII以外の文字を使用した場合(escape, invoke)、区切り文字に先立ちASCII文字セットにもどすこと。もし区切り文字が検出された場合、文字セットはASCIIヘリセットしたものとみなす

³各メッセージの終端(ターミネータは)CR(キャリッジリターンであり)Windowsを含むMSDOS系でのCR&LFでは無いことに注意すること。LF(ラインフィード)単独でも無いことに注意すること

⁴エスケープ文字(第3番目の文字で通常\が使用される)は省略可能であるが、ASTM規格と相互利用する機会は希であり、本規格では省略を推奨しない。これは実装時の不要な障害を防ぐためであって、省略する場合は実装相互の理解を必要とする

⁵副成分パラメータ(第4番目の文字で通常&が使用される)は省略可能であるが、ASTM規格と相互利用する機会は希であり、本規格では省略を認めていない。これは実装時の不要な障害を防ぐためであって、省略する場合は実装相互の理解を必要とする

示され、MSH-2 符号化文字のエスケープ文字要素として指定する。

本節では簡単に説明するため、デフォルト文字”\”をエスケープ文字として使用する。エスケープシーケンスとは、エスケープ文字とそれに続く 1 文字(エスケープ・コード ID)、0 個以上のデータ文字、および終端用の 1 つのエスケープ文字から構成される。

特殊文字： フィールド区切り、成分区切り、副成分区切り、反復区切り、およびエスケープ文字をテキストフィールド内に表現するために、以下のエスケープシーケンスが定義されている：

\F\	フィールド区切り (フィールドセパレータ)
\S\	成分区切り (成分セパレータ)
\T\	副成分区切り (副成分セパレータ)
\R\	反復区切り (反復セパレータ)
\E\	エスケープ文字

例： MSH-2で|^~\&|の時、¥9,800は次の様に記述する。
 \E\9,800

推奨しない/規格外のエスケープシーケンス： HL7 ではエスケープシーケンスが定義されているが、本規約ではその使用を推奨しない。 利用する場合は、適用施設/アプリケーション間の取り決めが必要である注意しなければならない。 なお、これらのエスケープシーケンスを受信した場合、本来実行すべき処理が中断されないよう配慮すること。

5.4 Data types データ型

HL7表 0440 - データ型

データ型	データ型名称	長さ	コメント
英数			
ST	文字列	199	
TX	テキストデータ	65536	
FT	フォーマットされたテキスト	65536	
SRT	ソート順	15	
数値			
CQ	単位付き複合数量	500	CQ は他のデータ型に埋め込まれた場合正式には表現できない。よってこれの使用はセグメントフィールドに限られる。
MO	金額	20	
NM	数値	16	
SI	シーケンス ID	4	
SN	構造化数値	36	
識別子			
ID	HL7 表用の符号化値	Variable	
IS	使用者定義表用の符号化値	20	
VID	バージョン識別子	973	
HD	階層指定	227	
EI	エンティティ識別子	427	
RP	参照ポインタ	273	
PL	個人の位置	1230	

データ型	データ型名称	長さ	コメント
PT	処理型	3	
日付/時間			
DT	日付	8	
TM	時間	16	
TS	タイムスタンプ	26	
コード値			
CE	符号化要素	483	v 2.3.1 時で CNE と CWE と取り替えられた。v 2.5 時では下位互換性のみのために保持された。
CNE	例外無し符号化	705	
CNN	拡張複合 ID と名前	406	
CWE	例外有り符号化	705	
CF	フォーマットされた値付きの符号化要素	65536	
CK	チェックディジット付き複合 ID		削除
CN	複合化 ID 番号と名前		削除。v 2.3 で XCN に変更
CX	チェックディジット付き拡張複合 ID	1913	
XCN	拡張された複合 ID 番号と名称	3002	v 2.3 で CN から変更
一般			
CM	複合		削除。v 2.5 ではいくつかの新しい明瞭なデータ型となった。 ここでは、本書で使用するデータ型のみ記載した。
DLD	退院の場所と日付	47	
EIP	エンティティ識別子のペア	855	
ELD	エラー場所および説明	493	
ERL	エラー場所	18	
MOC	金額およびチャージコード	504	
MSG	メッセージ型	15	
NDL	場所と日付を備えた名称	835	
PRL	親結果リンク	755	
SPS	標本のソース	4436	
患者属性			
AD	住所	415	v 2.3 で XAD に変更
FN	姓	194	PN もしくは PN を含むデータ型 (PPN, XCN, XPN) 中のみ出現
PN	個人名		削除
SAD	住所 (町名)	184	XAD データ型中のみ出現
TN	電話番号	199	削除 内向的

データ型	データ型名称	長さ	コメント
XAD	拡張住所	631	v 2.3 で AD から変更
XPN	拡張された個人名	1103	v 2.3 で PN から変更
XON	機関に関する拡張された複合名称と ID 番号	567	
XTN	拡張された通信番号	850	v 2.3 で TN から変更
専門/章は特定			
波形			
CD	チャンネル定義	581	波形データ用のみ。
MA	多重化された配列	65536	波形データ用のみ。
NA	数値配列	65536	波形データ用のみ。
ED	暗号化されたデータ	65536	バイナリデータの ASCII MIME-エンコーディング をサポート
価格データ			
CP	複合価格	543	.
患者管理/財政情報			
FC	保険種別	47	
拡張照会			
QSC	照会选择の基準	219	
QIP	照会入力変数リスト	212	
RCD	行列定義	19	
DLN	運転免許証番号	66	
JCC	職種コード/クラス	292	
VH	来院時間	41	
カルテ/情報管理			
PPN	実施者のタイムスタンプ	2993	TS を結合した XCN と等価
時系列			
DR	日付/時間の範囲	53	
RI	反復間隔	206	
RPT	繰り返しパターン	984	
SCV	スケジューリング種類と値の対	41	スケジューリングデータ用のみ。第 10 章参照
TQ	タイミング/量	1209	v 2.5 では、下位互換性のためにのみ保持される。
GTS	汎用タイミング指定	199	

Data types データ型解説

ST 文字列データ

文字列データは、左詰めにされこれに空白がうしろに続いてよい。任意の表示可能な(印刷可能な)ASCII文字(20から7Eまでの16進値)である。例：|almost any data at all|

TX テキスト・データ

文字列データは、使用者に対しターミナルまたはプリンターによって表示するためにある。文字列に先行空白を挿入した方が使用者が見やすいということもあるので、文字列は必ずしも左詰めにするわけではない。この種のデータは表示することが目的なので、表示装置を制御するためのエスケープ文字シーケンスを含むことがある。先行空白文字を挿入し、後書き空白を取り除くとよい。例：|leading spaces are allowed.|\

TXデータは表示するためにあるので、反復区切文字をTXデータ・フィールドで使うと、それは一連の反復行がプリンターまたはターミナル上に表示されることを意味する。したがって反復区切文字は、パラグラフ・ターミネータまたはハード・キャリッジ・リターンとみなされる。(そのテキスト内にCR/LFが挿入されたように表示される)。

受信システムでは、任意の大きさの表示ウィンドウに合わせるためテキストを繰り返し区切り文字間でワードラップするが、反復区切文字で始まる行はすべて新たな行になる。

FT 書式付テキスト・データ

このデータ型は、書式を埋め込み追加することで文字列データ型を拡張したものである。これらの書式は固有であり、フィールドの使用環境から独立している。文字列データ(ST)フィールドとFTフィールドとの違いは、長さが任意(64kまで)であることと、エスケープ文字で囲まれた書式を含むことである。例：|¥.sp¥(skip one vertical line)|

SRT ソート依頼

Components: <sort-by field ソートフィールド(ST)> ^ <sequencing 配列(ID)>

ソートされるレスポンスとソート方法をこのパラメータで指定する。

第1成分はソートされるレスポンスのフィールドを識別する。よいレスポンスでは、これはソートされるべきカラム名になる。セグメント・パターンや表示応答ではソートされるべきセグメントフィールド名になる。(セグメントフィールド名定義についてはQIPデータタイプの「セグメントフィールド名(ST)」を参照。)

第2成分はフィールドかパラメータにより識別しソートする。HL7テーブル0397を参照する。

テーブル0397-汎用IDタイプ

Value	Description
A	Asending 昇順
AN	Asending, case Insensitive 大小文字区別無し昇順
D	Desending 降順
DN	Desending, case Insensitive 大小文字区別無し降順
N	None

CQ 単位付き合成量

Components: <数量(NM)> ^ <単位(CWE)>

第1成分は数量である。第2成分はその数量の単位である。デフォルトの単位で検査を測定した場合、その単位は送信する必要ない。その単位がISO+単位であるなら小文字の省略形を使用するとよい。その単位がANSIまたはローカル定義のものならその単位と出典を記録しなければならない。

例：

|123.7^kg| kilograms is an ISO unit

|150^lb&&ANSI+| weight in pounds is a customary US unit defined within ANSI+.

MO 金額

Components: <quantity (NM)> ^ <denomination (ID)>

第1成分は数量で金額を表わし、第2成分はその数量を表す際の貨幣単位である。貨幣単位成分の値はISO-4217に指定されている。貨幣単位を指定しない場合、MSH-17国コードを使用しデフォルトを決定する。例：|99.50^USD|ここでUSDは、米国ドルを表すISO 4217コードである。

NM 数字

ASCII数字列として表記される数字は、オプションの先行符号(+または-)、数字、そしてオプションの小数点から構成される。符号がない場合、その数値は正数であると仮定される。小数点がない場合、その数値は整数であると仮定される。例：|999| |-123.792|
先行ゼロまたは小数点の後の後書きゼロは無意味である。01.20と1.2という2つの数値は同一である。オプションの先行符号(+または-)およびオプションの小数点(.)を除いては、数字以外のASCII文字は許されない。したがって、値“<12”は、文字列データ型としてコード化しなければならない。

SI シーケンスID

NMフィールド形式の正整数。このフィールドの使用方法は、それが現われるセグメントとメッセージを定義している章で定義する。

SN 構造化数値

Components: <comparator比較演算子 (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffixセパレータ/サフィックス (ST)> ^ <num2 (NM)>

構造化した数値データタイプは、条件を伴った数値の臨床検査結果を表現するため使用される。これによって受信システムは成分を別々に格納することができ、数値のデータベース照会の使用が容易になる。

比較演算子は、超「>」、未満「<」、以上「>=」、以下「<=」、等しい「=」、等しくない「<>」、デフォルトは等しい「=」である。

<num1>および<num2>が値を持つ場合、セパレータ/サフィックスは必須である。セパレータが「-」である場合、その範囲は両端を含む。例えば、<num1> - <num2>は、<num1> <= x <= <num2>であるような一連の数値Xを示す。

num1は数値。num2は数値またはヌルであり測定によって異なる。

セパレータ/サフィックスは、「-」、「+」、「/」、「.」、「:」。

例：|>^100| (greater than 100)、|^100^-^200| (equal to range of 100 through 200)
|^1^:^228| (ratio of 1 to 128, e.g., the results of a serological test)
|^2^+| (categorical response, e.g., occult blood positivity)

ID HL7定義コード化値

この種のフィールドで使う値は、正当な表の値から引用される以外はSTフィールドで使う書式規則に従う。IDフィールドの例として性別などがある。

IS 使用者定義コード化値

このフィールドの値は、使用者定義テーブルから引用され、STフィールドの書式規則に従う。ISデータ型に関連したHL7テーブル番号があるものとする。例えば事象理由コードである。

VID バージョン識別子

Components: <version ID (ID)> ^ <internationalization code(CWE)> ^ <international version ID (CWE)>

第1要素はHL7バージョンを表記するために使用。取りうる値はHL7テーブル0104を参照。

第2要素はISO3166国コードで国際支部の国を表記する。ISO3166テーブルに従い、3文字のコードを国コードと扱う。

第3要素に各国支部がUSのバージョンに対し支部バージョンを持つ場合そのバージョン番号を表記する。

HD 階層的デジグネータ

Components: <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

HDデータタイプは他のデータタイプ構成要素の一部として用いられる。それは、ローカルで定義されたアプリケーション識別子や公に割り当てられたUIDのいずれかとして使用される。HDは、HL7の初期の版でISデータ型を使用したフィールドの中で使用される。その場合、第一成分のみである。HDデータ型の第1の成分が存在する場合、第2と第3の成分はオプションである。第3成分が存在する場合、第2成分も存在せねばならない。

HDの第2の成分、汎用ID(UID)は、第3の成分、汎用IDタイプ(UIDタイプ)によって定義される書式の文字列である。UIDはUIDタイプ内で時間が経過しても一意的になるよう定義されている。UIDタイプによって定義された各UIDは、UIDを構築する特に列挙された計画のうちの1つに属さなければならない。UID(第2の成分)は、第3の成分によって定義された汎用ID構文規則に従わなければならない。

テーブル0301－汎用IDタイプ

Value	Description
DNS	インターネットで指定された名前。ASCII文字あるいは整数値のいずれか。
GUID	UUIDと同じ。
HCD	CENヘルスケアコード体系デジグネータ(DICOMで使用される識別子はこの割当計画に従う)。
HL7	将来のHL7登録計画のためにリザーブ。
ISO	国際標準化機構オブジェクト識別子
L、M、N	ローカルで定義されたコード体系のためにリザーブ。
ランダム	一般的にランダムビットのbase64コード化文字列。一意性は、ビットの長さに依存する。メール・システムは、ランダムビットおよびシステム名の組合せから、ASCII文字列の「一意的な名」を生成することが多い。明らかに、そのような識別子はbase64文字集合によって束縛されない。
UUID	DCE 汎用一意性ID
x400	X400 MHS書式ID
x500	X500 ディレクトリ名

例：

1.2.34.4.1.5.1.5.1,1.13143143.131.3131.1^ISO

14344.14144321.4122344.14434.654^GUID

falcon.iupui.edu^DNS

40C983F09183B0295822009258A3290582^RANDOM

LAB1 Local use only: an HD that looks like an IS data type.

PathLab^UCF.UC^L A locally defined HD in which the middle component is itself structured. This can be considered the combination of 'PathLab' with the locally defined UID system "L".

LAB1^1.2.3.3.4.6.7^ISO An HD with an ISO "Object Identifier" as a suffix, and a locally defined system name.

^1.2.344.24.1.1.3^ISO An HD consisting only of an ISO UID.

EI エンティティ識別名

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

エンティティ識別名は、識別子の指定されたシリーズ内の与えられたエンティティを定義する。

指定されたシリーズ、すなわち割り当て権限は、成分2～4によって定義される。割り当て権限は階層的指名者データ型(HD)である。しかし、それは3つの個別の成分としてEIデータ型の中で定義され、これは通常単一の成分として定義されるのと異なる。これはいくつかの既存のデータ分野の成分としてのEIの使用と下位互換性を維持するためである。そうでなければ、成分2～4は「HD 階層的デジグネータ」の中で定義される。階層的指名者は、与えられたHL7導入を通じて一意的である。

第1成分、エンティティ識別名は、識別子のシリーズ内で一意的であるよう定義され、割り当て権限によって作成され、これは階層的指名者によって定義され成分2～4で表わされる。

RP 参照ポインタ

Components: <pointerポインタ (ST)> ^ <application IDアプリケーションID (HD)> ^ <type of dataデータの型 (ID)> ^ <subtypeサブタイプ (ID)>

このデータ型は、別のシステムに保存されているデータの情報を伝送する。このデータ型には、そのシステムに保存されているデータを一意に識別する参照ポインタ、そのシステムの識別、およびデータの型が含まれる。

ポインタ： データを保存するシステムが割り当てる一意なキー。そのキーはSTデータ型であり、データを識別しそのデータにアクセスするのに使う。

アプリケーションID： HDデータ型でありデータを保存するシステムの一意な名前。依頼

者(または実施者)アプリケーションIDに同じ。アプリケーションIDは扱うHL7メッセージシステムを通じて一意でなければならない。

参照されるデータのタイプはHL7テーブル0191に示される。

テーブル 0191 - 参照されるデータのタイプ

Value	Description
AP	Other application data, typically uninterpreted binary data (HL7 V2.3 and later)
AU	Audio data (HL7 V2.3 and later)
FT	Formatted text (HL7 V2.2 only)
IM	Image data (HL7 V2.3 and later)
Multipart	MIME multipart package
NS	Non-scanned image (HL7 V2.2 only)
SD	Scanned document (HL7 V2.2 only)
SI	Scanned image (HL7 V2.2 only)
TEXT	Machine readable text document (HL7 V2.3.1 and later)
TX	Machine readable text document (HL7 V2.2 only)

サブタイプは、参照されるデータのタイプのための書式を宣言するので、HL7テーブル0291 - 参照されるデータのサブタイプを参照すること。

テーブル 0291 - Subtype of referenced data

Value	Description
BASIC	ISDN PCM audio data
DICOM	Digital Imaging and Communications in Medicine
FAX	Facsimile data
GIF	Graphics Interchange Format
HTML	Hypertext Markup Language
JOT	Electronic ink data (Jot 1.0 standard)
JPEG	Joint Photographic Experts Group
Octet-stream	Uninterpreted binary data
PICT	PICT format image data
PostScript	PostScript program
RTF	Rich Text Format
SGML	Standard Generalized Markup Language (HL7 V2.3.1 and later)
TIFF	TIFF image data
x-hl7-cda-level-one	HL7 Clinical Document Architecture Level One document
XML	Extensible Markup Language (HL7 V2.3.1 and later)

PL 患者所在

Components: <point of care看護単位 (IS)> ^ <room病室 (IS)> ^ <bedベッド (IS)> ^ <facility施設 (HD)> ^ <location status場所の状態 (IS)> ^ <person location type所在場所タイプ (IS)> ^ <building建物 (IS)> ^ <floor階 (IS)> ^ <location description場所の詳細 (ST)>

このデータ型は医療施設内の個人の所在場所を特定するため使用される。どのコンポーネントに値を付けるかはサイトの必要性によって異なる。それは患者の所在場所を特定するため使用されることが最も多いが、しかし医療施設内の患者以外の個人を指すことやその場所の状態を表現する場合もある。

看護単位とは診療室や病棟など部門をいう。場所の状態でベッドのあき状況などを表示する。所在場所のタイプをコードで表現する。

注：成分の順序によって、以前のバージョンのHL7と互換性がある。下位互換性の制約がない場合、成分の階層構造オーダーは次のようになる：<所在場所タイプ(IS)> ^ <施設(HD)> ^ <階(IS)> ^ <看護単位(IS)> ^ <病室(IS)> ^ <ベッド(IS)> ^ <場所の詳細(ST)> ^ <場所の状態(IS)>。

PT 処理タイプ

Components: <processing ID (ID)> ^ <processing mode (ID)>

このデータ型は、HL7アプリケーションがHL7メッセージの処理をするべきか否かを示す。処理IDで、メッセージが生成、訓練あるいはシステムデバッグかどうか定義する値。有効な値については「HL7テーブル0103-処理ID」を参照すること。処理モードで、メッセージが文書累積の処理あるいはイニシャルロードの一部かどうか定義する。有効な値については「HL7テーブル0207-処理モード」を参照すること。

DT 日付

常に書式YYYY[MM[DD]]で表記、桁数により精度が規定される。 例：|19880704|

TM 時間

Format: HH[MM[SS[.S[S[S[S]]]]]] [+/-ZZZZ]

以前のHL7バージョンでは、24時間表記法による書式HHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]を常に使用していた。表記する桁数で精度が規定される。秒指定(SS)はオプションである。存在しない場合、分までの精度と解釈される。小数の秒指定は同様にオプションである。小数の秒は、秒より高い精度の時間を必要とする場合に送信される。分、時間、またはそれ以上の時間単位を小数で表記することはできない。発信者の時間帯は、万国標準時(以前はグリニッジ標準時として知られていた)からのオフセットとしてオプションで送られることがある。発信者の時間帯が特定のTMフィールドに存在しないが、MSHセグメントの日時フィールドの一部として含まれる場合は、MSH値がデフォルトの時間帯として使われる。それ以外の場合、その時間は発信者の現地時間を参照するものと解釈される。真夜中は0000と表記する。

例：

|235959+1130| 1 second before midnight in a time zone eleven and half hours ahead of Universal Coordinated Time (i.e., east of Greenwich).

|0800| Eight AM, local time of the sender.

|093544.2312| 44.2312 seconds after Nine thirty-five AM, local time of sender.

TS タイムスタンプ

Format: YYY[MM[DD[HHMM[SS[.S[S[S[S]]]]]]]] [+/-ZZZZ] ^ <精度>

日付と時間を含む、イベントの正確な時間から成る。書式はつぎのようである。

YYYYLLDD[HHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]^<精度>

タイムスタンプの日付部は日付フィールドの規則に従う。時間部は時間フィールドの規則に従う。表記する桁数により精度が規定される。すなわち、誕生日として使われるとき、HHMM部が省略されれば日付であり、HHMM部を0000とすると、まさに明けようとしているその日の真夜中(0時0分)になる。HL7コード化規則の中で使われる特定のデータ表記はISO 8824-1987(E)との互換性がある。オプションの精度は下位互換性のためにあり、その日時の精度を示す(Y = 年、L = 月、D = 日、H = 時間、M = 分、S = 秒)。例：

|17760704010159-0600| 1:01:59 on July 4, 1776 in the Eastern Standard Time zone.

|17760704010159-0500| 1:01:59 on July 4, 1776 in the Eastern Daylight Saving Time zone.

|198807050000| Midnight of the night extending from July 4 to July 5, 1988 in the local time zone of the sender.

|198807050000^D| Same as prior example, but precision extends only to the day. Could be used for a birthdate.(=|19880705|)

HL7規格では、すべてのシステムが日常的に時間帯オフセットを送るよう強く推奨するが、強制はしない。HL7システムではすべて時間帯オフセット受け入れる必要があるが、その実装はアプリケーションに任される。多くのアプリケーションの場合、関心ある時間はその発信者の現地時間である。たとえば、東部標準時間帯にあるアプリケーションが12月11日午後11:00にサンフランシスコで入院が発生したという通知を受けた場合、その入院を12月12日ではなくて(現地時間の)12月11日に発生したものとして扱うのがよい。

この規則における例外は、臨床システムが、互いに近くに存在しながら時間帯の異なる複数の病院で収集された患者データを処理する場合である。そのようなアプリケーションは、そのデータを共通の表記に変換することがある。同じような問題は、サマータイムとの切り替え時にも発生する。HL7は、情報の送信時に時間帯情報を含めるようにすることで対応する。しかし、ここで検討した処理のどちらを受信システムが採用するかは指定しない。

CE コード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト (ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (ST)>

例：|54.21^Laparoscopy^I9^42112^^AS4|

|F-11380^CREATININE^I9^2148-5^CREATININE^LN|

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連するテキストを送る。この型は、次に述べる通り、代替成分を含め6個の成分を持つ：

識別子： 後ろの<text>によって参照される項目を一意に識別する文字列(コード)。異なるコーディング方式では、異なる要素を持つ。

テキスト： 問題としている項目の名前または記述。たとえば、心筋梗塞とかX線撮影所見など。そのデータ型は文字列(ST)である。

コーディング方式名： コーディング方式には一意な識別子が割り当てられる。この成分は、識別子成分内で使われているコーディング方式を識別するのに役立つ。識別子成分とコーディング方式名成分の組合せは、データに対して一意なコードである。ここに指定されるコーディング方式の例は、ICD-9、ICD-10、SNOMEDなどである。各方式には一意な識別文字列が与えられる。ここにHL7テーブルを使用する場合、HL7テーブル番号をnnnnとしHL7nnnnとして定義する。

代替成分： 3つの代替成分は、上記と同様、代替方式または現地コーディング方式を定義するためである。代替テキスト成分が存在せず、代替識別子が存在すると、代替テキストはテキスト成分と同じであると解釈される。代替コーディング方式成分が存在しない場合、それはローカル定義の方式であると解釈される。

注記： このデータ型では2組の等価コードを表現しているが、それはCE型フィールドの反復とは意味が違っている。反復を用いる場合は、いくつかの明瞭なコード(明瞭な意味を持つコード)を送信するのが普通である。

CNE 例外なしコード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト(ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (IS)> ^ <coding system version ID コーディング方式バージョンID(ST)> ^ <alternate coding system version ID 代替コーディング方式バージョンID(ST)> ^ <original textオリジナルテキスト(ST)>

第1成分はユニークな文字のつながり(コード)である <テキスト>を参照するための識別項目である。異なるコード化の要素を持つ。

第2成分は問題の項目の名前を記述。例えば心筋梗塞あるいはX線の印象。そのデータタイプは文字列である。これは識別子にコーディング方式によって割り当てられるテキストである。

第3成分のそれぞれのコーディング方式には一意な識別子を割り当てられる。この成分は識別子成分で使われて符号体系を識別するのに役立つ。

識別子成分とコーディング方式名成分の組合せはデータ項目に一意なコードである。それぞれの方式は一意な識別文字列を持っている。

使用者定義テーブル0396—コーディング方式(HL7-節7.18.1参照)—が許されている値を含んでいる。このテーブルは「ASTM E1238-94、診断、処置、検査、薬剤ID、健康結果」コーディング方式を含み、HL7-節7.2.5のテーブルで識別される。必要に応じて、他の方式が追加される。

コード集合を発行するいくつかの機関が1つ以上を著作する。

それから、ユニークであるコーディング方式はコーディング権限機関の名前とそのコードセットあるいはテーブルの名前の結合である。

HL7 テーブルが CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が HL7 テーブル番号である HL7nnnn と定義される。同様に、ISO テーブルが ISOnnnn と命名される。そこでは nnnn は ISO テーブル番号である。

第4成分は上の「識別子」に類似している。データタイプCNEの「使用上の注意」を参考。

第5成分は上記の「テキスト」に類似している。データタイプCNEの「使用上の注意」を参考。

第6成分は上記の「コーディング方式の名前」に類似している。データタイプCNEの「使用上の注意」を参考。

第7成分は第1成分-第3成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に第1成分-第3成分に属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。

第8成分は第4成分-第6成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは(データタイプCEの第6成分を参照)概念的に代替のコンポーネントのグループに帰属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。

第9成分は特定のコードの前に自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキストは割り当てられた。この部品はオプションである。

使用上の注意：

第1成分-第3成分と第7成分：識別子は必要とされて、そして正当なコードであるに違いない。コーディング方式はあるいは存在していて、そして許されたコーディング方式のセットから値を持っていないか、あるいはもし存在していないなら、それはコードが「HL7 コーディング方式」を意味するという状態で、もしそれが高く評価されたならと比べて同じ意味を持つと解釈されるであろう。

使用者定義テーブル0396—コーディング方式(HL7-節7.18.1参照)—が許されている値を含んでいる。もしコーディング方式が「HL7 コーディング方式」以外のどんな方式でもあるなら、バージョンIDが実際のバージョンIDで高く評価されなくてはならない。

もしコーディング方式が「HL7 コーディング方式」であるなら、バージョンIDは実効値を持っているかもしれない、あるいは存在しないかもしれない。もしバージョンIDが存在しないなら、それはメッセージヘッダでHL7 バージョン番号と比べて同じ値を持っていると解釈されるであろう。

コードのテキスト記載は任意である、しかし、それがメッセージを正確度のために、特にインタフェース検査とデバッグの間にも再検討することがより容易であるようにするので、その使用は奨励されるべきである。

第9成分：これは、特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキストである。この部品はオプションである。

第4成分-第6成分と第8成分：これらの成分はオプションである。

記述されるように、それらはローカルであるか、あるいはユーザによって見られるコードを表すために使われる。

もし存在しているなら、第4成分-第6成分と第8成分は第1成分-第3成分と第7成分の記述と同じ使用規則と翻訳に従う。

もし両方ともが存在しているなら、第4成分と第1成分のアイデンティファイアは正確に同じ意味を持つべきである、すなわち、それらは正確な同義語であるべきである。

CNE 使用法ノート：必要とされるか、あるいは義務的なコードされたフィールドが必要とされるとき、CNE データタイプは使われるべきである。

使用者定義テーブル0396—コーディング方式—が許されている値を含んでいる。

このテーブルは「ASTM E1238-94、診断、処置、検査、薬剤、健康結果」コーディング方式を含む。

HL7 テーブルが CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が HL7 テーブル番号である HL7nnnn と定義される。

それらの使用法のガイドラインがHL7-チャプター7、節7.1「序論と概要」で説明される。

例:1. もしOBXセグメントの値タイプ(Value Type)フィールド(2を順番に並べる)が型CNEであると定義され、deに生まれられた値型が数だったならば、値型フィールドの最短の表現は現在のIDフィールド・シンタックスと同一でしょう：

```
OBX|1|NM|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

テキストを含んでいたのと同じOBXセグメントのより冗長な表現は、次のとおりでしょう：

```
OBX|1|NM ^ Numeric|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

テキストとコーディング方式を含む同じOBXセグメントのさらに冗長な表現は、次のとおりでしょう：

```
OBX|1|NM ^ Numeric ^ HL70125|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

データを作成したオリジナルのシステムの中で使用されるコードに関する情報を保持するために、スキーム・データをコード化する選択肢を含んでいることができるかもしれません：

```
OBX|1|NM ^ Numeric ^ HL70125 ^ NUM ^ Number ^ 99LAB|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

上記のものに加えて、人が使用されている語いのバージョンを捕らえ、HL7バージョンが“2.3.1”およびスキーム・バージョンをコード化する99LABだった場合“1.1”だった、フィールド?hは次のように現われるでしょう。

```
OBX|1|NM ^ Numeric ^ HL70125 ^ NUM ^ Number ^ 99LAB ^ 2.3.1 ^ 1.1|718-7 ^ Hemoglobin
```

^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

更に、もし人が値フォーマットの“user seen”テキストを含みたく、ユーザがデータ・エントリ・スクリーン上のフィールド・タイプとして“Decimal”を見たならば、フィールドは次のように現われるでしょう:

OBX|1|NM ^ Numeric ^ HL70125 ^ NUM ^ Number ^ 99LAB ^ 2.3.1 ^ 1.1 ^ Decimal|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

最終的に、ユーザは本来のIDの代わりに略記号を使用し、別名のIDとして長い書式を使用することができた。

OBX|1|NM ^ ^ ^ NUM ^ Number ^ 99LAB ^ ^ 1.1 ^ Decimal|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

2. もし値タイプ・フィールドがCNEフィールドとして定義されていたならば、および希望の値タイプが値セットの中になかった場合、有効なOBXインスタンスを作成することができない。例えば、もし検査システムが内部値タイプの“Decimal Range”を持っていれば、HL7テーブル0125に利用可能な対応する値タイプがないので、有効なOBXインスタンスを作成することができない。次の事例は正しくない。CNEフィールドのすべての有効なインスタンス中で、IDフィールドは、指定されたテーブルからの有効な値を持っていなければならない。

正しくない(有効なIDがない)

OBX|1|^ ^ ^ DR ^ Decimal Range ^ 99LAB ^ ^ 1.1 ^ Decimal Range|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

3. コーディング・スキームがHL7テーブルのID以外である場合、コーディング・スキームはHL7-チャプター7の中で指定されたコーディング・スキームから得られる有効なスキームでなければならない。例えば、もしOBXセグメントの検査項目フィールド(OBX-3)がCNEフィールドとしてタイプされ、LOINCバージョン1.0kが検査項目に対するソースとして使用されていたならば、次のOBX事例は有効でしょう:

OBX|1|NM|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN ^ ^ ^ 1.0k||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

しかしながら、コーディング・スキーム指示“LOCAL”が、有効なコーディング・スキームのIDリストに載っておらず、また、それも有効で“local”なコーディング・スキームのIDを作成のためにHL7-チャプター7に記述された規則に順応しないので、次のOBX事例は正しくないであろう。

正しくない(無効なコーディング・スキーム)

OBX|1|NM|9587-2 ^ Hemoglobin ^ LOCAL ^ ^ ^ 1.0k||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

ローカルのコーディング・スキーム“99LAB”を使用する有効なOBXインスタンスは、“99LAB”がHL7-チャプター7に記述されるるようにローカルのコーディング・スキームを指定するための規則に適合しているため、許可される。有効なOBX事例は以下のように表わされる:

OBX|1|NM|9587-2 ^ Hemoglobin ^ 99LAB ^ ^ ^ 6.5||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

コーディング・スキームがHL7テーブルのID以外である場合、最終的には、バージョン番号は存在しなければならない。たとえコーディング・スキームLN(LOINC)が有効でも、有効なバージョン番号が抜けているので、次のOBX事例は正しくない:

正しくない(見当たらないバージョン番号)

OBX|1|NM|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

CNN 拡張複合IDと名前

Components: <ID number ID番号 (ST)> ^ <family name姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof セカンドネームまたはイニシャルの頭文字(ST)> ^ <suffix 接尾辞(e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix接頭辞 (e.g., DR) (ST)> ^ <degree学位 (e.g., MD) (IS)> ^ <source tableソーステーブル (IS)> ^ <assigning authority-Namespase ID 割当て権限者-ネームスペースID (IS)> ^ <assigning authority-Universal ID 割当て権限者-ユニバーサルID (ST)> ^ <assigning authority-Universal ID Type 割当て権限者-ユニバーサルID種別 (ID)>

例: |00001^中田^隆|

CWE 例外を含むコード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト(ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (ID)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (ID)> ^ <coding system version ID コーディング方式バージョンID(ST)> ^ < alternate coding system version ID 代替コーディング方式バージョンID(ST)> ^ <original textオリジナルテキスト(ST)>

第1成分：文字のつながり（コード）それはユニークに < テキスト>によって参照されて項目を識別する。異なったコード化方式がここで異なった要素を持つであろう。

第2成分：問題の項目の名前あるいは記載。例えば、 myocardial 梗塞あるいはレントゲン写真印象。

第3成分：それぞれのコーディング方式がユニークな識別子を割り当てられる。

このコンポーネントは識別子コンポーネントで使われて符号体系を識別するのに役立つであろう。

識別子成分とコーディング方式名成分の組合せはデータ項目に一意的なコードである。それぞれの方式は一意的な識別文字列を持っている。

使用者定義テーブル0396(HL7-節7.18.1参照)-コーディング方式-が許されている値を含んでいる。テーブルは「ASTM E1238 -94、診断、処置、検査、薬剤ID、健康結果」と、ASTM-7.1.4でテーブルで識別されるように、コードしている「コード化方式」を含む。必要に応じて、他の方式が追加される。

コード集合を発行するいくつかの機関が1つ以上を著作する。

それから、ユニークであるコーディング方式はコーディング権限機関の名前とそのコードセットあるいはテーブルの名前の結合ある。

HL7 テーブルが CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が HL7 テーブル番号である HL7nnnn と定義される。

同様に、ISO テーブルが ISO nnnnn と命名されるであろう、そしてそこで nnnn は ISO テーブル番号である。

第4成分：上の「識別子」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第5成分：上記の「テキスト」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第6成分：上記の「コーディング方式の名前」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第7成分：これは第1成分-第3成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に構成する第1成分-第3成分のグループに帰属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。

第8成分：これは第4成分-第6成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に代わりの成分のグループに帰属する（見なさい、と0が指摘する、上記の「テキスト」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第9成分：特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキスト

使用上の注意：こちらは一般に送られるフィールドがコード、しかしどこにコードが卓越したインスタンスであるいはサイト契約によって除かれるかもしれないか使っている。

使われているコーディング方式がテキストでコンセプトを記述するためにコードを持っていないとき、卓越した事例が起こる。

1) Coded : 識別子はコーディング方式から正当なコードを含んでいる。

コーディング方式はあるいは存在していて、そして許されたコーディング方式のセットから、あるいはもし存在していないなら値を持っていないかではない、それはコードが「HL7 コーディング方式」を意味するという状態で、もしそれが高く評価されたならと比べて同じ意味を持つと解釈されるであろう。

使用者定義テーブル0396-コーディング方式が許されている値を含んでいる。

テーブルは「ASTM E1238 -94、診断、処置、検査、薬剤ID、健康結果」と、ASTM-7.1.4でテーブルで識別されるように、コードしている「コード化方式」を含む。

もしコーディング方式が「HL7 コーディング方式」以外のどんな方式でもあるなら、バージョンIDが実際のバージョンIDで高く評価されなくてはならない。

もしコーディング方式が「HL7 コーディング方式」であるなら、バージョンIDは実効値を持っているかもしれない、あるいは存在しないかもしれない。もしバージョンIDが存在しないなら、それはメッセージヘッダでHL7 バージョン番号と比べて同じ値を持っていると解釈されるであろう。

テキスト記述は任意である、しかしその使用はテストの間のそしてデバッグするメッセージの判読性で支援に奨励されるべきである。

例 1a : CWE 値と値が SNOMED ・インターナショナルから取られる (とき・から・につれて・ように) 、観測識別子が LOINC コードと観測値である OBX 部分が送られている。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|F-D1250^Type  
O^SNM3^3.4||N||F<cr>
```

例 1b : 観測識別子が LOINC コードと観測値である OBX 部分が CWE 値として送られている、そして値は (現在仮説の) HL7 テーブルから取り出される。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|O^Type O^HL74875^2.3.1||N||F<cr>
```

2) Uncoded : テキストが高く評価される、識別子は値を持っていない、そしてコーディング方式とバージョンIDがオプション1のために論じられると比べて同じ規則に従う。

例 2 : 検査結果IDをLOINCコードとする OBXセグメントと検査結果が CWE値として送られており、そして、正しい臨床結果「Wesnerian」が許容値の中に見いだされなかったことのテキストとして送られる。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|^Wesnerian^SNM3^3.4||A||F<cr>
```

3) データ消失 : コーディング方式の名前は「HL7 CE 状態」である、バージョンIDが1レアルいづれかであるバージョン、あるいはもし存在していないなら、それはメッセージヘッダでバージョンと比べて同じ意味を持っている、そして識別子は許された CE フィールド statuses の1人からその値を取る。

許された CE フィールド statuses のコードは下に示されて、そして HL7 用語の一部としてテーブルで維持されるであろう。

コードのテキスト記載は任意である。

例 3 : 検査結果IDをLOINCコードとするOBXセグメントと検査結果が LCE値として送られており、この検査がされなかったことから送られることができる値がない。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|NAV^NotAvailable^  
HL70353^2.3.1||N||F<cr>
```

第9成分 : これは、特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキストである。このフィールドは任意である。

第4 - 6成分&第8成分 : 成分4-6&8は任意である。

それらはローカルまたはユーザによって見られたコードを表すために使われる。

もし存在しているなら、第4 - 6成分と第8成分は (CWE データタイプの) 第1 - 3成分と第7成分の記述と同じ使用規則と翻訳に従う。

もし両方もが存在しているなら、第4成分と第1成分でのアイデンティファイアは正確に同じ意味を持つべきである ; すなわち、それらは正確な同義語であるべきである。

例 4 : 検査結果IDをLOINCコードとするOBXセグメントと検査結果が CWE値として送られており、結果は SNOMED インターナショナルから得られる。

ユーザによって見られたフィールドは (99LAB) が送信しているシステムで使ったローカルなコーディング方式を表すために使われている。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|F-D1250^TypeO^SNM3^O^Otype  
Blood^99LAB^3.4^||F<cr>
```

CWE 使用法のサマリが値がない種々の国家のために状態値のテーブルで指摘する : データタイプが (そのために) 使われるべきである CWE は任意である、あるいはもうではなく公認の値セットの一部である項目のためのテキストを送ることは許されるフィールドをコードした。標準的な状況で、識別子は値セットからコードで高く評価される。

もしフィールドの値が知られているが、値セットの一部ではないなら、テキストと識別子が値を持っていない (とき・から・につれて・ように) 、値は送られる。

もしフィールドが未知の状態を持っているなら、フィールドの3番目のフォームが (上にデー

タ消失を見なさい) 使われる、そしてフィールドのための適切な状態は許された statuses のテーブルから選択される。

コードが存在しないとき、HL7テーブル0353を利用する。

テーブル 0353 - CWEステータス

Value	Description
U	Unknown 無し
UASK	Asked but Unknown 返答無し
NAV	Not available 利用可能でない
NA	Not applicable 適用可能でない
NASK	Not asked 問い合わせなし

テキスト変更子がコードに伴うかもしれないところに、HL7 メッセージの「フィールド」はデータタイプ CWE のことであるであろう、そして繰り返すことを許されるであろう。

フィールドの最初のインスタンスは、オプション1に従って、使われるであろう；すなわち識別子は正当なコードを持っているであろう。

繰り返すフィールドの2番目のインスタンスは使われるであろう、オプション2に従って、すなわち、テキスト記載は自由なテキスト変更子の値をとるであろう。

CF 書式付コード化値

Components: <identifier識別子 (ID)> ^ <formatted text書式付テキスト (FT)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ID)> ^ <alternate formatted text代替書式付テキスト (FT)> ^ <name of alternate coding system代替方式名 (IS)>

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連する書式付テキストを送る。このデータ型は、レポートの詰め込みテキスト部に使用する書式付テキスト(たとえば、単純胸部X線について標準的に記述された放射線所見など)を初めて送る場合に使用する。受信システムは、この情報を保存し、次のメッセージではその識別子だけを送信すればよい。このデータ型のもう一つの考えられる使用法は、書式付テキストを含むマスターファイル・レコードを送ることである。主要成分、代替成分とも、第2成分および第5成分が書式付テキスト・データ型であるという点を除いて、CEデータ型の場合と全く同様に定義される。

例：

OBX||CF|71020^CXR^CPMC||79989^¥H¥Description:¥N¥¥.sp¥¥ti+4¥Heart is not enlarged. There is no evidence of pneumonia, effusion, pneumothorax or any masses.
¥.sp+3¥¥H¥Impression:¥N¥¥.sp¥¥ti+4¥Negative chest.^CPMC

CK チェックディジット付き複合ID

Components: <ID number ID番号 (NM)> ^ <check digitチェックディジット (NM)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ <assigning authority割当権限者(HD)>

このデータ型は、たとえばPID-3-患者ID(内部ID)など、通常チェックディジットを含むフィールドで使われる。現場で、あるCKフィールドにチェックディジットを使っていない場合、第2、第3成分はNullである。

例： |128952^6^M11^ADT01|

このデータ型のチェックディジットは、メッセージ処理システムが追加生成するわけではない。それは、送信アプリケーション内で使われる識別番号に含まれる。送信アプリケーションが識別番号内にチェックディジットを含まない場合、この成分はnullとすべきである。

チェックディジット方式は、HL7テーブル0061 - チェックディジット方式で定義する。

テーブル0061-チェックディジット方式

値	記述
NPI	Check digit algorithm in the US National Provider Identifier
ISO	ISO 7064: 1983
M10	Mod 10 アルゴリズム
M11	Mod 11 アルゴリズム

Mod10チェックディジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り

あなたが識別子=12345を持つと仮定する。右側から数えて奇数桁、つまり531を考える。この数を2倍して1062を得る。右から数えて偶数桁、すなわち42を取り、これに1062を付けたして

421062を得る。この数字の6桁すべてを加算して15を得る。15の次に大きい10の倍数からこの数を減ずる、つまり20-15により5を得る。これがMod10である。401の場合のMod10チェックディジットは0である；9999の場合は4である；99999999の場合は8である。Mod11チェックディジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り。

用語

d = 1の位から始まり、以降10の位、100の位、... と続く各位の数字

w = 1の位から始まり、以降10の位、100の位、... と続く各位の重み。Wの値は2、3、4、5、6、7、2、3、4、5、6、7、... と続く(6桁単位で繰り返す)

c = チェックディジット

計算

(ステップ1) m = 1の位から開始し、それぞれの位について計算した(d * w)の合計
d = 1の位から最高桁の位までの各桁の数字

w = 1の位から始まり、6桁単位で繰り返す2から7までの各桁の重み

(ステップ2) c1 = m mod 11

(ステップ3) c1 = 0の場合はc1 = 11に置き換える。

(ステップ4) c = (11 - c1) mod 10

例: if the number is 1234567, then the mod 11 check digit = 4

計算は以下の通り

$$\begin{aligned} m &= (7*2)+(6*3)+(5*4)+(4*5)+(3*6)+(2*7)+(1*2) \\ &= 14 + 18 + 20 + 20 + 18 + 14 + 2 \\ &= 106 \end{aligned}$$

$$c1 = 106 \bmod 11$$

$$= 7$$

$$c = (11 - c1) \bmod 10$$

$$= 4 \bmod 10$$

$$= 4$$

上記以外のチェックディジットは、現場双方の取り決めにより使うことができる。

CN 複合ID番号および名前

Components: <ID number ID番号(ST)> ^ <family name 姓(FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof 中間名のイニシャルあるいは名前(ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) サフィクス (ST)> ^ <prefix (e.g.,DR) プレフィックス(ST)> ^ <degree (e.g., MD) 学位 (IS)> ^ <source table ソーステーブル (IS)> ^ <assigning authority 割当権限者(HD)>

Subcomponents of family name: <surname (ST)> ^ <own surname prefix (ST)> ^ <own surname (ST)> ^ <surname prefix from partner/spouse (ST)> ^ <surname from partner/spouse (ST)>

コード値およびテキスト名により人物を識別するフィールド。特定のフィールドでは、それぞれの現場でIDまたは名前を省略することができる。

例: |12372^RIGGINS^JOHN^""^""^""^MD^ADT1|
|12372^^^^^^^ADT1|
|^RIGGINS^JOHN^""^""^""^MD|

第1成分は第8の成分によって定義された使用者定義テーブルによりコード化されたID。第1の成分が存在する場合、ソーステーブルあるいは割当権限者が評価されねばならない。

第2成分は姓を表す。

第3成分は洗礼名を表す。

第4成分は中間名のイニシャルあるいは名前を表す。

第5成分は名前のサフィクスを指定するため使用される (例えばジュニアあるいは3世)。

第6成分は名前のプレフィクス指定するため使用される (例えばDr)。

第7成分は学位を指定するため使用される (例えばMD)。推奨値については「エラー! プロパティ名に誤りがあります。」を参照すること。

第8成分の推奨値については「使用者定義テーブル0297-CN・IDソース」を参照すること。第1の成分を描写するため使用される。

テーブル0297-CN・IDソース

Value	Description
	No suggested values defined 推奨できる値はない

第9成分：このバージョンでは、オプションの9番めの成分、割当権限者を加えた。それはHDデータタイプである。

CX チェックディジット付拡張複合ID

Components: <ID (ST)> ^ <check digitチェックディジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ < assigning authority割当権限者 (HD) > ^ <identifier type code IDタイプコード (IS)> ^ < assigning facility割当施設 (HD)> ^ <effective date 有効日付(DT)> ^ <expiration date満了日付 (DT)>

例：|1234567 ^ 4 ^ M11 ^ ADT01 ^ MR ^ University Hospital|

ID：CKデータ型と同様、ただしSTデータ型がNM・データ型の代わりに許可される。

チェックディジット：CKデータ型と同様、ただしSTデータ型がNM・データ型の代わりに許可される。このチェックディジットはメッセージ処理で追加されるものではなく、送信アプリケーションの中で使用される識別番号の一部である。送信アプリケーションが識別番号中にチェックディジットを含んでいない場合、この値はヌルであるのがよい。

識別子タイプコード：IDのタイプに対応するコード。ある場合には、「割当権限」成分への修飾語としてこのコードを使用してもよい。

テーブル0203－識別子タイプ

Value	Description	Value	Description
AM	アメリカン・エクスプレス	MS	マスターカード
AN	勤定番号	NE	米国雇用者ID
BA	銀行勤定番号	NH	米国保健計画ID
BR	出生登録番号	NI	米国個別ID
BRN	品種登録番号	NNxxx	米国個人ID XXX=ISOテーブル3166の3文字(アルファベット)の国コード
DI	ダイナースクラブ・カード	NPI	米国プロバイダーID
DL	運転免許証番号	PEN	年金番号
DN	医師番号	PI	患者内部ID
DR	ドナー登録番号	PN	個人番号
DS	ディスカバー・カード	PRN	プロバイダー番号
EI	従業員番号	PT	患者外部ID
EN	雇用者番号	RR	鉄道退職番号
FI	設備ID	RRI	地方登録ID
GI	保証人内部ID	SL	滞在許可
GN	保証人外部ID	SR	滞在登録ID
HC	保健証番号	SS	社会保障番号
JHN	管轄区域の保健番号(カナダ)	U	無指定
LN	免許番号	UPIN	メディケア/HCFAの汎用医師ID
LR	地方登録ID	VN	訪問回数
MA	メディケイド番号	VS	ビザ
MC	メディケア番号	WC	WIC ID
MCN	マイクロチップ番号	WCN	労働者番号
MR	医療記録番号	XX	組織ID

XCN 拡張複合IDと名前

Components: <ID number ID番号 (ST)> ^ <family name姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof セカンドネームまたはイニシャルの頭文字(ST)> ^ <suffix接尾辞 (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix接頭辞 (e.g., DR) (ST)> ^ <degree学位 (e.g., MD) (ST)> ^ <source tableソーステーブル (IS)> ^ <assigning authority割当て権限者 (HD)> ^ <name type code名前タイプコード(ID)> ^ <identifier check digitチェックディジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ <identifier type code識別タイプコード (IS)> ^ <assigning facility割当て施設 (HD)> ^ <name representation code名前表示コード(ID)> ^ <name context 名前コンテキスト(CWE)> ^ <name validity range名前有効範囲(DR)> ^ <name assembly order 名前の組み立て指示(ID)>

コード値およびテキスト名により人物を識別するフィールド。第1成分は、第8の成分で示されるテーブルに従ったIDである。第2成分から第7成分は人物名を表すPNフィールドである。第8成分は、第1成分で使われるソーステーブルを指定する。特定の現場では、それぞれの現場でIDまたは名前を省略することができる。名前タイプコードについては、XPN－拡張人名を参照。識別タイプコードは「使用者定義テーブル0203－識別子タイプ」を参照すること。

第10成分と第15成分は必須である。

例: |^中田^隆^^^^^^L^^^^|^
|^TORANOMON^ICHIRO^^^^^^L^^^^^A~虎ノ門^一郎^^^^^^L^^^^|^

CM 複合フィールド

他の有意データフィールドと組合せるフィールド。それぞれの部分は成分と呼ばれる。CMフィールドの特定成分は、そのフィールド記述の範囲内で定義される。

HL7 V2.5ではいくつかの新しい明瞭なデータ型となった。以下に本書で使用されているデータ項目についての構成を記載している。詳細については、HL7 V2.5の2.Aを参照されたい。

DLD 退院先と日付

Components: <退院先 (IS)> ^ <発行日付 (TS)>

EIP 実体識別子ペア

Components: <依頼者割当識別子 (EI)> ^ <実施者割当識別子 (EI)>

ELD エラー個所および記述

Components: <セグメントID (ST)> ^ <セグメント連番 (NM)> ^ <フィールド位置 (NM)> ^ <エラーを特定するコード(CWE)>

ERL エラー位置

Components: <セグメントID (ST)> ^ <セグメント連番 (NM)> ^ <フィールド位置 (NM)> ^ <フィールド繰り返し番号(NM)> ^ <成分番号(NM)> ^ <副成分番号(NM)>

MOC 金額および請求コード

Components: <金額 (MO)> ^ <請求コード (CWE)>

MSG メッセージタイプ

Components: <メッセージコード (ID)> ^ <トリガーイベント (ID)> ^ <メッセージ構造 (ID)>

NDL 日付と位置を伴う名前

Components: <名前 (CNN)> ^ <開始日付/時間 (TS)> ^ <終了日付/時間 (TS)> ^ <ケアの場所(IS)> ^ <病室 (IS)> ^ <病床(IS)> ^ <施設(HD)> ^ <位置の状態(IS)> ^ <患者位置タイプ(IS)> ^ <建物(IS)> ^ <階(IS)>

PRL 親結果リンク

Components: <親検査識別子 (CWE)> ^ <親検査副識別子 (ST)> ^ <親検査の値の記述 (TX)>

SPS 検体採取場所

Components: <検体採取場所の名前またはコード (CWE)> ^ <添加物 (CWE)> ^ <検体採取方法 (TX)> ^ <部位(CWE)> ^ <部位修飾子(CWE)> ^ <検体採取方法修飾子コード(CWE)> ^ <検体の役割 (CWE)>

AD 住所

Components: <street address 行アドレス(ST)> ^ < other designationその他の表示 (ST)> ^ <city都市 (ST)> ^ <state or province州あるいはプロビンス(ST)> ^ <zip or postal code ZIPまたは郵便番号(ST)> ^ <country国 (ID)> ^ <address type アドレスタイプ(ID)> ^ <other geographic designation 他の地理的な表示(ST)>

例: |10 ASH LN^#3^LIMA^OH^48132|

第1成分は個人あるいは施設の道路あるいはメーリングアドレス。施設を参照するとき、この最初のコンポーネントは施設名を指定するために使われる。個人に関連して使われるとき、このコンポーネントはアドレスの最初の行を指定する。

第2成分はアドレスの2行目。一般に、それはアドレスを修飾する。例: 555号室、あるいは4階。施設を参照するとき、このコンポーネントは番地を指定する。

第3成分は都市名

第4成分は州あるいはプロビンスはその国の公式の郵便コードによって表わすのがよい。

第5成分はZIPまたは郵便番号はその国の公式のコードによって表わすのがよい。
 米国のZIPの形式は99999[－9999]の形式であり、カナダの郵便番号の形式はA9A9A9である。
 日本の形式は999-9999である。

第6成分はアドレスの国を定義する。ISOの3166は、使用できる国コードの一覧表を提供し、3個のパートに分かれている。HL7は3文字の（アルファベット順の）書式が国コードのために使われることを明示する。

第7成分のタイプはオプションであり、HL7テーブル0190－アドレスタイプによって定義される。

テーブル0190－アドレスタイプ

Value	Description
BA	Bad address 良くないアドレス
N	Birth (nee) (birth address, not otherwise specified) 出生地 (旧姓地)
BDL	Birth delivery location (address where birth occurred) 出身地
F	Country Of Origin 出生国
C	Country Of Temporary 臨時国
B	Firm/Business 会社 / ビジネス (勤務地)
H	Home 自宅
L	Legal Address
M	Mailing 郵便宛先
O	Office 職場 (事業所)
P	Permanent
RH	Registry home. Refers to the information system, typically managed by a public health agency, that stores patient information such as immunization histories or cancer data, regardless of where the patient obtains services.
BR	Residence at birth (home address at time of birth) 出生時の住宅 (出生の時間におけるホームアドレス)

第8成分は他の地理的な表示は郡、自然生態地域、標準大都市統計圏などを含んでいる。

FN 姓

Components: <surname (ST)> ^ <own surname prefix (ST)> ^ <own surname (ST)> ^ <surname prefix from partner/spouse (ST)> ^ <surname from partner/spouse (ST)>

このデータタイプは人の姓のフルの仕様書を許す。

適切である場合は、それはその人のパートナーあるいは配偶者のそれから、その人の名前がいずれかの名前から要素を含むかもしれないケースでその人自身の姓を区別する。

更にメッセージでは姓接頭辞(例えば“バン”あるいは“ドゥ”)と性ルートを区別することができる。

注意：PN と他の PN を含んでいるデータ型 (PPN、XCN、XPN) にだけ現われる。

第1成分はその人の姓の原子の要素。最も西洋の使用法で、これはその人の姓である。

第2成分はゲルマン語のための国際化使用法。この部品はオプションである。

第3成分は旧姓を現す。

第4成分はゲルマン語のための国際化使用法。この部品はオプションである。

第5成分はその人のパートナーあるいは部分から同じぐらい著名な配偶者の姓から得られるその人の姓 (たいていの西洋の使用法、姓で) の部分がその人の自身の姓から生じた。この部品はオプションである。もしその人の姓の部分がその人のパートナーあるいは配偶者の姓から得られないなら、このコンポーネントは高く評価されない。さもなければ、もしパートナーあるいは配偶者の姓が合法的にその人の姓に似合って、(あるいは含む) ために変化したなら、これはこのような変更の前にすぐにパートナーあるいは配偶者の姓である。

PN 人名

Components: <family name 姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof 中間名のイニシャルあるいは名前 (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) サフィクス (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) プレフィックス (ST)> ^ <degree (e.g., MD) 学位 (IS)>

Subcomponents of family name: <surname (ST)> & <own surname prefix (ST)> & <own surname (ST)> & <surname prefix from partner/spouse (ST)> & <surname from partner/spouse (ST)>

名前は複数のフリーテキスト成分から成る。PNフィールドの最大長は、成分セパレーターを含めて48文字である。送信システムは大文字と小文字の混合、またはすべて大文字を送ることがで

きる。必要なら、受信システム側ですべて大文字に変換してもよい。

例： |SMITH^JOHN^J^III^DR^PHD|

第1成分は姓について記す。

第2成分は洗礼名を表す。

第3成分は中間名のイニシャルあるいは名前を表す。

第4成分はサフィクス(名前接尾語)を指定するため使用される(例えばジュニアあるいは3世)。

第5成分はプレフィックス(名前接頭辞)を指定するため使用される(例えば、Dr.)。

第6成分は学位(例えば、Md.)を指定するため使用される。推奨値については「使用者定義テーブル 0360 - 学位」を参照すること。

国際化の注:一部の国々では、表意文字あるいは表音(音声の)文字セットを使用しているため、アルファベットフォーマットの他にこれらのフォーマットの片方または両方で名前を送信することが、ときどき必要である。異なる文字セット間を切り替えるには、JIS X0202-ISO 2022のような文字セットを使用するが、これは異なる文字セット間および単一バイトとマルチ・バイトの文字表現の間を切り替える。名前フィールドを繰り返す場合、名前の異なる反復はこれらの異なる文字セットによって表わされてもよい。詳細は以下のとおりである。

(さらにHL7節2.10.2、「FT、STおよびXTデータ型のためのマルチ文字セットをサポートするエスケープ」を参照。)

「HL7は、日本の文字のための下記基準をサポートする:

JIS X0201 対象ISO-IR13 (日本の片仮名)
 対象ISO-IR14 (日本のローマ字)

JIS X0208 対象ISO-IR87 (日本の漢字、平仮名および片仮名)

JIS X0212 対象ISO-IR159 (補足的な日本の漢字)

HL7は欧州の文字のための下記基準をサポートする:

ISO-8859 (1-9) 対象ISO-IR100、101、109、110、144、127、126、138および148。

文字セットは、HL7の中でASCII、8859/1.8859/2、JAS2020およびJIS X0202として引用されている。DICOMは、形式「ISO-IRxxx」の、ISO 2375の中にレイアウトされたコードを使用する。HL7はこの命名法をサポートするが、それは相互操作性を促進するためである。

HL7は、ISO 646:1990 (ISO IR-6)の国際参照バージョンの基本のG0セットを、文字列に対するデフォルト文字レパートリーとして使用する。これは単一のバイト文字セットであり、ASCIIと同一である。

PNあるいはXPNフィールドの各反復はデフォルト文字セットから始まると仮定される。別の文字セットを使用することになっている場合、HL7に定義されたエスケープであって文字セットを宣言するため使用されるものが、反復の初めになければならない。また、HL7に定義されたエスケープであってデフォルト文字セットを始めるため使用されるものが、反復の終わりになければならない。さらに注意すべきことは、いくつかの文字セットを単一の反復内に混ぜ合わせてもよいが、反復がデフォルト文字セットへの復帰で終わることが条件であるということである。

アプリケーションは、その適合文およびフィールド・MSH-18文字セットの中でどの文字セットをアプリケーションがサポートするか明示しなければならない。送信および受信アプリケーションは、をエスケープするために文字セット名(すなわちISO-IRxxx)をマップするか知っているかと仮定されている。

例えば、多くの日本語のメッセージでは、ローマ字(すなわちローマ文字)、片仮名(外国の単語の発音表現)、平仮名(日本語の単語の発音表現)および漢字(絵文字)の混合がある。そのようなメッセージは、4つの文字セットがMSHの中で指定されることを要求する。

名前の国際化のための参考文献

1. "Understanding Japanese Information Processing" by Ken Lunde, O'Reilly Press
2. "DICOM Supplement 9 : Multi-Byte Character Set Support", ACR-NEMA
3. ANSI X3.4:1986 ASCII character set
4. ISO 646:1990 Information Processing - ISO 7-bit coded character set for information interchange
5. ISO/IEC 2022:1994 Information Technology - Character code structure and extension techniques
6. ISO 2375:1986 Data Processing - Procedure for the registration of escape sequences
7. ISO 6429:1990 Information Processing - Control functions for 7-bit and 8-bit coded character sets
8. ISO 8859 (1-9) Information Processing - 8-bit single-byte coded graphic character sets - parts 1-9
9. ENV 41 503:1990 Information systems interconnection - European graphic character repertoires and their coding
10. ENV 41 508:1990 Information systems interconnection - East European graphic character repertoires and their coding
11. JIS X 0201-1976 Code for Information Exchange
12. JIS X 0212-1990 Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange
13. JIS X 0208-1990 Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange
14. RFC 1468 Japanese Character Encoding for Internet Messages

この方法はDICOMと整合している。

DICOMによってサポートされた文字レパートリーは、補遺9の第5部、節62E1の中で定義されている。それによれば、「テキストまたは文字列である値は、図形および制御文字から構成されることができる。図形文字セットは、そのコード化と無関係に、文字レパートリーと呼ばれる。アプリケーションエンティティがDICOM規格を使用してデータを交換したい元来の文脈に依存して、異なる文字レパートリーが使用されている。DICOMによってサポートされた文字レパートリーはISO 8859の中で定義されている。」

さらに、DICOMは、日本語のための次の文字レパートリーをサポートする：

JIS X0201－1976－情報交換のためのコード

JIS X0208－1990－情報交換のための日本の図形文字セットのコード

JIS X0212－1990－情報交換のための補足の日本の図形文字セットのコード

SAD 番地

Components: <street or mailing address (ST)> ^ <street name (ST)> ^ <dwelling number (ST)>

注意: XAD データタイプにだけ現われる。

第1成分は個人あるいは施設の道路あるいはメーリングアドレス。施設を参照するとき、この最初のコンポーネントは施設名を指定するために使われる。個人に関連して使われるとき、このコンポーネントはアドレスの最初の行を指定する。

TN 電話番号

米国とそれに準ずる国で使用する場合、電話番号は常に以下の形式で表す。

Format: [NN] [(999)]999-9999[X99999][B99999][C any text]

オプションの最初の2桁は国コードである。オプションのX部は内線番号である。オプションのB部は呼出番号コードである。オプションのC部は、After 6:00などのようにコメントとして使うことができる。テキスト・フィールドにはなんの制限もないが、10文字を越える値は受信システムにより切り捨てられることがある。施設の電話システムが変わることを想定して、内線番号と呼出番号の長さは、ローカルの取り決めにより拡張することができる。

例 |(415)925-0121X305|
|234-4532CWEEKENDS|

XAD 拡張住所

Components: <street address町名 (SAD)> ^ <other designation他の表示 (ST)> ^ <city都市 (ST)> ^ <state or province州あるいはプロビンス (ST)> ^ <zip or postal code ZIPあるいは郵便番号(ST)> ^ <country国 (ID)> ^ <address type (ID)> ^ <other geographic designation他の地理的な表示 (ST)> ^ <county/parish code郡/教区コード (IS)> ^ <census tract国勢調査標準地域 (IS)> ^ <address representation code住所表示コード (ID)> ^ <address validity range 住所有効範囲 (DR)>

例 : |1234、 Easy St. ^ Ste. 123 ^ San Francisco ^ CA ^ 95123 ^ USA ^ B ^ ^ SF ^ |

他の表示では町名を修飾する。例 : Suite 555あるいは4階など。住所・タイプはオプションであり、HL7テーブル0190—アドレスタイプによって定義される。他の地理的な表示は国、バイオリージョン、SMSAなどを含んでいる。Name/address representation codeはHL7テーブル0465の値を使用。

XPN 拡張人名

Components: <family name姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof 中間名のイニシャルあるいは名前 (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) 接尾辞 (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) 接頭辞 (ST)> ^ <degree (e.g., MD) 学位 (ST)> ^ <name type code名前タイプコード (ID)> ^ <name representation code名前表示コード (ID)> ^ <name context名前コンテキスト (CWE)> ^ <name validity range 名前有効範囲(DR)> ^ <name assembly order 名前の組み立て指示(ID)>

第7成分と第8成分は必須である。

例 : |Smith^John^J^III^DR^PHD^L|
|日本^太郎^^^^D^I~にほん^たろう^^^^D^P~ NIHON^Tarou^^^^D^A|

上にリストしたように、名前は複数のフリーテキスト成分から成る。送信システムは大文字と小文字の混合、またはすべて大文字を送ることができる。必要なら、受信システム側ですべて大文字に変換してもよい。名前タイプコードで法律上の名前や現地名などを示す。取りうる値はHL7テーブル0200 - 名前タイプを参照。一般的に法的な名前は現在の既婚の名前と同じである。

テーブル 0200 - Name type 名前タイプ

Value	Description
A	Alias Name 別名
B	Name at Birth 出生時の名前
C	Adopted Name 養子名
D	Display Name 表示名称
I	Licensing Name 許可された名前
L	Legal Name 法律名前
M	Maiden Name 旧姓
N	Nickname /"Call me" Name/Street Name
P	Name of Partner/Spouse (retained for backward compatibility only)
R	Registered Name (animals only) 動物の登録名
S	Coded Pseudo-Name to ensure anonymity 匿名性を確保するためのコード化された偽名
T	Indigenous/Tribal/Community Name 現地での/部族での/社会での名前
U	Unspecified 不明

学位は使用者定義テーブル0360の値を使用。

テーブル 0360 - 学位

Value	Description
AAS	Associate of Applied Science 応用科学系準学士
AA	Associate of Arts 文系準学士
ABA	Associate of Business Administration 経営管理学準学士

AE	Associate of Engineering	エンジニアリング準学士
AS	Associate of Science	理系準学士
BA	Bachelor of Arts	文学士
BBA	Bachelor of Business Administration	経営管理学士
BE	Bachelor of Engineering	エンジニアリング士
BFA	Bachelor of Fine Arts	美術士
BN	Bachelor of Nursing	看護師
BS	Bachelor of Science	理学士
BSL	Bachelor of Science – Law	理学士－法則
BT	Bachelor of Theology	神学士
CER	Certificate	証明書
DIP	Diploma	卒業証書
DBA	Doctor of Business Administration	経営管理学博士
DED	Doctor of Education	教育博士
PharmD	Doctor of Pharmacy	薬学の医者
PHE	Doctor of Engineering	エンジニアリング博士
PHD	Doctor of Philosophy	哲学博士
PHS	Doctor of Science	科学博士
MD	Doctor of Medicine	医学博士
DO	Doctor of Osteopathy	骨学博士
HS	High School Graduate	高校卒業生
JD	Juris Doctor	法学博士
MA	Master of Arts	文学修士
MBA	Master of Business Administration	経営学修士
MCE	Master of Civil Engineering	土木工学修士
MDI	Master of Divinity	神学修士
MED	Master of Education	教育修士
MEE	Master of Electrical Engineering	電気工学修士
ME	Master of Engineering	エンジニアリング修士
MFA	Master of Fine Arts	美術学修士
MME	Master of Mechanical Engineering	機械工学修士
MS	Master of Science	理学修士
MSL	Master of Science – Law	理学修士－法則
MT	Master of Theology	神学のマスター
NG	Non-Graduate	非卒業生
SEC	Secretarial Certificate	
TS	Trade School Graduate	専門学校卒業生

名前表示コードでは、データ項目によって提供される名前の表現を指示する。この成分は受信者にヒントを提供する。それにより、なにが送られており、なにを表示できるかに関する選択を行うことができる。

テーブル0465 - Name representation 名前表示コード

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイト英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc) 表音文字(ASCII,仮名)

XON 拡張複合組織IDと名称

Components: <organization name組織名 (ST)> ^ <organization name type code組織の名前タイプ (IS)> ^ <ID number ID番号 (NM)> ^ <check digitチェックディジット (NM)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ <assigning authority割当て権限者 (HD)> ^ <identifier type code識別子タイプ (IS)> ^ <assigning facility ID 割当て施設ID (HD)> ^ <name representation code 名前表示コード(ID)>

例：|HL7 Health Center ^ L ^ 6 ^ M11 ^ HCFA|

組織の名前タイプでは、法的な名前、表示する名前などを表わす。

テーブル0204－組織の名前タイプ

Value	Description
A	別名
L	法的な名前
D	表示する名前
SL	株式取引所に登録する名前

XTN 拡張電話番号

Components: [NNN国番号] [(999地域)]999局番-9999番号 [X99999] [B99999] [C any text] ^
<telecommunication use code通信使用コード (ID)> ^ <telecommunication equipment type通信
機器 (ID)> ^ <email address電子メール (ST)> ^ <country code国番号 (NM)> ^ <area/city code
地域市外局番 (NM)> ^ <phone number電話番号 (NM)> ^ <extension内線番号 (NM)> ^ <any
text (ST)>

例: (415) 555-3210 ^ ORN ^ FX ^

テーブル0201—通信使用コード

Value	Description
PRN	主要な自宅番号
ORN	他の自宅番号
WPN	勤務先番号
VHN	別荘番号
ASN	留守電話応答サービス番号
EMR	緊急番号
NET	ネットワーク(電子メール)アドレス
BPN	ポケットベルの番号

テーブル0202—遠隔通信機器タイプ

Value	Description
PH	電話
FX	ファックス
MD	モデム
CP	携帯電話
BP	ポケットベル
INTERNET	インターネットアドレス: 通信使用コードがNETである場合のみ使用
X.400	X.400電子メールアドレス: 通信使用コードがNETである場合のみ使用

注: 成分5~9は、定形の形式で第1の成分の基本機能を反復する。そしてローカルおよび世界の電話番号の両方が表現できる。電話番号のための形式は、定形形式を使用することを推奨し、第1の成分は下位互換性のために残される。

CD チャネル定義

Components: <channel identifier (CM)> ^ <waveform source (CM)> ^ <channel sensitivity/units (CM)> ^
<channel calibration parameters (CM)> ^ <sampling frequency (NM)> ^ <minimum/maximum
data values (CM)>

デジタル波形データを標識付けするために、このデータ型を使用する。

MA 多重化された配列

Components: <sample 1 from channel 1 (NM)> ^ <sample 1 from channel 2 (NM)> ^ <sample 1 from channel 3
(NM)> ... ~ <sample 2 from channel 1 (NM)> ^ <sample 2 from channel 2 (NM)> ^ <sample 2
from channel 3 (NM)> ... ~

このデータ型はチャンネルマルチプレックスの波形データ(例えばアナログデジタル変換器または他のデジタル信号源からのデジタル化された値)を表現する。

NA 数値の配列

このデータ型は一連(配列)の数値を表わすために使用され、各々はNMデータ型をである。

ED カプセル化データ

Components: <source application (HD)> ^ <type of data (ID)> ^ <data subtype (ID)> ^ <encoding (ID)> ^
<data (ST)>

このデータ型は、カプセル化されたデータをソース・システムから目的地システムへ送信する。それは、ソース・システムの識別、データのタイプ、データのコーディング方式およびデータ自身を含んでいる。このデータ型は、RP参照ポインタデータ型に似ているが、このデータ型は一方のシステム上のデータを指すべき代わりに、そのシステムへ送られるべきデータを含んでいる。

ソースアプリケーションはデータのソースであったシステムを識別する一意的な名前である。データのタイプならびにサブタイプはテーブル0191参照されるデータのタイプ、HL7テーブル

ル0291—参照されるデータのサブタイプを参照。

コーディング方式は、それが存在する場合、表示可能なASCII文字として二進法データの連続のオクテットを常に表わす。とりうる値はHL7テーブル0299—コーディング方式を参照。

テーブル0299—コーディング方式

Value	Description
A	コーディングはない。データは表示可能なASCII文字である。
Hex	16進法のコーディング。連続するペアの16進数字は連続する単一オクテットを表わす。
Base64	MIME(多目的インターネットメール拡張)標準のRFC1521によって定義されるコーディング。4つの連続するASCII文字が、二進法データの連続する3つのオクテットを表わす。Base64は、米国ASCIIの65文字サブセットを利用し、これを構成するのは大文字および小文字の英字、数字「0」から「9」まで、「+」、「/」および「=」である。

MIMEインターネット標準のRFC1521により、Base64を以下のように定義する。24ビットの入力グループ(3つのオクテット)を横切って左から右に進むので、各6ビットのグループは印刷可能な64文字の配列としてを使用する。指標によって参照された文字が、コード化された文字列に置かれる。これらの文字は、HL7テーブル0290—MIME base64コード化文字に示され、普遍的に表現可能なように選択される。

24ビット未満がデータの終わりで入力グループにおいて利用可能な場合、特別の処理を実行する。十分なコーディング量はデータの終わりで常に完成される。24入力ビット未満が入力グループにおいて利用可能な場合、6ビット・グループの整数を形成するために、右側にゼロビットを付け加える。

入力データの無い出力フィールド文字は文字「=」に設定される。コード化された出力はすべてオクテットの整数であるので、次の場合だけが発生する：

- (1) 入力の最終量は24ビットの不可欠な倍数である；ここで、コード化された出力の最終単位は「=」のパディングなしの4文字の不可欠な倍数になる、
- (2) 入力の最終量はちょうど8ビットである；ここで、コード化された出力の最終単位は2つの「=」パッド文字が後続する2文字になる。あるいは、
- (3) 入力の最終量はちょうど16ビットである；ここで、コード化された出力の最終単位は1つの「=」パッド文字が後続する3文字になる。

テーブル 0290 - MIME base64 コード化文字

Value/Code	Value/Code	Value/Code	Value/Code
0 A	17 R	34 l	51 z
1 B	18 S	35 j	52 0
2 C	19 T	36 k	53 1
3 D	20 U	37 i	54 2
4 E	21 V	38 m	55 3
5 F	22 W	39 n	56 4
6 G	23 X	40 o	57 5
7 H	24 Y	41 p	58 6
8 I	25 Z	42 q	59 7
9 J	26 a	43 r	60 8
10 K	27 b	44 s	61 9
11 L	28 c	45 t	62 +
12 M	29 d	46 u	63 /
13 N	30 e	47 v	
14 O	31 f	48 w	(pad) =
15 P	32 g	49 x	
16 Q	33 h	50 y	

コード化されたオクテットが、なんらかのコーディング方法によって解釈され、それが暗黙のものかまたは表わされたデータ型で指定されるものを超えると(例えば目的地アプリケーション上の、16ビットあるいは32ビット・二進法の語の中のそれらのオーダリング)、それは目的地アプリケーションによって決定され、この規格の範囲外である。

ソースアプリケーションから目的地アプリケーションまで送信されるべきデータを構成する表示可能なASCII文字。もしコード化された二進数であれば、セクション2.8.14.2「データのタイプ」によってコード化される。

CP 複合価格

Components: <price 価格(MO)> ^ <price type価格タイプ (ID)> ^ <from value 始点の値(NM)> ^ <to value 終点の値(NM)> ^ <range units範囲単位(CWE)> ^ <range type 範囲タイプ(ID)>

Subcomponents of price: <quantity (NM)> & <denomination (ID)>

注意：このデータタイプは、与えられたセグメント内の反復フィールドを定義するために頻繁に使用される。

例： |100.00&USD^UP^0^9^min^P~50.00&USD^UP^10^59^min^P~10.00&USD^UP^60^999^P~50.00&USD^AP~200.00&USD^PF~80.00&USD^DC|

第1成分は唯一必須成分；小数点を通常含んでいる。MO・データタイプの各成分がここでは副成分であることに注意すること。

第2成分はコード化された値、データタイプID。有効な値については、「HL7テーブル0205－価格タイプ」を参照すること。

テーブル0205－価格タイプ

Value	Description
AP	administrative price or handling fee 管理上の価格あるいは取り扱い料金
DC	direct unit cost 直接の単位原価
IC	indirect unit cost 間接の単位原価
PF	professional fee for performing provider 実行提供者に対する専門の料金
TF	technology fee for use of equipment 機器の使用に対する技術料金
TP	total price 価格の合計
UP	unit price, may be based on length of procedure or service 単価、手続きまたはサービスの長さに基づいてもよい。

各々はNM・データタイプである；一緒になって「範囲」を指定する。範囲を時間あるいは量のいずれかとして定義することができる。例えば、範囲は、手続きの最初の10分が1つの価格を持つことを示すことができる。データタイプの別の反復は、別の価格で手続きの次の10～60分の料金を課すことを明示するために、範囲を使用することができる；手続きの最後の反復は60分からN分までを第3の値に指定することができる。

もし<価格タイプ>成分がTPである場合、両方<始点の値>および<終点の値>の両方がヌル (null) であることに注意すること。

第3成分は上記の始点の値を参照すること。

第4成分は上記の始点の値を参照すること。

第5成分はコード化された値、データタイプCE。時あるいは量のいずれかの単位の標準のテーブルによって定義されたもの。(例えば、HL7-節7.1.4「コード体系」のテーブルを参照すること)。これは、範囲、例えば秒、分、時間、日、量(例えばカウント)に関連した単位について記述する；それは、<始点の値>および<終点の値>が存在するとき、必要とされる。

Subcomponents of range units: <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (IS)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (IS)>

第6成分は有効な値については、「HL7テーブル0298－CP範囲タイプ」を参照すること。

テーブル0298－CP範囲タイプ

Value	Description
P	Pro-rate. Apply this price to this interval, pro-rated by whatever portion of the interval has occurred/been consumed 比例配分。この間隔にこの価格を適用する。発生/消費した間隔の部分によって比例配分される。
F	Flat-rate. Apply the entire price to this interval, do not pro-rate the price if the full interval has not occurred/been consumed 定額。この間隔に価格全体を適用する。価格全体が発生/消費しない場合価格の比例配分をしない。

FC 会計クラス

Components: <financial class 会計のクラス (IS)> ^ <effective date 発効期日 (TS)>

この成分は、人に割り当てられた会計のクラスを含んでいる。

推奨値については「使用者定義テーブル0064－会計クラス」を参照すること。

使用者定義テーブル0064－会計クラス

Value	Description
	No suggested values defined 推奨できる値はない

この成分は、第1の成分中で指定された会計のクラスへの、人の割当の発効期日/時間を含んでいる。

QSC 問い合わせセレクト条件

Components: <segment field name セグメントフィールド名 (ST)> ^ <relational operator 比較演算子 (ID)> ^ <value 値 (ST)> ^ <relational.conjunction 比較論理積 (ID)>

例: |@PID.5.1^EQ^EVANS|

定義: このフィールドは、問合せ応答で返されるべき行に資格を与える条件を示す。
(このフィールドは問合せの対応するSQL表現中の「WHERE」句と同じ情報を伝えるが、フォーマットのされ方は異なっている。)

第1成分は修飾語として参加しているフィールドの名前(通常「キー」)。フィールドに名前を付ける方法については、データタイプQIPの第1成分の「セグメントフィールド名(ST)」を参照すること。

第2成分:有効な値については「HL7テーブル0209-比較演算子」を参照すること。

テーブル0209-比較演算子

Relational operator	Value
EQ	Equal 等しい
NE	Not Equal 等しくない
LT	Less than より小さい
GT	Greater than より大きい
LE	Less than or equal 以下
GE	Greater than or equal 以上
CT	Contains 含む
GN	Generic 一般

第3成分はフィールドがそれに対して比較される値。

第4成分は「HL7テーブル0210-比較論理積」を参照すること。比較論理積は以下のように定義される:資格を得る行を選択するために複数の比較がされる場合、結合子はこれらの比較文を連結する。

テーブル0210-比較論理積

Relational conjunction	Note
AND	Default
OR	

- ・文字列に適用されたとき、関係オペレータLT、GT、LEおよびGEはアルファベットの比較を意味する。
- ・「総括的な」比較は、指定された文字列の初めが選択文字列と一致するレコードを選び応答に含める。
- ・反復フィールドがオペランドとして指定される場合、そのいずれかのフィールド条件が一致すれば、応答メッセージ中に含めるための行に資格を与える。
- ・ANDはORに優先する。より高度で複雑な条件は、埋め込みの問合せ言語メッセージあるいはストアプロシジャ問合せメッセージとして問合せが表現されることを要求する。

QIP 問い合わせ入力パラメータリスト

Components: <segment field name セグメントフィールド名(ST)> ^ <value1 (ST) & value2 (ST) & value3 値1&値2&値3 (ST) ... >

例: |@PID.5.1^EVANS|

定義: このフィールドは、ストアードプロシジャーへ渡されるパラメータである名前と値の一覧表を含んでいる。

第1成分はセグメントフィールド名を含んでいる。

フィールド名の命名ルール: フィールドのためのHL7セグメントIDと連結された「@」記号によって、フィールドが指定される。フィールドが成分に分割される場合、名前の後に「.nn」を付けてもよいが、これは特定の成分を識別するためである(「.3」のサフィクスはフィールドの第3の成分を示す); そうでなければ、全体のフィールドが仮定される。フィールドがさらに副成分に分割される場合、名前の後に「.nn.mm」を付けるが、それは相対的な位置によって要求された成分および副成分を識別するためである。

施設特定のフィールドを使用してもよいが、それらが文字「Z」から始まるのが条件である。

この場合、既存のHL7セグメントIDとセグメント番号に矛盾しない施設特定のセグメントIDとセグメント番号が定義されねばならない。

このフィールドに対する値は、この仕様の機能特定の章に定義されている。

注：「@」が、「MSH-2コード化文字」の中で定義された区切記号文字のうちの1つとして使用されている場合、それはエスケープされねばならない。（HL7-節2.10.1「フォーマットコード」を参照）

第2成分はフィールド値を含んでいるか、あるいは「値1&値2&値3...」の形式の値を含んでいる。単一値パラメータは、第2の成分に単一の副成分だけを含んでいる：したがって副成分の区切記号は必要ではない（例えば<フィールド名>^<値>）。値の単純な一覧表（すなわち一次元の配列）を、単一値の代わりに渡してもよいが、各値は区切記号で分離する：「<フィールド名>^<値1&値2&...>」

RCD 行・列定義

Components: <segment field name HL7セグメントフィールド名(ST)>^<HL7 data type HLデータタイプ(ID)>^<maximum column width 最大コラム幅(NM)>

例：PID-5の「姓」コンポーネントの値を含んでいる。データが最大幅の20桁
@PID.5.1^ST^20

定義：このフィールドの各反復は3つの成分から成る：

第1成分はHL7セグメントフィールド名であって、これはコラムを占めるフィールドを識別する（セグメントフィールド名の付け方については、（データタイプQIP-第1成分を参照）。

第2成分は3文字のHL7データタイプ。HL7テーブル0440に従う有効な値のためのデータ型。

第3成分は最大コラム幅であって、返信システムによって決まるもの（これはHL7定義の最大フィールド長さと異なるかもしれない）。

DLN 運転免許証番号

Components: <license number (ST)>^<issuing srate,province, country (IS)>^<expiration date (DT)>

運転免許証番号、発行地、有効期限を表す。

JCC 職種コード／種類

Components: <job code (IS)>^<job class (IS)>

職種と雇用種別を表す。

VH 来院時間

Components: <start day range開始曜日 (ID)>^<end day range 終了曜日 (ID)>^<start hour range 開始時刻(TM)>^<end hour range終了時刻 (TM)>

定義：このデータタイプは患者の居場所に来院できる時間を含んでいる。最初の2つの成分に対する有効な値については、「HL7テーブル0267-曜日」を参照すること。

第1成分は来院時間範囲の開始の曜日。値については、「HL7テーブル0267-曜日」を参照すること。

第2成分は来院時間範囲の最後の曜日。来院時間範囲の開始の曜日。値については、「テーブル0267-曜日」を参照すること。

テーブル0267-曜日

Value	Description
SAT	Saturday 土曜日
SUN	Sunday 日曜日
MON	Monday 月曜日
TUE	Tuesday 火曜日
WED	Wednesday 水曜日
THU	Thursday 木曜日
FRI	Friday 金曜日

第3成分は来院時間範囲の最初の曜日の開始時間（第1の成分の「開始曜日」を参照）。

第4成分は来院時間範囲の最後の曜日の終了時間（第2の成分の「終了曜日」を参照）。

PPN 実行者およびタイムスタンプ

Components: <ID number (ST)> ^ <family name (FN)> ^ <given name (ST)> ^ <second and further given name or initials thereof (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) (ST)> ^ <source table (IS)> ^ <assigning authority (HD)> ^ <name type code (ID)> ^ <identifier check digit (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employed (ID)> ^ <identifier type code (IS)> ^ <assigning facility (HD)> ^ <date/time action performed (TS)> ^ <name representation code (ID)> ^ <name context (CWE)> ^ <name validity range (DR)> ^ <name assembly order (ID)>

このデータ型はTSデータ型につながれたXCNデータ型と等価なものであり、誰がいつアクションを実行したかを記録するために使用する。ヌルでない場合、実行者およびタイムスタンプの両方の値が設定されねばならない。

DR 日付／時間の範囲

Components: <range start date/time 開始日付／時刻(TS)> ^ <range end date/time 終了日付／時刻(TS)>

YYYY[MM[DD[HHMM[SS[S[S[S[S]]]]]]]] [+/-ZZZZ] & <精度>

第1成分は指定された範囲内での最も早い日付／時間（時刻スタンプ）を含んでいる。

第2成分は指定された範囲内での最新の日付／時間を含んでいる。

TS（時刻スタンプ）データタイプによって精度の指定ができることに注意すること。

RI 繰り返し間隔

Components: <repeat pattern 繰り返しパターン(IS)> ^ <explicit time interval明確な時間間隔 (ST)>

定義：このフィールドは、繰り返す予約の間隔を含んでいる。デフォルト設定は、成分の値がない場合、予約がただ一度のみ生じることを示す。このフィールドの定義は、HL7 4章の節4.4.2 「時間間隔成分（CM）」の中で与えられた量／タイミングフィールドの間隔成分の定義と等価である。

第1成分は使用者定義テーブル0335-繰り返しパターン ー によって定義される。

第2成分は第1の副成分中でコードによって参照される実時間を明示的に列挙し、そのフォーマットはHHMM、HHMM、HHMM、....である。実際の管理時間が組織内で変わる場合、第2の副成分が第1の副成分を明確にするために使用される。

RPT 繰り返しパターン

Components: <Repeat Pattern Code 繰り返しパターンコード (CWE)> ^ <Calendar Alignment カレンダー上の位置 (ID)> ^ <Phase Range Begin Value フェーズ範囲開始値(NM)> ^ <Phase Range End Value フェーズ範囲終了値 (NM)> ^ <Period Quantity 期間数値(NM)> ^ <Period Units 期間単位(IS)> ^ <Institution Specified Time 施設設定の時刻(ID)> ^ <Event イベント(ID)> ^ <Event Offset Quantity イベントオフセット数値(NM)> ^ <Event Offset Units イベントオフセット単位(IS)> ^ <General Timing Specification 汎用タイミング指定(GTS)>

SCV 予約クラスと値

Components: <parameter class パラメータクラス(IS)> ^ <parameter value パラメータ値(ST)>

HL7予約の章に関してのみ使用される。

定義：このフィールドが使用されるのは、パラメータと優先権を実施者（予約管理）アプリケーションに伝えるためであり、内容は適切な時間予約枠、資源、場所あるいは実施者（予約管理）上書き基準を選択して予約することである。

第1成分は実施者（予約管理）アプリケーションに渡されつつあるパラメータあるいは優先権を識別するコードである。推奨値については「使用者定義テーブル0294-時間選択基準パラメータ・クラス・コード」を参照のこと。

テーブル0294-時間選択基準パラメータ・クラス・コード

Parameter	Class Description: Valid Values
好ましい開始	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい開始時間。24時間時計表記法を使用するフォーマットHHMMの中の任意の法的な時間仕様
好ましい終了	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい終了期間。24時間時計表記法を使用するフォーマットHHMMの中の任意の法的な時間仕様
月曜	月曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
火曜	火曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=

Parameter	Class Description: Valid Values
	好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
水曜	水曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
木曜	木曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
金曜	金曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
土曜	土曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
日曜	日曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。

第2成分はそのパラメータに対する実際のデータ値である。

例えば、実施者（予約管理）アプリケーションが優先権パラメータが渡され、好ましい開始時間、好ましい終了期間、および週の好ましい日を指定して予約することを可能にする場合、それは次のパラメータ・クラス・コードおよび有効なデータセットを定義する。

TQ タイミング数量

Components: <quantity数量 (CQ)> ^ <interval時間間隔 (CM)> ^ <duration継続時間 (ST)> ^ <start date/time開始日時 (TS)> ^ <end date/time終了日時 (TS)> ^ <priority優先度 (ST)> ^ <condition条件 (ST)> ^ <textテキスト (TX)> ^ <conjunction連結 (ID)> ^ <order sequencingオーダーシーケンス化(CM)> ^ <occurrence duration発生持続(CWE)> ^ <total occurrences発生からの合計 (NM)>

サービスの実施時期とその頻度を指定する。

Priority component 優先度成分 (ST)

定義： 要求の緊急度を述べる。次の値が提案される(優先度のデフォルトはRである)：

S	= 緊急	最も高い優先度で
A	= できるだけ早く	Sオーダーの後
R	= ルーチン	デフォルト
P	= 術前	
C	= 返信	
T	= タイミングがクリティカル	要求は、要求された時間に最も近いことが重要であるという意味である。たとえば、抗生物質血中濃度である
PRN	= As Needed	

値『T』（タイミングクリティカル）の程度は次のように明示できる：

Format:

TS<integer>	=	秒以内で
TM<integer>	=	分以内で
TH<integer>	=	時間以内で
TD<integer>	=	日以内で
TW<integer>	=	週以内で
TL<integer>	=	月以内で

オーダーの連続指定の場合、これらの値は、先行オーダーから後に続くオーダー全部に対してタイミングの重要性を規定する。優先度成分を反復する場合はスペースで区切る。

GTS 汎用タイミング指定

汎用タイミング指定データタイプは複雑な相互に関連するタイミングの情報を伝達するために用いられる。このようなフィールドの値はSTフィールドの整形規則に従う。その文字列データは「バージョン3 データタイプ 第II部 完全な仕様」で、汎用タイミング指定(GTS)データタイプに対して設定されるであろう規則に従うことになる。

5.5 HL7定義以外のテーブルについて

病名情報では転帰区分などの情報が必要である。HL7であらかじめ用意されているものがあればそれを活用するが、存在しない項目については以下のような項目コードを定義して、必要なセグメントに記載することを考える。コーディングシステム名は 'JHSD' を設定する。

JHSD表 0001 –Insurance Plan ID 保険種別

Value	Insurance Plan	Description	Value	Insurance Plan	Description
MI	MI	医保保険	PE	PE	公費保険
C0	MI	国民健康保険	10	PE	感染症予防医療法 結核 適正医療
01	MI	政府管掌健康保険	11	PE	感染症予防医療法 結核 従業禁止等
02	MI	船員保険	12	PE	生保（生活保護法）
03	MI	日雇特例被保険者（一般療養）	13	PE	戦傷病者特別保護法 療養
04	MI	日雇特例被保険者（特別療養）	14	PE	戦傷病者特別保護法 更正
06	MI	組管管掌健康保険 防衛省職員給与法による	15	PE	自立支援法 更正医療
07	MI	自衛官等の療養の給付	16	PE	自立支援法 育成医療
27	MI	老人保健法による老人医療	17	PE	児童福祉法 療養の給付
31	MI	国家公務員共済組合	18	PE	原爆被爆者 認定疾病医療費
32	MI	地方公務員等共済組合	19	PE	被爆者医療
33	MI	警察共済組合	20	PE	精神衛生法 措置入院
34	MI	学校共済組合	21	PE	自立支援法 通院医療
63	MI	特例退職者医療（健保組合）	22	PE	麻薬取締法 措置入院
67	MI	国民健康保険退職者	23	PE	母子保健法
72	MI	特例退職者（国家公務員共済組合） 特例退職者（地方公務員等共済組合）	28	PE	感染症予防・医療法 一類感染者の入院
73	MI	特例退職者（警察共済組合）	29	PE	感染症予防・医療法 新感染症患者の入院
74	MI	特例退職者（学校共済組合）	52	PE	小児慢性特定疾患治療研究
75	MI	特例退職者（学校共済組合）	51	PE	特定疾患治療研究
PI	PI	公害医療	52	PE	小児慢性特定疾患治療研究
LI	LI	労災	53	PE	児童福祉法・精神薄弱福祉法
TI	TI	自賠	66	PE	石綿による健康被害救済の法律
PS	PS	公務員災害	D0	PE	地方公費：PE と同じ意味
OE	OE	OE：自費（保険なし）	OT	OT	その他

*IN1-2およびZ11-2で用いる

JHSD表 0002 –Plan Type 保険プランのタイプ

Value	Description	Value	Description	Value	Description	Value	Description
OJ	職務上	09	栃木県	23	愛知県	37	香川県
LS	下船3月	10	群馬県	24	三重県	38	愛媛県
CC	通勤災害	11	埼玉県	25	滋賀県	39	高知県
K1	継続	12	千葉県	26	京都府	40	福岡県
K2	任意継続	13	東京都	27	大阪府	41	佐賀県
K3	特別療養	14	神奈川県	28	兵庫県	42	長崎県
01	北海道	15	新潟県	29	奈良県	43	熊本県
02	青森県	16	富山県	30	和歌山県	44	大分県
03	岩手県	17	石川県	31	鳥取県	45	宮崎県
04	宮城県	18	福井県	32	島根県	46	鹿児島県
05	秋田県	19	山梨県	33	岡山県	47	沖縄県
06	山形県	20	長野県	34	広島県		
07	福島県	21	岐阜県	35	山口県		
08	茨城県	22	静岡県	36	徳島県		
注記	IN1-2のValueが”02”または”32”の場合 : OJ、LS、CC IN1-2のInsurance PlanがMIの場合 : K1、K2、K3 IN1-2のInsurance PlanがPEの場合 : 01~47						

*IN1-15およびZ11-15で用いる

JHSD表 0003 –Applying allocation 付割付

Value	Description
0~99	給付割合%表現
MX	100%給付

*INI-21およびZI1-21で用いる

JHSD表 0004 –Diagnosis Type 診断種別

Value	Description
H	入院時
L	退院時
O	外来時
B	手術前
A	手術後
F	最終

*PRB-10で用いる

JHSD表 0005 –Uncertain Disease flag 疑い病名フラグ

Value	Description
1	疑いあり

*PRB-13で用いる

JHSD表 0006 –Outcome 転帰区分

Value	Description
I	中止
M	寛解
C	継続
O	その他

*PRB-14で用いる

JHSD表 0007 –Disease Classification 病名区分

Value	Description
1	主診断
2	副診断

*PRB-18で用いる

6. 病名情報メッセージ構文

6.1 患者情報通知(ADT/ACK)

患者情報の通知には患者管理メッセージ（ADT）を用い、その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.1.1 ADT/ACK 患者管理メッセージ イベント(A01、A02、A03 など)

入退院系のイベントでは、以下のものを使用する。

- イベントA01 入院
- イベントA02 転科転棟
- イベントA03 退院
- イベントA11 入院取消
- イベントA12 転科転棟取消
- イベントA13 退院取消

なお、A06(外来患者→入院患者)やA07(入院患者→外来患者)は使用せず、上記のA01(入院)/A03(退院)を使用することとする。

上記のほか、A08 を患者情報の登録/更新に使用する。
なお、患者情報の登録/更新は A08 のみで行うこととする。

ADT/ACK 患者管理メッセージ

<u>ADT</u>	<u>ADT Message</u>
MSH	Message Header
PID	Patient Identification
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties
PV1	Patient Visit
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.
[{ AL1 }]	Allergy Information
[{ OBX }]	Observation/Result
[{ IN1 }]	Insurance
<u>ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error

注: []は省略可能、{ }は繰り返し可能を示す。

- MSHはメッセージに一つ必須である。
- PIDはメッセージに一つ必須である。
- NK1は緊急連絡先、勤務先を含む近親者情報の数だけ繰り返す。通常はA08メッセージのみで使用する。
- OBXは感染症・血型情報の数だけ繰り返す。通常はA08メッセージのみで使用する。
- IN1は患者が保有する保険情報の数だけ繰り返す。通常はA08メッセージのみで使用する。

6.1.2 ADT/ACK 患者管理メッセージ イベント(A60)

アレルギー情報の更新にイベントA60（副作用情報の更新）を使用する。

ADT/ACK 患者管理メッセージ

<u>ADT</u>	<u>ADT Message</u>
MSH	Message Header
EVN	Event Type
PID	Patient Identification
[PV1]	Patient Visit
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.
[{ IAM }]	Patient adverse reaction information
<u>ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error

注: []は省略可能、{ }は繰り返し可能を示す。

- MSHはメッセージに一つ必須である。
- PIDはメッセージに一つ必須である。
- IAMはアレルギー情報の数だけ繰り返す。

6.2 病名情報通知(PPR/ACK)

病名情報の通知には患者プロブレムメッセージ (PPR) を用い、その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.2.1 PPR/ACK -患者プロブレムメッセージ (PC1)

		[] は未使用セグメント
PPR	Patient Problem Message	
MSH	Message Header	
PID	Patient Identification	
[
PV1	Patient Visit←復活	
[PV2]	Patient Visit←復活	
]		
{		
PRB	Detail Problem	
[ZPR]	Attachment Problem	
[{{NTE}}	Notes & Comments (Problem Comments)	
[{{VAR}}	Variance (Problem)	
[[
ROL	Role (Problem)	
[{{VAR}}	Variance (Role)	
]]		
[[
PTH	Detail Pathway	
[{{VAR}}	Variance (Pathway)	
]]		
[{{Z11}}	Insurance	
[[
OBX	Observation/Result	
[{{NTE}}	Notes & Comments (Observation/Result Comments)	
]]		
[[
GOL	Detail Goal	
[{{NTE}}	Notes & Comments (Goal Comments)	
[{{VAR}}	Variance (Goal)	
[[
ROL	Role (Goal)	
[{{VAR}}	Variance (Role)	
]]		
]]		
[[
OBX	Observation/Result	
[{{NTE}}	Notes & Comments (Observation/Result Comments)	
]]		
]]		
[[
ORC	Common Order	
[
OBR	Order Detail Segment	
[{{NTE}}	Notes & Comments (Order Detail Comments)	
[{{VAR}}	Variance (Order)	
[[
OBX	Observation/Result	

```

    [{"NTE"}] Notes & Comments (Observation Comments)
    [{"VAR"}] Variance (Observation/Result)
  ]
}

```

ACK	General Acknowledgment
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{"ERR"}]	Error

注: []は省略可能、{ }は繰り返し可能を示す。

- MSHはメッセージに一つ必須である。
- PRBはメッセージに一つ必須である。
- ZPRは表示病名における病名と修飾語及び表示病名に対するコメントを表現する。
- ZI1は病名情報に付随する保険情報を表現する。
- PIDはメッセージに一つ必須である。

6.3 患者情報照会(QBP/RSP)

患者情報の照会には患者情報照会メッセージ (QBP) を用い、その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.3.1 QBP/RSP 患者情報(基本情報・感染症・血型情報)照会メッセージ イベント(Q11)

QBP/RSP 患者情報(基本情報・感染症・血型情報)照会メッセージ

<u>QBP</u>	<u>Query By Parameter</u>
MSH	Message Header
[[SFT]]	Software Segment
QPD	Query Parameter Definition Segment
RCP	Response Control Parameters
[DSC]	Continuation Pointer
<u>RSP</u>	<u>Segment Pattern Response</u>
MSH	Message Header
[[SFT]]	Software Segment
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error
QAK	Query Acknowledgement
QPD	Query Parameter Definition Segment
[{	--- SEGMENT_PATTERN begin
PID	Patient Identification
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties
PV1	Patient Visit
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.
[{ AL1 }]	Allergy Information
[{ OBX }]	Observation/Result
[{ IN1 }]	Insurance
}]	--- SEGMENT_PATTERN end
[DSC]	Continuation Pointer

注: []は省略可能、{ }は繰り返し可能を示す。

- MSHはメッセージに一つ必須である。
- PIDはメッセージに一つ必須である。
- NK1は緊急連絡先、勤務先を含む近親者情報の数だけ繰り返す。
- OBXは感染症・血型情報の数だけ繰り返す。
- IN1は患者が保有する保険情報の数だけ繰り返す。

6.3.2 QBP/RSP 患者情報(アレルギー情報)照会メッセージ イベント

QBP/RSP 患者情報(アレルギー情報)照会メッセージ

QBP	Query By Parameter
MSH	Message Header
[{SFT}]	Software Segment
QPD	Query Parameter Definition Segment
RCP	Response Control Parameters
[DSC]	Continuation Pointer

RSP	Segment Pattern Response
MSH	Message Header
[{SFT}]	Software Segment
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error
QAK	Query Acknowledgement
QPD	Query Parameter Definition Segment
{	--- SEGMENT_PATTERN begin
PID	Patient Identification
[PV1]	Patient Visit
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.
[{ IAM }]	Patient adverse reaction information
}	--- SEGMENT_PATTERN end
[DSC]	Continuation Pointer

注: []は省略可能、{ }は繰り返し可能を示す。

- MSHはメッセージに一つ必須である。
- PIDはメッセージに一つ必須である。
- IAMはアレルギー情報の数だけ繰り返す。
- デフォルト・トリガーイベントはQ11である。標準、あるいはサイトが定義した照会では、このトリガーイベントを使うか、あるいはそのコンフォーマンス・ステートメントで独特のトリガーイベント値を明示してもよい。

6.4 病名情報照会(QBP/RSP)

病名情報の照会には病名情報照会メッセージ (QBP) を用い、その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.4.1 QBP/RSP 病名情報照会メッセージ イベント(Q11)

QBP/RSP 病名情報照会メッセージ

 は未使用セグメント

QBP	Query By Parameter
MSH	Message Header
{{SFT}}	Software Segment
QPD	Query Parameter Definition Segment
RCP	Response Control Parameters
[DSC]	Continuation Pointer
<hr/>	
RSP	Segment Pattern Response
MSH	Message Header
{{SFT}}	Software Segment
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error
QAK	Query Acknowledgement
QPD	Query Parameter Definition Segment
{	--- SEGMENT_PATTERN begin
PID	Patient Identification
[
PV1	Patient Visit
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.
]	
{	
PRB	Detail Problem
[ZPR]	Extended Problem
[{ NTE }]	Notes & Comments (Problem Comments)
[{ VAR }]	Variance (Problem)
{	
ROL	Role (Problem)
[{ VAR }]	Variance (Role)
}]	
{	
PTH	Detail Pathway
[{ VAR }]	Variance (Pathway)
}]	
[{ ZI1 }]	Insurance
{	
OBX	Observation/Result
[{ NTE }]	Notes & Comments (Observation/Result Comments)
}]	
{	
GO	Detail Goal
[{ NTE }]	Notes & Comments (Goal Comments)
[{ VAR }]	Variance (Goal)
}]	
{	
ROL	Role (Goal)

```

    [ { VAR } ]      Variance (Role)
  ]
  [
    OBX              Observation/Result
    [ { NTE } ]      Notes & Comments (Observation/Result Comments)
  ]
  ]
  [
    ORC              Patient Visit
    [
      OBR              Order Detail Segment
      [ { NTE } ]      Notes & Comments (Order Detail Comments)
      [ { VAR } ]      Variance (Order)
    ]
    [
      OBX              Observation/Result
      [ { NTE } ]      Notes & Comments (Observation | Comments)
      [ { VAR } ]      Variance (Observation/Result)
    ]
  ]
]
}
}
[DSC]              --- SEGMENT_PATTERN end
                  Continuation Pointer

```

注: []は省略可能、{ }は繰り返し可能を示す。

- MSHはメッセージに一つ必須である。
- PRBはメッセージに一つ必須である。
- ZPRは表示病名における病名と修飾語及び表示病名に対するコメントを表現する。
- ZI1は病名情報に付随する保険情報を表現する。
- PIDはメッセージに一つ必須である。
- デフォルト・トリガーイベントはQ11である。標準、あるいはサイトが定義した照会では、このトリガーイベントを使うか、あるいはそのコンフォーマンス・ステートメントで独特のトリガーイベント値を明示してもよい。

7. 関連セグメント詳細

7.1 MSH - Message Header Segment メッセージヘッダセグメント

MSHセグメントは、メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。

HL7属性表 MSH-Message Header メッセージヘッダ

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	1	ST	R	R		00001	Field Separator フィールド区切文字	
2	4	ST	R	R		00002	Encoding Characters コード化文字	
3	227	HD	O	O		00003	Sending Application 送信アプリケーション	
4	227	HD	O	O		00004	Sending Facility 送信施設	
5	227	HD	O	O		00005	Receiving Application 受信アプリケーション	
6	227	HD	O	O		00006	Receiving Facility 受信施設	
7	26	TS	O	R		00007	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	
8	40	ST	O	O		00008	Security セキュリティ	
9	15	MSG	R	R		00009	Message Type メッセージ型	
10	20	ST	R	R		00010	Message Control ID メッセージ制御ID	
11	3	PT	R	R		00011	Processing ID 処理ID	
12	60	VID	R	R		00012	Version ID バージョンID	
13	15	NM	O	O		00013	Sequence Number シーケンス番号	
14	180	ST	O	O		00014	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	2	ID	O	O		00015	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	2	ID	O	O		00016	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	3	ID	O	N		00017	Country Code 国コード	
18	16	ID	O	R	Y	00692	Character Set 文字セット	
19	250	CWE	O	O		00693	Principal Language of Message 主要言語	
20	20	ID	O	C		01317	Alternate Character Set Handling Scheme 文字セット操作法	
21	427	EI	O	O		01598	Message Profile Identifier メッセージプロファイル識別子	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

MSHフィールド定義

MSH-1 Field Separator フィールド区切文字 (ST) 00001

定義：セグメントIDと最初の実フィールド(MSH-2-コード化文字)間のセパレータ。そのようなセパレータとしての他に、残りのメッセージでセパレータとして使う文字を定義する。推奨値は | (ASCII 124)である。

MSH-2 Encoding Characters コード化文字 (ST) 00002

定義：次の順番で並べられた4文字、つまり、成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータ。推奨値は ^~\& (ASCII 94,126,92 and 38) である。メッセージ区切

文字の解説を参照。

MSH-3 Sending Application 送信アプリケーション (HD) 00003

定義：送信アプリケーションを識別するために用いる。

MSH-4 Sending Facility 送信施設 (HD) 00004

定義：送信元施設を区別するため送信側の施設コードや略称などをセットする。

MSH-5 Receiving Application 受信アプリケーション (HD) 00005

定義：受信アプリケーションを識別するために用いる。

MSH-6 Receiving Facility 受信施設 (HD) 00006

定義：受信先施設を区別するため受信側の施設コードや略称などをセットする。

MSH-7 Date/time Of Message メッセージ日時 (TS) 00007

定義：送信システムがメッセージを作成した日時。時間帯を指定した場合、それはメッセージ全体でデフォルトの時間帯として使われる。

MSH-8 Security セキュリティ (ST) 00008

定義：セキュリティの実装に関する情報であるが、その使用法は未定である。

MSH-9 Message Type メッセージ型 (MSG) 00009

Components: <message code (ID)> ^ <trigger event (ID)>

定義：第1成分は、HL7表0076 - メッセージ型にリストされているメッセージ型である。第2成分は、HL7表0003 - イベント型コードにリストされているトリガーイベント・コードである。受信システムはこのフィールドを使い、認識すべきデータ・セグメントを知り、また、これを転送するアプリケーションを知る。

HL7表 0076 - Message type メッセージ型 (病名情報データ交換規約関連のみ掲載)

Value	Description
ACK	General acknowledgment message 一般肯定応答
ADT	ADT message 患者管理(ADT)メッセージ
PPR	Patient problem message 患者プロブレムメッセージ
QBP	Query by parameter 変数による照会
RSP	Segment pattern response セグメントパターン応答

HL7表 0003 - Event type イベント型 (病名情報データ交換規約関連のみ掲載)

Value	Description
A01	ADT/ACK - Admit a patient 患者管理(ADT)/ACK - 入院/来院通知
A02	ADT/ACK - Transfer a patient 患者管理(ADT)/ACK - 患者転送
A03	ADT/ACK - Discharge/end visit 患者管理(ADT)/ACK - 退院/来院終了
A08	ADT/ACK - Update patient information 患者管理(ADT)/ACK - 患者情報の更新
A11	ADT/ACK - Cancel admit 患者管理(ADT)/ACK - 入院/来院通知の取り消し
A12	ADT/ACK - Cancel transfer 患者管理(ADT)/ACK - 転院の取り消し
A13	ADT/ACK - Cancel discharge/end visit 患者管理(ADT)/ACK - 退院/来院終了の取り消し
A60	ADT/ACK - Update allergy information 患者管理(ADT)/ACK - アレルギー情報の更新
ZD1	PPR/ACK - 病名情報の通知

MSH-10 Message control ID メッセージ制御ID (ST) 00010

定義：メッセージを一意に識別する番号または他の識別子。

MSH-11 Processing ID 処理ID (PT) 00011

Components: <processing ID (ID)> ^ <processing mode (ID)>

定義：メッセージを処理するかどうか決めるのに使用する。

HL7表 0103 - Processing ID 処理ID

Value	Description
D	Debugging デバギング
P	Production プロダクション
T	Training トレーニング

HL7表 0207 - Processing mode 処理モード

Value	Description
A	Archive アーカイブ
R	Restore from archive アーカイブからの復元
I	Initial load 初期ロード
T	Current processing, transmitted at intervals(scheduled or on demand) 現在の処理、とびとびに転送される (計画的又は要求に応じて)
not present	Not present (the default, meaning <i>current</i> processing) 存在しない (デフォルト、すなわち現在の処理)

MSH-12 Version ID バージョンID (VID) 00012

定義：受信システムは、バージョンIDを認識しメッセージが確実に解釈されるようにする。
本規約のバージョンIDは2.5を指定する。

HL7表 0104 - Version ID バージョンID

Value	Description
2.0	Release 2.0 リリース2.0 September 1988 1988年9月
2.0D	Demo 2.0 デモ2.0 October 1988 1988年10月
2.1	Release 2.1 リリース2.1 March 1990 1990年3月
2.2	Release 2.2 リリース2.2 December 1994 1994年12月
2.3	Release 2.3 リリース2.3 March 1997 1997年3月
2.3.1	Release 2.3.1 リリース2.3.1 May 1999 1999年5月
2.4	Release 2.4 リリース2.4 November 2000 2000年11月
2.5	Release 2.5 リリース2.5 May 2003 2003年5月

MSH-13 Sequence Number シーケンス番号 (NM) 00013

定義：値がヌルでなければ、シーケンス番号管理が行われているものとする。送信側では受信アプリケーション・施設毎にシーケンス管理することとし、増分は1とする。

MSH-14 Continuation Pointer 継続ポインタ (ST) 00014

定義：アプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用する。
施設にて定義 (但し、推奨しない)。

MSH-15 Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型 (ID) 00015

定義：このメッセージに回答して受諾肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値をHL7表0155に示す。

MSH-16 Application Acknowledgment Type アプリケーション肯定応答型 (ID) 00016

定義：このメッセージに回答してアプリケーション肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値をHL7表0155に示す。

HL7表 0155 - Accept/application acknowledgment conditions アプリケーション肯定応答型

Value	Description
AL	Always 常に
NE	Never 決してない
ER	Error/reject conditions only エラー/リジェクト状態のみ
SU	Successful completion only 正常終了時のみ

注記： MSH-15とMSH-16が省略(または両方ともnull)の場合、オリジナルの肯定応答モード規則が使われる。

MSH-17 Country Code 国コード (ID) 00017

定義：メッセージの発信国を定義する。主に通貨単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される。ISO 3166は、使用可能な国コードのリストを提供する。
通常、本フィールドは使用しない。

MSH-18 Character Set 文字セット (ID) 00692

定義：メッセージ全体に使用する文字セットコードを定義する。有効な文字セットをHL7表0211に示す。

HL7表 0211 - Character sets 文字セット

Value	Description	Comment
ASCII	The printable 7-bit ASCII character set 印刷可能な7ビットの文字セット	(このフィールドを省略する場合、これがデフォルトである)
ISO IR14	Code for Information Exchange (one byte) (JIS X 0201-1976) 情報交換用コード(1バイト)(JIS X 0201-1976)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち "ISO IR14"
ISO IR87	Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0208-1990) 日本のグラフィック文字集合用の情報交換コード(JIS X 0208-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち "ISO IR87" 日本ではJIS X 0208はエスケープシーケンスを必要としており、エスケープ技術はISO2022である。標準ASCIIでは、エスケープシーケンス"escape"\$B(16進数、1B 24 42)は以下のバイトは2バイトの幅であることを自身に知らせる。ASCIIへもどるには1B 28 42である。
ISO IR159	Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0212-1990) 補助的な日本のグラフィック文字集合用の情報交換コード (JIS X 0212-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち "ISO IR159"
UNICODE UTF-8	UCS Transformation Format, 8-bit form UCS 変換フォーマット,8-bit 形式	UTF-8 は可変長符号であり、それぞれのコードは 1,2 もしくは 3 バイトで表され、コード値に依存する。7ビット ASCII は UTF-8 の下位集合である。このコードは UTF の前にスペースを含んでも良いが、ハイフンの前後にスペースを含んではならないことに注意

異なる文字セットの反復はデータ型PNとXPNのみに適用される。本フィールドの指定がないもしくは反復の第一成分がNullの場合はsingle-byte character set (ASCII (ISO IR-6))が適用される。本フィールドが出現し第一成分が特定される場合この文字セットがメッセージのデフォルト文字セットとなる。これはシングルバイト文字セットでなければならない。(例えば ISO-IR 6, ISO-IR 13, ISO-IR 14, ISO-IR 100, etc.) 第二第三成分は代替文字セットが使用できダブルバイト文字セットも含まれる。(例えば ISO IR87) デフォルト文字セットは常にシングルバイト文字セットであり、ISO-IR 6 (ISO 646) or ISO-IR 14 (JIS X 0201-1976)の G0 域である。

半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。漢字を使用する場合~ISO IR87が一般的で、さらにJIS補助漢字を使用する場合続けて~ISO IR159とする。

MSH-19 Principal language of message 主要言語 (CWE) 00693

定義：メッセージの主要言語を定義する。コードはISO 639を使用。

MSH-20 Alternate character set handling scheme 文字セット操作法 (ID) 01317

定義：文字セットを切り替えるためのエスケープシーケンス方式を定義する。ISO 2022-1994を使用する。

HL7表 0356 - Alternate character set handling scheme 代替文字セット操作法

Value	Description	Comment
ISO 2022-1994	この規格は、“情報技術 - 文字コード構造と拡張技術”と名付けられている。	この規格は、基本的な1バイト文字セットから指定された異なる文字セットとの間の、遷移する手順を指定する。その遷移手順は、明示的に起動される交代文字セットを指定する。このモードでは、実際のASCIIエスケープ文字が、参照されるISO文書中で定義され使用される。1.7.1節で注意したように、代替文字セットへ(から)の遷移手順は、HL7区切り文字間内で起きるべきである。言い換えれば、HL7区切り文字は基本の1バイト文字だけであり、区切り文字の直前と直後の文字は、状態を符号化している基本的な1バイトセットであるべきである。
<null>	これはデフォルトであり、このメッセージ中に交代する文字セットが無いことを指定する。	これはデフォルトである。

MSH-21 Message Profile Identifier メッセージプロファイル識別子 (ED) 01598

定義：サイトは、このフィールドを、メッセージプロファイルの準拠を主張するか、もしくは参照する際に使用することができる。メッセージプロファイルは、文法、構文および特定のメッセージやメッセージのセットの詳細化された説明を含む。

このフィールドの反復は、メッセージプロファイルの作成と名前付けに、より柔軟性を持たせる。反復を用いることで、このフィールドは、メッセージが従うメッセージプロファイルのセットを指定できる。

V2.5において、HL7メッセージプロファイル識別子は適合要求や発行/購読システムに使われているかもしれない。

V2.5より以前、このフィールドは適合文書IDと呼ばれていた。下位互換性のため、ここでは適合文書IDを使うことができる

7.2 MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ肯定応答セグメント

MSAセグメントは、他のメッセージの肯定応答の特性を定義する。

HL7属性表 MSA—Message Acknowledgment メッセージ肯定応答

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		0008	00018	Acknowledgment Code 肯定応答コード	
2	20	ST	R	R			00010	Message Control ID メッセージ制御ID	
3	80	ST	B	B			00020	Text Message テキストメッセージ	
4	15	NM	O	O			00021	Expected Sequence Number 予想シーケンス	
5			W	W			00022	Delayed Acknowledgment Type 遅延肯定応答タイプ	
6	250	CWE	B	B		0357	00023	Error Condition エラー状態	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- W - withdrawn

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site
- W - withdrawn

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

MSAフィールド定義

MSA-1 Acknowledgment Code 肯定応答コード 00018

定義：このフィールドでは肯定応答コードを含んでおり、メッセージ処理規則に従っている。
テーブル0008—肯定応答コードを参照。

HL7表 0008 - Acknowledgment Code 肯定応答コード

Value	Description
AA	基本モード:アプリケーション受諾 拡張モード:アプリケーション肯定応答:受諾
AE	基本モード:アプリケーションエラー 拡張モード:アプリケーション肯定応答:エラー
AR	基本モード:アプリケーションリジェクト 拡張モード:アプリケーション肯定応答:リジェクト
CA	拡張モード:受諾肯定応答:コミット受諾
CE	拡張モード:受諾肯定応答:コミットエラー
CR	拡張モード:受諾肯定応答:コミットリジェクト

MSA-2 Message Control IDメッセージ制御ID (ST) 00010

定義：このフィールドは送信システムから送られてきたメッセージのメッセージ制御IDを含んでいる。送信システムは、この応答と、それが目的とするメッセージを関連づける。

MSA-3 Text Message テキストメッセージ (ST) 00020

定義：エラー条件をより詳細に記述するオプションのテキストフィールド。このテキストは、エラーログに印刷するか、あるいはエンドユーザに提示することができる。

MSA-3はv2.4で否定された。エラー内容についてはERRセグメントを参照のこと。ERRセグメントはエラー状況についてより詳細な記述が可能である。

MSA-4 Expected Sequence Number 予想シーケンス (NM) 00021

定義： シーケンス番号プロトコルで使用するオプションの数値フィールド。

MSA-5 Delayed Acknowledgment Type 遅延肯定応答タイプ (ID) 00022

定義： このフィールドは下位互換性のためのものである。

HL7表 0102 - Delayed acknowledgment type 遅延肯定応答タイプ

Value	Description
D	メッセージが受領され、後の処理に備えて蓄積された
F	処理の後の承認

注意:MSA-5はv2.2で否定されたので、詳細はv2.5の規格からは削除されている。

MSA-6 Error Condition エラー条件 (CWE) 00023

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^
<alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)>
^ alternate coding system version ID (ST) ^ <original text (ST)>

定義： このフィールドは肯定応答システムがユーザ定義のエラーコードを使用し、ARタイプまたはAEタイプの肯定応答をさらに規定することができる。このフィールドは、MSA-3-テキストメッセージの代わりに一般に使われる。

※エラーコードに関しては両者間で調整の上用いる。

MSA-6はv2.4で否定された。エラー内容についてはERRセグメントを参照のこと。ERRセグメントはエラー状況についてより詳細な記述が可能である。

7.3 ERR - Error Segment エラーセグメント

ERR セグメントを使用して、エラーコメントを肯定応答メッセージに加える。

ユースケース:

影響度(Severity):受信アプリケーションは2つのメッセージ、一つはエラー、もう一方は警告、を生成し、どちらか一方を送信する。アプリケーションは両方を表示し、メッセージに適切な影響度を付加する。

アプリケーションエラーコード:受信アプリケーションは、アプリケーションエラーコードを報告するエラーを生成し、その応答でエラー情報を返す。結果としてこのコードは、エラーの正確な原因を特定するためにヘルプデスク・スタッフに使用されるか、ユーザに対して適切な応答を指示するためにアプリケーションに使用される。(例:死亡日は誕生日と同日かもしくは後の日付でなければならない)

アプリケーションエラーパラメータ:受信アプリケーションは、トランザクションの処理中にエラーを生じることがある。エラーコードに加えて、そのアプリケーションはエラーの正確な性質を示すように詳細情報を表すエラーパラメータを提供する。受信アプリケーションはエラーコードと対応するメッセージおよびパラメータの内容を調べ、ユーザに対して結果メッセージを表示する。

診断インフォメーション:トランザクション処理中、受信アプリケーションが例外に遭遇するとする。例外が生じた時、遭遇したエラーに関係する詳細情報を提供する。受信アプリケーションは情報を所得し、応答としてそれを返す。ユーザはヘルプデスクにエラーを報告し、依頼に応じて、問題分析を援助するために診断インフォメーションのコピーをファックスする。

ユーザメッセージ:ユーザは、処理をさらに進めるため、別のアプリケーションに送られたトランザクションを発生させるアプリケーション機能を実行する。この処理の間、受信アプリケーションはエラーに遭遇し、エラー対処ルーチンの一環として、その応答として返ってくるユーザメッセージを取り出す。元のアプリケーションは、エンドユーザがその問題を解決してエラー無しで再実行できるようにするために、応答されたエラーを受け取り、それを表示する。

人への通知コード:処方箋のトランザクションを発行した後、患者が薬を誤用しているかもしれないことをユーザに知らせる応答が返されるとする。警告に対する感度を与えるため、このエラーを患者に知らせるべきではないという指標と、この警告を無視するか確認するかのステップの影響とを含むエラーが返される。

無効型:業務ルールが保留中の処方箋が施せないと提示している場合、ルールの例外として処方箋を施すことを許可するため、無効型は“保留中の処方箋を施す”となる。

無効理由コード:処方箋が患者に与えられ処方箋が完全に終了する前で、残った錠剤がなくなったとする。患者は薬局に戻り、状況を薬剤師に説明する。薬剤師はなくなった薬の代わりに新たな薬を処方すると決めるが、このイベントを記録しようと試みると、処方箋の最大限量を超えたというメッセージが返る。薬剤師はこのルールを無効にし、紛失した製品の代わりであることを示す無効理由コードを指定する。

ヘルプデスクコンタクト:ヘルプデスクに問合せた情報はデータベースに蓄積される。アプリケーションエラーに遭遇したとき、そのデータベースは照会され、最新のヘルプデスクコンタクト情報がエラーメッセージとして返される。このメッセージが受信アプリケーションによってユーザに表示される。

最適エラー場所情報:受信システムが、ROL.4(役割人物-XCN).16(氏名状況 - CWE).4(代替識別子 - IS)の3回目の反復エラーを感知するとする。そのアプリケーションはエラーが発生した際に、反復と成分を特定し、問題の分析を単純化する。

複数のエラーロケーションのサポート:二つのフィールドが条件付であり、そのうち一つは指定されなければならないとする。送信アプリケーションが両方をブランクとして残した場合を考える。

受信アプリケーションは問題を検知し、フィールドのうちの一つは指定されていなければならないことを示す単一のエラーを戻す。ERR セグメントは、エラーに関するメッセージに含まれる両方の位置を指定する。

HL7属性表 ERR-Error エラー

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	493	ELD	B	B	Y		00024	Error Code and Location エラーコードと位置	
2	18	ERL	O	O	Y		01812	Error Location エラー位置	
3	705	CWE	R	R		0357	01813	HL7 Error Code HL7エラーコード	
4	2	ID	R	R		0516	01814	Severity 影響度	
5	705	CWE	O	O		0533	01815	Application Error Code アプリケーションエラーコード	
6	80	ST	O	O	Y/10		01816	Application Error Parameter アプリケーションエラーパラメータ	
7	2048	TX	O	O			01817	Diagnostic Information 診断情報	
8	250	TX	O	O			01818	User Message ユーザーメッセージ	
9	20	IS	O	O	Y	0517	01819	Inform Person Indicator 人への通知指標	
10	705	CWE	O	O		0518	01820	Override Type 無効型	
11	705	CWE	O	O	Y	0519	01821	Override Reason Code 無効理由コード	
12	652	XTN	O	O	Y		01822	Help Desk Contact Point ヘルプデスクコンタクトポイント	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

ERRフィールド定義

ERR-1 Error Code and Location エラーコードとロケーション (ELD) 00024

Components: <Segment ID (ST)> ^ <Segment Sequence (NM)> ^ <Field Position (NM)> ^ <Code Identifying Error (CWE)>

Subcomponents for Code Identifying Error (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義:このフィールドは別のメッセージ内の誤ったセグメントを識別する。V2.5 のみにおいて下位互換性のため維持される:ERR-2 と ERR-3 をかわりに参照のこと。

有効な値については HL7 表 0357 メッセージエラー条件コード を参照のこと

ERR-2 Error Location エラー位置 (ERL) 01812

Components: <Segment ID (ST)> ^ <Segment Sequence (NM)> ^ <Field Position (NM)> ^ <Field Repetition (NM)> ^ <Component Number (NM)> ^ <Sub-Component Number (NM)>

定義:識別されたエラー、警告、もしくはメッセージに関するメッセージ内の位置を識別する。もし複数の反復が存在した場合、エラーは場所を組み合わせた値に起因する。

ERR-3 HL7 Error Code HL7エラーコード (CWE) 01813

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義:HL7(コミュニケーション)エラーコードを識別する。有効な値についてはHL7表 0357-メッセージエラー条件表を参照のこと。

HL7表 0357 – メッセージエラー条件表

Value	Description	Comment
0	メッセージ受諾	成功。オプションでは、AAが成功を伝えるだけ。常時状態コードを返す必要があるシステムのために利用される
100	セグメントシーケンスエラー	エラー:メッセージセグメントが適当な順番でないか、要求されたセグメントが失われている
101	要求されたフィールドの消失	エラー:要求されたセグメントが消失している
102	データ型エラー	エラー:フィールドが不正なエラーを含んでいる。例えばNMフィールドが"FOO"を含んでいる
103	表の値が見つからない	エラー: データ型IDかISのフィールドが対応する表と比較され、合致するものが無い
200	提供されていないメッセージ型	却下:そのメッセージ型は提供されていない
201	提供されていないイベントコード	却下:そのイベントコードは提供されていない
202	提供されていない処理ID	却下:その処理IDは提供されていない
203	提供されていないバージョンID	却下:そのバージョンIDは提供されていない
204	不明なキー識別子	却下: 患者、オーダ等のIDが見つからない。付加以外ではトランザクションに用いられる。例えば存在しない患者の転送
205	キー識別子の重複	却下:患者やオーダ等のIDが既に存在している。付加トランザクションの応答で用いられる(許可、新オーダ等)
206	アプリケーションレコードがロックされている	トランザクションが、アプリケーション格納レベルで実行することができなかった(例えばデータベースのロック)
207	アプリケーション内部エラー	却下: 他のコードで明示的に対象としていない、包括的な内部エラー用

ERR-4 Severity 影響度 (ID) 01814

定義:アプリケーションエラーの影響度を識別する。もし何かがエラーであるとわかると、警告や情報にアプリケーションがそのエラー内容に対処する方法が示される。有効な値はHL7表 0516-エラー影響度を参照のこと。もしERR-3の値が"0"の場合、ERR-4の値は"I"となる。

例:警告は、注意すべきことがあるが、それは自動的に処理されず、さらに情報が消失してしまったこと示すために使われる。

情報の例:要求を受理した際、受理者は下限値の範囲内であることを示してよい。

HL7表 0516 – エラー影響度

Value	Description	Comment
W	警告	トランザクションは成功したが、何か問題がある
I	情報	トランザクションは成功したが、何か情報を含む、例)患者へ伝えるべき情報
E	エラー	トランザクションが失敗した。

ERR-5 Application Error Code アプリケーションエラーコード (CWE) 01815

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義:発生した特定のエラーを識別するためのアプリケーション特定のコード。推奨される値は HL7 表 0533-アプリケーションエラーコードを参照のこと。

もしコードと関連するメッセージにパラメータがある場合、メッセージは java .text.MessageFormat approach⁶フォーマットで表されることが推奨されている。このスタイルはパラメータ型の情報に数値、データ、時間を供給することができ、それらは言語に合わせて適当にフォーマットされる。

HL7表 0533 – アプリケーションエラーコード

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

ERR-6 Application Error Parameter アプリケーションエラーパラメータ (ST) 01816

定義:特別なエラー条件/警告/その他を理解するために、アプリケーションエラーコードと共に付加される追加情報。このフィールドは最大 10 パラメータまで反復が可能である。

例:ERR-5 で指定されているアプリケーションエラーコードが英語のメッセージ”この患者は、{1, 日付,媒体}までの期間、{0,数字,通貨単位}の免責をうけることができる”と一致し、ERR-6 の最初の 2 つの反復が”250”と”20021231”であった場合、アメリカの受信アプリケーションは”この患者は 2002 年 12 月 31 日までの期間、250 ドルの免責をうけることができる”というメッセージを表示する。

ERR-7 Diagnostic Information 診断情報 (TX) 01817

定義:ヘルプデスクや、問題を診断するサポート人物によって使われる情報。

ERR-8 User Message (TX) 01818

定義:アプリケーションユーザに対して表示されるテキストメッセージ。

例:

|この問題は他のシステムとの通信トラブルです。ヘルプデスクに連絡して下さい。|

これは実際のエラーコードと違い、より詳細な診断情報を提供する。

ERR-9 Inform Person Indicator (IS) 01819

定義:誰(だれでも)に対してエラーを知らせるかを示すコード。このフィールドはまた、特定の人物にエラーを知らせてはいけない場合にも使用される(患者に知らせてはいけない場合など)。推奨される値は使用者定義表 0517-情報人物コードを参照のこと。

使用者定義表 0517-情報人物コード

Value	Description	Comment
PAT	患者に知らせる	
NPAT	患者に知らせてはいけない	
USR	ユーザに知らせる	
HD	ヘルプデスクに知らせる	

ERR-10 Override Type 無効型 (CWE) 01820

定義:特定のエラーを無効にする際に使われる無効型を識別する。推奨される値は使用者定義表 0518 無効型を参照のこと。

⁶ メッセージフォーマットの詳細は書き URL を参照のこと

<http://java.sun.com/products/jdk/1.2/docs/api/java/text/MessageFormat.html>

ERR-11 Override Reason Code 無効理由コード (CWE) 01821

定義:エラーを発生させたアプリケーション規則を無効にした際に使われた無効コードのリストを提供する。推奨される値は使用者定義表 0519-無効理由を参照のこと

ERR-12 Help Desk Contract Point ヘルプデスクコンタクトポイント (XTN) 01822

定義:特定のエラーに関するヘルプデスクサポートの電話、Eメール、ファックスその他関係のある番号のリスト。

7.4 QPD - Query Parameter Definition Segment 照会パラメータセグメント

QPDセグメントは照会のパラメータを定義する。

HL7属性表 QPD—Query Parameter Definition 照会パラメータ

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R		0471	01375	Message Query Name メッセージ照会名	
2	32	ST	C	C			00696	Query Tag 照会タグ	
3-n	256	-	-	-			-	User Parameter ユーザ・パラメータ	各照会で定義

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

QPDフィールド定義

QPD-1 Message Query Name メッセージ照会名 (CWE) 01375

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは照会名を含む。これらの具体的な値は、この機能を使用する各章に指定されている。照会名はコンフォーマンス・ステートメントと一対一であり、その識別子である。各施設でローカル定義した照会名は文字 Z から始める。照会名の定義は使用者定義表 0471-照会名を参照すること。

使用者定義表 0471 - 照会名

Value	Description	Comment
	提案値は定義されていない	

QPD-2 Query Tag 照会タグ (ST) 00696

定義：このフィールドは、照会を識別するために照会するシステムによって値が設定され、応答と照会を突合するために使用する。照会時にこのフィールドに値が設定されていれば、応答するシステムは、照会承認セグメント(QAK)の最初のフィールドとして、この値をエコーバックすることが要求される。この値は照会に関係があるそれぞれのメッセージ(すなわちすべての継続メッセージ)で同じ値を設定するため、このフィールドは、MSA-2-メッセージ・コントロール ID と異なる。MSA-2-メッセージ・コントロール ID は、それが全体としての照会ではなく、それぞれの個々のメッセージに関係があるので、それぞれの継続メッセージによって異なる可能性がある。

[実装時の考慮：ソケットの返答メッセージだけが、今送られた照会に対して唯一の応答になる場合には、実装でこのフィールドに値を入れる必要がない。逆に、多くの照会、応答、および他のメッセージを、同一ソケットを利用する「非同期通信」を利用する場合には、サーバーがどの照

会に答えているかをクライアントが判別できるように、このフィールドに値を入れなければならない。]

QRD-3 User Parameter ユーザ・パラメータ (多様) 01435

定義：これ以降のフィールドは、クライアントがサーバーに受け渡す値を保持する。各フィールドはパフォーマンス・ステートメントで定義された1つのパラメータに相当し、名前、タイプ、オプション、および繰り返しがそれぞれ規定される。また、これらのパラメータは一般的には AND 結合され、利用者はパフォーマンス・ステートメントの要求を厳密に検査する必要がある。各パラメーター・フィールドは、QIP および QSC タイプを含む、あらゆるデータタイプがパフォーマンス・ステートメントによって指定される。また、パラメーター・フィールドはソート・コントロール(SRT)フィールド、あるいはセグメント・グループ(ID)フィールドを含んでもよい。QPD セグメントのパラメーター・フィールドは、パフォーマンス・ステートメントのいくつかの指示によって形成される。

7.5 QAK - query acknowledgment segment 照会認知セグメント

QAK セグメントは、照会に対する応答で送られた情報を含んでいる。QAK セグメントは拡張照会に対する応答に必要であるが、いずれのオリジナルモードの照会に対する、いずれの照会応答(メッセージ)中の ERR セグメント (オプション) の後に置かれるオプションセグメントとして現れても良い。

HL7 属性表-QAK - 照会認知

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	32	ST	C			00696	Query Tag
2	2	ID	O		0208	00708	Query Response Status
3	250	CWE	O		0471	01375	Message Query Name
4	10	NM	O			01434	Hit Count
5	10	NM	O			01622	This payload
6	10	NM	O			01623	Hits remaining

QAKフィールドの定義

QAK-1 Query Tag 照会タグ (ST) 00696

定義： このフィールドは開始システムによって照会を識別するために値が入れられ、開始された照会に回答メッセージを一致させるために使用されてもよい。もしそこに値が入っていれば、応答システムはそれを照会認識セグメント (QAK) 中の第 1 のフィールドとしてエコーバックするよう要求される。このフィールドは、MSA-2-メッセージ制御 ID とは異なる。その値は、照会に関連した個々のメッセージ(すなわちすべての継続メッセージ)に対して一定である。一方、MSA-2-メッセージ制御 ID は各継続メッセージに応じて変わる。なぜなら、それは個々のメッセージに関連し全体としての照会に関連していないからである。QAK-1 照会タグは、オリジナル・モード照会の QRD-1 照会 ID フィールドの存在という条件付ではない：オリジナル・モード照会においては、QAK-1 照会タグは使用しない。

QAK-2 Query Response Status 照会応答状態 (ID) 00708

定義： このフィールドによって、応答システムは正確な応答状態を返すことができる。それは、照会パラメータと一致するデータが見つからないが、エラーがない場合に特に有用である。それは HL7 テーブル 0208-照会応答状態で定義される。

HL7テーブル0208-照会応答状態

Value	Description	Comment
OK	データ検出 エラー無し (これはデフォルトである)。	
NF	データ未検出 エラー無し	
AE	アプリケーションエラー	
AR	アプリケーション拒絶	

QAK-3 Message Query Name メッセージ照会名 (CWE) 01375

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義： このフィールドは照会名を含む。これらの名前は、この仕様の機能に特定した章に指定されている。サイトに特定のイベント再生照会名は、文字 Z から始まる。

QAK-4 Hit Count Total ヒットカウント合計 (Hit count total)

定義： 使われる場合には、このフィールドは、照会で一致したサーバーによって見つけられたレコードの合計が入る。表による応答の場合には、これは見つけられた列の数である。その他の応答タイプでは、コンフォーマンス・ステートメントで「ヒット」の意味を定義する。

QAK-5 This Payload ジス・ペイロード (NM) 01622

定義: 使われる場合には、このフィールドは、サーバーが現在の応答で送付した一致レコードの合計数を含む。一部分の分割した応答を送るために、継続プロトコルが使われる場合には、この数は、QAK-4 ヒットカウント合計で送られた値とは異なるであろう。

QAK-6 Hits Remaining 残りのヒット (NM) 01623

定義: 使われる場合には、このフィールドは、サーバーが見つけた一致レコードのうち、これから送る部分の合計数を含む。これは、サーバーが部分的な応答を送信するために、継続プロトコルが使われる場合にのみ意味がある。

7.6 PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント

PIDセグメントは、患者識別情報を通信する主要な手段としてすべてのアプリケーションによって使用される。このセグメントは患者を永久に識別する情報と調査情報を含むが、この大部分はそれほど頻繁に変化しない。

HL7属性表 - PID - 患者識別情報

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		00104	Set ID - Patient ID セットID-患者ID	
2	20	CX	B	B		00105	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	250	CX	R	R	Y	00106	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	
4	20	CX	B	B	Y	00107	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	250	XPN	R	R	Y	00108	Patient Name 患者氏名	
6	250	XPN	O	N	Y	00109	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	26	TS	O	R		00110	Date/Time of Birth 生年月日年齢	
8	1	IS	O	R		00111	Sex 性別	
9	250	XPN	B	N	Y	00112	Patient Alias 患者別名	
10	250	CWE	O	N	Y	00113	Race 人種	
11	250	XAD	O	O	Y	00114	Patient Address 患者住所	
12	4	IS	B	N		00115	County Code 郡コード	
13	250	XTN	O	O	Y	00116	Phone Number - Home 電話番号-自宅	
14	250	XTN	O	O	Y	00117	Phone Number - Business 電話番号-勤務先	
15	250	CWE	O	N		00118	Primary Language 言語-患者	
16	250	CWE	O	O		00119	Marital Status 婚姻状況	
17	250	CWE	O	N		00120	Religion 宗教	
18	250	CX	O	O		00121	Patient Account Number 患者会計番号	
19	16	ST	B	N		00122	SSN Number - Patient SSN番号-患者	
20	25	DLN	B	N		00123	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号-患者	
21	250	CX	O	O	Y	00124	Mother's Identifier 母親の識別子	
22	250	CWE	O	N	Y	00125	Ethnic Group 人種のグループ	
23	250	ST	O	N		00126	Birth Place 誕生場所	
24	1	ID	O	N		00127	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識	
25	2	NM	O	N		00128	Birth Order 誕生順序	
26	250	CWE	O	N	Y	00129	Citizenship 市民権	
27	250	CWE	O	N		00130	Veterans Military Status 退役軍人状況	
28	250	CWE	B	B		00739	Nationality 国籍	
29	26	TS	O	O		00740	Patient Death Date and Time 患者死亡日時	
30	1	ID	O	O		00741	Patient Death Indicator 患者死亡識別	
31	1	ID	O	O		01535	Identity Unknown Indicator 身元不明識別	
32	20	IS	O	O	Y	01536	Identity Reliability Code 身元信頼度	
33	26	TS	O	O		01537	Last Update Date/Time 最終更新日	
34	241	HD	O	O		01538	Last Update Facility 最終更新施設	
35	250	CWE	C	N		01539	Species Code 種	
36	250	CWE	C	N		01540	Breed Code 品種	
37	80	ST	O	N		01541	Strain 血統	
38	250	CWE	O	N	2	01542	Production Class Code 製品クラスコード	
39	250	CWE	O	N	Y	01840	Tribal Citizenship 所属種族	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

PIDフィールド定義

PID-1 Set ID - Patient ID セットID-患者ID (SI) 00104

定義：セグメントの反復が許されるメッセージについては、反復を識別するためにセットIDフィールドが使用される。例えば、交換及び照会のトランザクションは、セットID値1、2、3、などの多数のPIDセグメントを持つことができる。

PID-2 Patient ID (external ID) 患者ID(外部ID) (CK) 00105

定義：このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。独断的であった用語「外部ID」はこのフィールドの名前から取り除かれた。「PID-3患者IDリスト」における発行機関、保健機関、識別区分コードなどの繰り返しは特長ある識別情報を示すために許されている。このフィールドはシステムにおいては「外部」として取り決められた解釈として残されている。PID-3患者IDリストはすべての患者識別情報として使われることを推奨されている。

過去との互換性を持つことが必要な時、患者が外部の施設、事務所他来た時には、このフィールドは値を持たなければならない。そして、このフィールドでその移動元の施設で使用していた識別子が示されなければならない。この識別子は異なる施設で使用されるものであるかもしれないし、医療機関で共用しているものかもしれない。HL7表0061チェックデジットスキーマを参照のこと。

PID-3 Patient ID (internal ID 患者ID(内部ID) (CX) 00106

Components: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：患者を一意的に識別するため施設によって使用されるID(たとえば患者IDやカルテ番号、請求書番号など)。患者IDを設定。

【病名】本規約では以下の形式で利用する。

成分：<患者ID>^^^^PI

患者IDが繰り返された場合は、1件目を患者IDとして解釈する。

PID-4 Alternate Patient ID - PID 代替患者ID (ST) 00107

定義：このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。すべての患者識別情報は「PID-3患者IDリスト」を使用することを推奨する。もしこのフィールドを旧バージョンのとの互換性のために使う時は、このフィールドには代替え、一時的、もしくは必要な場合には保留中のオプション患者識別情報、または補足的な患者識別情報に使用する。このフィールドはまた複数の患者IDを運ぶことに使うこともできる。その中には来院番号、来院日、社会保険番号も含む。

PID-5 Patient Name 患者氏名 (XPN) 00108

Components: <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

定義：患者氏名をMSH-18文字セットで指定した文字コードで使用する。例えばMSH-18にASCII-ISO IR87をセットした場合、PID-5はYamada^Tarou^^^^L^A~山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^Pとなる。反復の順序には意味を持たない。姓と名の区別が困難な場合、姓のフィールドを代用するものとする。半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。

患者の名札やフィルムのラベルなどと本フィールドの内容が同じであるよう、法律上の名前「L」を用いることが望ましく、運用に注意すべきである。

【病名】本規約では以下の形式で利用する。

成分：<姓>^<名>^^^^L^<名前表示コード>

複数の名前表示形式が存在する場合には、反復セパレータにより複数記述する。また、少な

くとも、英数字もしくは表音文字による患者氏名が記述されなければならない。

HL7表 0200 - Name Type 名前タイプコード

Value	Description
A	Alias Name 別名
L	Legal Name 法律上の名前
D	Display Name 表示名
M	Maiden Name 旧姓(婚姻前の名前)
C	Adopted Name 養子による名前

HL7表 0465 - Name Representation Code 名前表示コード

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイトの英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc.) 表音文字(ASCII,仮名)

PID-6 Mother's Maiden Name 母親の旧姓 (XPN) 00109

定義：母親の旧姓、同じラストネームを持つ患者を明確に識別するために使用する。本フィールドに出現する名前タイプは「M」である。

通常、本フィールドは使用しない。

PID-7 Date/Time Of Birth 生年月日 (TS) 年齢 00110

Components: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：患者の生年月日、新生児などは誕生時刻まで記述。

生年月日に続けて年齢nnnuを記載することもできる、また年齢単位uとして Y 年令、L 月令、W 週令、D 日令を使用、省略時は年令Yとする(YYYYLLDDHHMMSS^nnu)。例えば 19900301^7 1990年3月1日生7才、^10 10才、^5D 5日齢など、和暦は不可。

【病名】本規約では「YYYYMMDD」形式による、患者の生年月日。

PID-8 Sex 性別 (IS) 00111

定義：患者の性別。 使用者定義表0001—性別を推奨する。

使用者定義表 0001 - Sex 性別

Value	Description
F	Female女性
M	Male男性
O	Otherその他
U	Unknown未知
A	Ambiguous 両性具有
N	Not applicable 適応外

【病名】本規約では「F」と「M」を使用と定義する。

PID-9 Patient Alias 患者の別名 (XPN) 00112

定義：このフィールドはV2.4から旧バージョンとの互換性のためのみ残されている。患者の氏名はすべてPID-5患者氏名を使うことを推奨する。このフィールドはある時に判った患者の名前を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

PID-10 Race 人種 (CWE) 00113

定義：このフィールドは患者の人種を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

PID-11 Patient Address 患者住所 (XAD) 00114

Components : <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

Subcomponents for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

定義：このフィールドは患者の現住所を示している。

最初のエレメントは、
<Street Address (SAD)>
であり、これはさらに
<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>
に分解されるので、日本の場合は、

虎ノ門1-1-9-9^^港区^東京都^105-0001^^H

のように記述する。ただし、住所を（都道府県や市町村などに）分離して管理していない場合は、最初のエレメントだけを用いて、

東京都港区虎ノ門1-1-9-9^^^^105-0001^^H

のように記述しても構わない。また、第7成分を「B」（=会社/事業所）とすることで、患者の勤務先の郵便番号、住所を表現することもできる。

...~東京都千代田区霞が関1-2-2^^^^100-8916^^B

PID-12 County Code 郡コード (IS) 00115

定義：患者の郡コード。
通常、本フィールドは使用しない。

PID-13 Phone Number - Home 電話番号-自宅 (XTN) 00116

Components: <Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドでは患者の個人的な電話番号を示す。すべての患者の個人電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われると思われる電話番号（旧バージョンとの互換性のため）である。もし、主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復区切り文字を送る必要がある。有効な値についてはHL7表0201 電話連絡使用コードとHL7表0202電話連絡手段区分を参照のこと。

なお、最初のエレメントのData TypeはSTなので、例えば、
03-5253-1111^PRN^PH
と扱うこととする。

PID-14 Phone Number - Business 電話番号-勤務先 (XTN) 00117

Components: <Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドでは患者の職場の電話番号を示す。すべての職場の電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われる電話番号（旧バージョンとの互換性のため）である。もし主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復区切り文字を送る必要がある。有効な値についてはHL7表0201 電話連絡使用コードとHL7表0202電話連絡手段区分を参照のこと。

なお、最初のエレメントのData TypeはSTなので、例えば、
03-3506-8010^WRN^PH
と扱うこととする。

PID-15 Primary Language 言語-患者 (CWE) 00118

定義：患者の主要な言語。
通常、本フィールドは使用しない。

PID-16 Marital Status 婚姻状況 (CWE) 00119

Components : <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID

(ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>
 定義：患者の(社会的)婚姻状況。 使用者定義表0002－婚姻状況を推奨する。

使用者定義表 0002 - Marital Status 婚姻状況

Value	Description
A	Separated 別居
D	Divorced 離婚
M	Married 既婚
S	Single 未婚
W	Widowed 死別
C	Common Law 法的
G	Living together 同居・同棲
P	Domestic partner 配偶者
R	Registered domestic partner 登録された配偶者
E	Legally Separated 法的な別居
N	Annulled 取消
I	Interlocutory 対話者
B	Unmarried 未婚
U	Unknown 不明
O	Other その他
T	Unreported 未報告

PID-17 Religion 宗教 (CWE) 00120

定義：このフィールドでは患者の宗教を示す。
 通常、本フィールドは使用しない。

PID-18 Patient Account Number 患者会計番号 (CX) 00121

定義：料金、支払いなどがすべて記録される勘定によって割り当てられる数字。患者の会計を識別するために使用される。

PID-19 SSN Number - Patient SSN番号－患者 (ST) 00122

定義：患者の社会保障番号。
 通常、本フィールドは使用しない。

PID-20 Driver's License Number - Patient 患者の運転免許証番号 (DLN) 00123

定義：患者の運転免許証番号。
 通常、本フィールドは使用しない。

PID-21 Mother's Identifier 母親の識別子 (CX) 00124

定義：例えば新生児用にリンク・フィールドとして使用される。典型的に、患者IDあるいは会計番号が使用されるかもしれない。

PID-22 Ethnic Group 人種のグループ (CWE) 00125

定義：患者の民族的起源を定義する。
 通常、本フィールドは使用しない。

PID-23 Birth Place 誕生場所 (ST) 00126

定義：患者の誕生の場所を示す。
 通常、本フィールドは使用しない。

PID-24 Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識 (ID) 00127

定義：患者が多胎児の一人であったかどうかを示す。Y/Nインジケータを使用。
 通常、本フィールドは使用しない。

PID-25 Birth Order 誕生順序 (NM) 00128

定義：患者が多胎児の一人であった場合、誕生順序を示す値。
 通常、本フィールドは使用しない。

PID-26 Citizenship 市民権 (CWE) 00129

定義：患者の市民権の国を示す。推奨値として、使用者定義表0171 (HL7-3章) 一国コード

又はISO3166を参照すること。
通常、本フィールドは使用しない。

PID-27 Veterans Military Status 退役軍人の状況 (CWE) 00130
通常、本フィールドは使用しない。

PID-28 Nationality 国籍 (CWE) 00739
定義: V2.4以降から、このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。
PID-10人種、PID-22民族、PID-26市民権を参照することを推奨する。患者の属する国籍や国グループを示す。

PID-29 Patient Death Date and Time 患者死亡日時 (TS) 00740
Components: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>
定義: このフィールドは患者が死亡した日時を示す。

PID-30 Patient Death Indicator 患者死亡識別 (ID) 00741
定義: 患者が死亡したか否かをY/Nで表現する。

PID-31 Identity unknown indicator 身元不明識別 (ID) 01535
定義: このフィールドは患者確認が行われているかどうかを示す。
参照 HL7 表 0136 - Yes/no indicator

HL7表 0136 - Yes/no indicator Yes/No標識

Value	Description
Y	身元不明
N	身元確認済み

PID-32 Identity reliability code 識別情報の信頼性 (IS) 01536
定義: このフィールドは、トランザクション経由で送られた患者データの信頼性を示す。この値は、患者データのPIDの誕生日や社会保障番号が確認されたものかどうかを示す。
参照 使用者定義表 0445 - Identity Reliability Code

使用者定義表 0445 - Identity Reliability Code 識別情報の信頼性

Value	Description
US	Unknown/Default Social Security Number 社会保障番号不明
UD	Unknown/Default Date of Birth 誕生日不明
UA	Unknown/Default Address 住所不明
AL	Patient/Person Name is an Alias 患者名不明

PID-33 Last update date/time 最終更新日付 (TS) 01537
Components: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>
定義: このフィールドではPIDセグメントに含まれる患者/個人の識別情報や患者基本情報の最終更新日時を示す。受信側システムではこのフィールドを用いて、どのようにそのトランザクションをそのシステムで扱うかを判断するために使用する。もし、受信側システム（例えばエンタープライズマスター患者インデックス）が、既により新しい個人の情報を持っていた場合、そのトランザクションからの患者/個人基本情報、識別情報を使用しないことと判断する。

PID-34 Last update facility 最終更新施設 (HD) 01538
Components: <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>
定義: 患者PIDセグメントの最終更新施設。これを元にこの情報を受信したデータを採用するかどうかを判断する。もし、受信したサイトはそのデータが信頼性の高い物であるならばそれを利用することの判断ができる。信頼の置ける施設からの更新情報は病院にとって信頼すべき物として扱われる。

- PID-35 Species code 種 (CWE) 01539**
定義：生物の種。このフィールドはコーディングシステムを用いて一般名もしくは学術名を示す。
通常、本フィールドは使用しない。
- PID-36 Breed code 品種 (CWE) 01540**
定義：特定の動物の繁殖。
通常、本フィールドは使用しない。
- PID-37 Strain 血統 (ST) 01541**
定義：このフィールドは動物の血統情報を示す。
通常、本フィールドは使用しない。
- PID-38 Production class code 製品クラスコード (CWE) 01542**
定義：このフィールドはその生物が主に繁殖されたものか、成長したものかを示すコードと／もしくはテキストである。
通常、本フィールドは使用しない。
- PID-39 Tribal Citizenship 所属種族 (CWE) 01840**
定義：このフィールドには個人の所属種族に関する情報が含まれる。
通常、本フィールドは使用しない。

7.7 NK1 - Next of Kin / Associated Parties Segment 近親者情報セグメント

NK1 セグメントは患者の近親者その他の関係者に関する情報を示す。どの関係者も識別される。NK1-1 セット ID を使って、複数の NK1 セグメントを患者属性として送ることができる。

もし、個人または組織が複数の役割を果たす場合、例えばある人が緊急連絡先であり親戚である場合、NK1 セグメントは個々の役割（7 番目のフィールド）にあわせて複数送ることを推奨する。

HL7 属性表 - NK1 – 親戚・関係者

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	R	R		00190	Set ID - NK1 セット ID-NK1	
2	250	XPN	O	O	Y	00191	Name 氏名	
3	250	CWE	O	O		00192	Relationship 続柄	
4	250	XAD	O	O	Y	00193	Address 住所	
5	250	XTN	O	O	Y	00194	Phone Number 電話番号	
6	250	XTN	O	O	Y	00195	Business Phone Number 勤務先電話番号	
7	250	CWE	O	O		00196	Contact Role 役割	
8	8	DT	O	O		00197	Start Date 役割の開始日	
9	8	DT	O	O		00198	End Date 役割の終了日	
10	60	ST	O	N		00199	Next of Kin / Associated Parties Job Title 肩書	
11	20	JCC	O	N		00200	Next of Kin / Associated Parties Job Code/Class 職種・職位	
12	250	CX	O	N		00201	Next of Kin / Associated Parties Employee Number 従業員番号	
13	250	XON	O	O	Y	00202	Organization Name - NK1 所属組織名	
14	250	CWE	O	N		00119	Marital Status 結婚状態	
15	1	IS	O	O		00111	Administrative Sex 性別	
16	26	TS	O	O		00110	Date/Time of Birth 生年月日	
17	2	IS	O	N	Y	00755	Living Dependency 生活依存	
18	2	IS	O	N	Y	00145	Ambulatory Status 介護区分	
19	250	CWE	O	N	Y	00129	Citizenship 市民権情報	
20	250	CWE	O	N		00118	Primary Language 使用言語	
21	2	IS	O	N		00742	Living Arrangement 生活様式	
22	250	CWE	O	N		00743	Publicity Code 周知標識	
23	1	ID	O	N		00744	Protection Indicator 保護標識	
24	2	IS	O	N		00745	Student Indicator 学生標識	
25	250	CWE	O	N		00120	Religion 宗教	
26	250	XPN	O	N	Y	00109	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
27	250	CWE	O	N		00739	Nationality 国籍	
28	250	CWE	O	N	Y	00125	Ethnic Group 民族	
29	250	CWE	O	N	Y	00747	Contact Reason 連絡理由	
30	250	XPN	O	O	Y	00748	Contact Person's Name 連絡先の名前	
31	250	XTN	O	O	Y	00749	Contact Person's Telephone Number 連絡先の電話番号	
32	250	XAD	O	O	Y	00750	Contact Person's Address 連絡先の住所	
33	250	CX	O	O	Y	00751	Next of Kin/Associated Party's Identifiers 近親者識別情報	
34	2	IS	O	N		00752	Job Status 職業状態	
35	250	CWE	O	N	Y	00113	Race 人種	
36	2	IS	O	N		00753	Handicap 障害情報	
37	16	ST	O	N		00754	Contact Person Social Security Number 連絡先の社会保険番号	
38	250	ST	O	N		01905	Next of Kin Birth Place 近親者生誕地	
39	2	IS	O	N		00146	VIP Indicator VIP 標識	

Optionality
R - required

- O - optional
 - C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
 - X - not used with this trigger event
 - B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- Japan (JAHIS仕様での取り扱い)
- R - required
 - O - optional
 - C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
 - X - not used with this trigger event
 - B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
 - N - not used usually. use only on the site
- Repetition
- N - no repetition
 - Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

NK1 フィールド定義

NK1-1 Set ID - NK1 セット ID - NK1 (SI) 00190

定義：このフィールドはこのトランザクションにおける番号を示す。そのセグメントが最初に現れた時はこのシーケンス番号は1でなければならない。2回目の時は2，といった具合である。

NK1-2 Name 氏名 (XPN) 00191

Components: <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

定義：このフィールドは近親者または関係者の氏名を示す。同じ個人に対して複数の名前が許容されているが、必ず法的な名前が最初に送られなければならない。法的な名前を送らない時は、最初に反復区切り文字を送らなければならない。有効な値についてはHL7表0200名前種別を参照のこと。

NK1-3 Relationship 続柄 (CWE) 00192

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは患者と近親者／関係者の関係を示す。推奨値については使用者定義表0063続柄を参照のこと。

使用者定義表 0063 - Associate 続柄

Value	Description	Comment
SEL	Self 本人	
SPO	Spouse 配偶者	
DOM	Life partner 共同生活者	
CHD	Child 子供	
GCH	Grandchild 孫	
NCH	Natural child 本来の子供	
SCH	Stepchild 継子	
FCH	Foster child 里子	
DEP	Handicapped dependent 障害で扶養されている	
WRD	Ward of court 保護観察	
PAR	Parent 親	
MTH	Mother 母親	
FTH	Father 父親	
CGV	Care giver 介護者	
GRD	Guardian 保護者	

Value	Description	Comment
GRP	Grandparent 祖父母	
EXF	Extended family 拡大家族	
SIB	Sibling 兄弟姉妹	
BRO	Brother 兄弟	
SIS	Sister 姉妹	
FND	Friend 友人	
OAD	Other adult その他の成人	
EME	Employee 従業員	
EMR	Employer 雇い主	
ASC	Associate 仲間	
EMC	Emergency contact 緊急連絡先	
OWN	Owner 所有者	
TRA	Trainer 調教師	
MGR	Manager 管理者	
NON	None なし	
UNK	Unknown 不明	
OTH	Other その他	

NK1-4 Address 住所 (XAD) 00193

Components: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

Subcomponents for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

定義：このフィールドは近親者／関係者の住所を示す。同じ個人に複数の住所が許容される。現住所が最初に送られなければならない。もし、現住所が送られない場合は、反復区切り文字を最初に送らなければならない。

NK1-5 Phone Number 電話番号 (XTN) 00194

Components: <Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドは近親者／関係者の電話番号を示している。同じ個人に対して複数の電話番号が許される。主要な電話番号が最初に送られなければならない。もし、主要な電話番号が送られない場合は、反復区切り文字を最初に送らなければならない。有効な値についてはHL7表0201 電話連絡使用コードとHL7表0202電話連絡手段区分を参照のこと。

NK1-6 Business Phone Number 勤務先電話番号 (XTN) 00195

Components: <Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドでは近親者／関係者の職場の電話番号を示す。同じ個人に対して複数の電話番号が許容される。主要な職場の電話番号が最初に送らなければならない。もし、主要な職場の電話番号が送られない場合は、反復区切り文字を最初に送らなければならない。有効な値についてはHL7表0201電話通信利用コード、HL7表0202電話通信機器種別を参照のこと。

NK1-7 Contact Role 役割 (CWE) 00196

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは特別な関係を示す。推奨値については使用者定義表0131役割を参照のこと。このフィールドはその近親者／関係者が患者に関してどのような役割であることを示す。

使用者定義表 0131 - Contact Role 役割

Value	Description	Comment
E	Employer 雇用者	
C	Emergency Contact 緊急連絡先	
F	Federal Agency 連邦機関	
I	Insurance Company 保険会社	
N	Next-of-Kin 近親者	
S	State Agency 州機関	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

- NK1-8 Start Date 役割の開始日 (DT) 00197**
 定義：このフィールドはその役割が始まった日を示す。
- NK1-9 End Date 役割の終了日 (DT) 00198**
 定義：このフィールドはその役割が終わった日を示す。
- NK1-10 Next of Kin / Associated Parties Job Title 肩書 (ST) 00199**
 定義：このフィールドは近親者／関係者の職場での肩書きを示す。しかしながら、役割が患者の雇い主の場合は、このフィールドは患者の肩書きを示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-11 Next of Kin / Associated Parties Job Code/Class 職種・職位 (JCC) 00200**
 定義：このフィールドは近親者／関係者の職場における雇用者の職業コードと従業員の職位を示す。しかしながら、役割が患者の雇用者の場合は、このフィールドは患者自身の職業コードと職位を示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-12 Next of Kin / Associated Parties Employee Number 従業員番号 (CX) 00201**
 定義：このフィールドは雇用者が近親者または従業員である従業員に割り当てた番号を示す。しかしながら、役割が患者の雇用者の場合は、このフィールドは患者自身の従業員番号を示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-13 Organization Name - NK1 所属組織名- NK1 (XON) 00202**
 Components: <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>
 定義：このフィールドは近親者／関係者が勤務する組織の名称を示す。このフィールドは関係者が働く会社組織の名前を伝えることにも使われる。同じ組織に対して複数の名前が許される。もし複数の名前を送る時は、法的な名前が最初に送られる必要がある。もし法的な名前が送られない場合は、反復区切り文字が最初に送られる必要がある。
- NK1-14 Marital Status 結婚状態 (CWE) 00119**
 Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>
 定義：このフィールドは近親者／関係者の結婚状態を示す。推奨値は使用者定義表0002結婚状態を参照のこと。
- NK1-15 Administrative Sex 性別 (IS) 00111**
 定義：このフィールドは近親者／関係者の性別を示す。推奨値は使用者定義表001性別を参照のこと。
- NK1-16 Date/Time of Birth 生年月日 (TS) 00110**
 Components: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>
 定義：このフィールドは近親者／関係者の生年月日を示す。

- NK1-17 Living Dependency 生活依存 (IS) 00755**
 定義：このフィールドは患者の医療ニーズに関係する、特別な生活の状態（例えば配偶者が患者に扶養されている、エレベータがない建物）を示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-18 Ambulatory Status 介護区分 (IS) 00145**
 定義：このフィールドは近親者／関係者の移動能力を示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-19 Citizenship 市民権情報 (CWE) 00129**
 定義：このフィールドは近親者／関係者の市民権情報を示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-20 Primary Language 使用言語 (CWE) 00118**
 定義：このフィールドは近親者／関係者が主に話す言語を示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-21 Living Arrangement 生活様式 (IS) 00742**
 定義：このフィールドは関係者の住居における生活様式を示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-22 Publicity Code 周知標識 (CWE) 00743**
 定義：このフィールドは近親者／関係者がどの程度（例：秘密、家族のみ）の周知を許容するかを示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-23 Protection Indicator 保護標識 (ID) 00744**
 定義：このフィールドは十分な権限を持たない使用者から情報照会を受けた時に近親者／関係者がどの程度データを保護したいかを示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-24 Student Indicator 学生標識 (IS) 00745**
 定義：このフィールドは近親者／関係者が現在学生であるか否か、近親者／関係者が全日制の学生か、定時制の学生かを示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-25 Religion 宗教 (CWE) 00120**
 Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>
 定義：このフィールドは近親者／関係者の信仰する宗教を示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-26 Mother's Maiden Name 母親の旧姓 (XPN) 00109**
 定義：このフィールドは近親者／関係者の母親の旧姓を示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-27 Nationality 国籍 (CWE) 00739**
 定義：このフィールドでは近親者／関係者が属する国、または国際グループを識別するコードを示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-28 Ethnic Group 民族 (CWE) 00125**
 定義：このフィールドは近親者／関係者が属する民族を示す。
 通常、本フィールドは使用しない。
- NK1-29 Contact Reason 連絡理由 (CWE) 00747**
 定義：このフィールドでは連絡先をどのようなときに利用すべきかを示す。

通常、本フィールドは使用しない。

NK1-30 Contact Person's Name 連絡先の名前 (XPN) 00748

Components: <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

定義：このフィールドはNK1-3続柄で示される関係の値により連絡する人の名前を示す。このフィールドは主にNK1が組織である時に必要となる。法的な名前が最初に送られる必要がある。有効な値はHL7表0200名前種別を参照のこと。

NK1-31 Contact Person's Telephone Number 連絡先の電話番号 (XTN) 00749

Components: <Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドはNK1-3続柄で定義された関係の値によって連絡する人の電話番号を示す。このフィールドは主にNK1が組織である時に必要となる。主な電話番号が最初に送られる必要がある。もし、主要な電話番号を送らないときは、反復区切り文字を最初に送られる必要がある。有効な値についてはHL7表0201 電話連絡使用コードとHL7表0202電話連絡手段区分を参照のこと。

NK1-32 Contact Person's Address 連絡先の住所 (XAD) 00750

Components: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

Subcomponents for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

定義：このフィールドはNK1-3続柄で定義された関係の値によって連絡する人の住所を示す。このフィールドは主にNK1が組織である時に必要となる。複数の住所を送る時は、最初に郵送用の住所を送らなければならない。

NK1-33 Next of Kin/Associated Party's Identifiers 近親者の識別情報 (CX) 00751

定義：このフィールドは近親者／関係者の識別情報、例えば社会保険番号、運転免許番号等を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

NK1-34 Job Status 就業状態 (IS) 00752

定義：このフィールドは近親者／関係者の職業状態を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

NK1-35 Race 人種 (CWE) 00113

定義：このフィールドは近親者／関係者の人種を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

NK1-36 Handicap 障害情報 (IS) 00753

定義：このフィールドは関係者の身体障害について記述する。

通常、本フィールドは使用しない。

NK1-37 Contact Person Social Security Number 連絡先の社会保険番号 (ST) 00754

定義：アメリカでは、このフィールドでは連絡者の社会保険番号を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

NK1-38 Next of Kin Birth Place 近親者生誕地 (ST) 01905

定義：このフィールドは近親者の生誕地を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

NK1-39 VIP Indicator VIP 標識 (IS) 00146

定義：このフィールドは近親者のVIP標識を示す。
通常、本フィールドは使用しない。

7.8 PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント

PV1セグメントは、来院に関する情報を通信するために登録/ADTアプリケーションによって使用される。このセグメントは複数の来院統計記録を同じ患者の会計に送るため、又は単一の来院記録を複数の会計に送るために、使用することができる。個々のサイトは必ずこのセグメントを使用しなければならない。

HL7属性表 PV1 -Patient visit 患者来院

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	N		00131	Set ID - PV1 セットID-PV	
2	1	IS	R	R		00132	Patient Class 患者クラス	
3	80	PL	O	O		00133	Assigned Patient Location 患者所在場所	
4	2	IS	O	N		00134	Admission Type 入院タイプ	
5	250	CX	O	N		00135	Preadmit Number 仮入院番号	
6	80	PL	O	N		00136	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	250	XCN	O	C	Y	00137	Attending Doctor 主治医	
8	250	XCN	O	N	Y	00138	Referring Doctor 紹介医師	
9	250	XCN	B	N	Y	00139	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	3	IS	O	C		00140	Hospital Service 病院サービス	
11	80	PL	O	N		00141	Temporary Location 一時的な所在	
12	2	IS	O	N		00142	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識	
13	2	IS	O	N		00143	Readmission Indicator 再入院標識	
14	6	IS	O	N		00144	Admit Source入院元	
15	2	IS	O	N	Y	00145	Ambulatory Status 外来の状況	
16	2	IS	O	N		00146	VIP Indicator VIP標識	
17	250	XCN	O	N	Y	00147	Admitting Doctor 入院許可医師	
18	2	IS	O	N		00148	Patient Type 患者タイプ	
19	250	CX	O	N		00149	Visit Number 来院回数	
20	50	FC	O	N	Y	00150	Financial Class 財務クラス	
21	2	IS	O	N		00151	Charge Price Indicator 有償価格標識	
22	2	IS	O	N		00152	Courtesy Code 優待コード	
23	2	IS	O	N		00153	Credit Rating 信用格付け	
24	2	IS	O	N	Y	00154	Contract Code 契約コード	
25	8	DT	O	N	Y	00155	Contract Effective Date 契約発効日	
26	12	NM	O	N	Y	00156	Contract Amount 契約金額	
27	3	NM	O	N	Y	00157	Contract Period 契約期間	
28	2	IS	O	N		00158	Interest Code 利息コード	
29	1	IS	O	N		00159	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード	
30	8	DT	O	N		00160	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付	
31	10	IS	O	N		00161	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード	
32	12	NM	O	N		00162	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額	
33	12	NM	O	N		00163	Bad Debt Recovery Amoun 不良負債回収額	
34	1	IS	O	N		00164	Delete Account Indicator 会計削除標識	
35	8	DT	O	N		00165	Delete Account Date 会計削除日付	
36	3	IS	O	N		00166	Discharge Disposition 退院処置	
37	25	CM	O	N		00167	Discharged to Location 退院先	
38	250	CWE	O	N		00168	Diet Type 給食タイプ	
39	2	IS	O	N		00169	Servicing Facility サービス施設	
40	1	IS	B	N		00170	Bed Status ベッド状況	
41	2	IS	O	N		00171	Account Status 会計状況	
42	80	PL	O	N		00172	Pending Location 保留所在	
43	80	PL	O	N		00173	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在	
44	26	TS	O	O		00174	Admit Date/Time 入院日付/時刻	
45	26	TS	O	O	Y	00175	Discharge Date/Time 退院日付/時刻	
46	12	NM	O	N		00176	Current Patient Balance 患者の差引不足高	
47	12	NM	O	N		00177	Total Charges 合計金額	
48	12	NM	O	N		00178	Total Adjustments 合計調整金額	
49	12	NM	O	N		00179	Total Payments 合計支払金額	
50	250	CX	O	N		00180	Alternate Visit ID 代替来院ID	
51	1	IS	O	N		01226	Visit Indicator 来院識別	
52	250	XCN	B	N	Y	01224	Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event

- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
 - Japan (JAHIS仕様での取り扱い)
 - R - required
 - O - optional
 - C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
 - X - not used with this trigger event
 - B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
 - N - not used useally. use only on the site
- Repetition
- N - no repetition
 - Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

PV1フィールド定義

PV1-1 Set ID - PV1 セットID—PV1 (SI) 00131

定義：トランザクションを一意的に識別する番号。

PV1-2 Patient Class 患者クラス (IS) 00132

定義：サイトにおいて患者を分類するためにシステムで使われる共通のフィールド。入院、外来などの区別を表現する。

使用者定義表 0004 -Patient class 患者クラス

Value	Description
E	Emergency 救急
I	Inpatient 入院患者
O	Outpatient 外来患者
P	Preadmit 予備入院
R	Recurring Patient 再来院患者
B	Obstetrics 産科
C	Checkup 人間ドック
N	Not Applicable 適応無し
U	Unknown 不明

注：「I」「O」以外を使用する場合は両者間にて調整の上、用いる。

PV1-3 Assigned Patient Location 患者所在場所 (PL) 00133

Components: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

定義：病院、診療科、病棟、病室、ベッド等を表現する。新規の場所は最初に割当てた場所、あるいは患者の移動先の場所である。トランザクションの取消しや、退院の場合、現在の部屋番号をこのフィールド表現する。

注：PLデータ型のフィールドは値の第5の成分(ベッド状況)が存在する場合、それは、PV1-40の値に取って代わる。

PV1-4 Admission Type 入院タイプ (IS) 00134

定義：患者が入院していたか入院予定の状況を示す。
通常、本フィールドは使用しない。

使用者定義表 0007 -Admission type 入院タイプ

Value	Description	Comment
A	Accident 事故	
E	Emergency 救急	US UB92 code "1"
L	Labor and Delivery 陣痛および出産	
R	Routine 通常	
N	Newborn (Birth in healthcare facility) 新生児 (院内で誕生)	US UB92 code "4"
U	Urgent 緊急	US UB92 code "2"
C	Elective 選択	US UB92 code "3"

PV1-5 Pre-admit Number 仮入院番号 (CX) 00135

定義：患者の仮入院番号を一意的に識別する。システムでは、仮入院番号を請求番号として患者が入院した後も使用し続けることもできる。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-6 Prior Patient Location 患者の以前の所在 (PL) 00136

定義：新患であればここはNULLである。患者が転院されていれば、それは以前の患者所在を含んでいる。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-7 Attending Doctor 主治医 (XCN) 00137

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：主治医の情報で、複数の名前やIDを持つ場合もある。

PV1-8 Referring Doctor 紹介医師 (XCN) 00138

定義：紹介医師の情報で、複数の名前やIDを持つ場合もある。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-9 Consulting Doctor コンサルティング医師 (XCN) 00139

定義：コンサルティング医師の情報。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-10 Hospital Service 病院サービス (IS) 00140

定義：患者が受ける処置又は手術のタイプ。トリガーイベントA01,A02,A14,A15に関して要求されるフィールド。

PV1-11 Temporary Location 一時的な所在 (PL) 00141

定義：割り当てられた所在以外の所在であって、一時的に必要なもの(たとえばOR)。.
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-12 Pre-admit Test Indicator 仮入院検査標識 (IS) 00142

定義：患者は入院するために仮入院検査を受けねばならないことを示す。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-13 Re-admission Indicator 再入院標識 (IS) 00143

定義：患者が施設および環境に再入院することを示す。再入院はR、そうでなければNullである。再発患者の来院も示すことができる。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-14 Admit Source 入院元 (IS) 00144

定義：患者がどこに入院していたかを示す。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-15 Ambulatory Status 外来の状況 (IS) 00145

定義：提案値として使用者定義テーブル0009-外来状況を参照すること。
通常、本フィールドは使用しない。

使用者定義表 0009 -Ambulatory Status 外来状況

Value	Description
A0	No functional limitations 機能制限なし
A1	Ambulates with assistive device 補助機器を使用して来院
A2	Wheelchair/stretchers bound 車椅子/担架を使用して来院
A3	Comatose; non-responsive 意識不明；反応なし
A4	Disoriented 方向感覚なし
A5	Vision impaired 視力障害あり

A6	Hearing impaired 聴力障害あり
A7	Speech impaired 言語障害あり
A8	Non-English speaking 英語以外を話す
A9	Functional level unknown 機能のレベル未知
B1	Oxygen Therapy 酸素治療
B2	Special equipment (tubes, IVs, catheters) 特別の装置(チューブ、IV、カテーテル)
B3	Amputee 手足の切断手術を受けた人
B4	Mastectomy 乳房切除術
B5	Paraplegic 対麻痺
B6	Pregnant 妊婦

- PV1-16 VIP Indicator VIP標識 (IS) 00146**
 定義：VIPのタイプを識別する使用者定義コード。
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-17 Admitting Doctor 入院時医師 (XCN) 00147**
 定義：入院時の医師の情報、複数の名前やIDのこともある。
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-18 Patient Type 患者タイプ (IS) 00148**
 定義：患者のタイプを示すサイト特定の値。
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-19 Visit Number 来院回数 (CK) 00149**
 定義：患者の各来院に割り当てられた一意的な数。
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-20 Financial Class 財務クラス (CM) 00150**
 定義：診療報酬の源を識別する目的で患者に割り当てられた、主要な財務のクラス。
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-21 Charge Price Indicator 有償価格標識 (IS) 00151**
 定義：部屋およびベッドの料金にどの価格表を使用するか決めるために使用されるコード。
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-22 Courtesy Code 優待コード (IS) 00152**
 定義：患者が特定の優待を受けるかどうかを示すコード。
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-23 Credit Rating 信用格付け (IS) 00153**
 定義：過去の信用経験を決定する使用者定義コード。
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-24 Contract Code 契約コード (IS) 00154**
 定義：会計残高を決済するための施設および保証人による契約のタイプを識別する。
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-25 Contract Effective Date 契約有効日付 (DT) 00155**
 定義：契約が始まる日付。
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-26 Contract Amount 契約金額 (NM) 00156**
 定義：保証人によって各期に契約ごとに支払われる金額。
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-27 Contract Period 契約期間 (NM) 00157**
 定義：使用者が定義する期間で、契約の持続期間を指定する。
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-28 Interest Code 利息コード (IS) 00158**
 定義：任意の未決済の金額に対し保証人に請求される利息額を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-29 Transfer To Bad Debt Code 不良負債変換コード (IS) 00159

定義：会計が不良負債に転換されたこと及び理由を示す。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-30 Transfer To Bad Debt Date 不良負債変換日付 (DT) 00160

定義：会計が不良負債状況に転換された日付。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-31 Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード (IS) 00161

定義：会計が転換された先の不良負債代理を一意的に識別する。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-32 Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額 (NM) 00162

定義：不良負債に転換された金額。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-33 Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額 (NM) 00163

定義：会計上の保証人から回収された金額。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-34 Delete Account Indicator 会計削除標識 (IS) 00164

定義：会計がファイルから削除されたこと及びその理由を示す。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-35 Delete Account Date 会計削除日付 (DT) 00165

定義：会計がファイルから削除された日付。
通常、本フィールドは使用しない。

PV1-36 Discharge Disposition 退院処置 (IS) 00166

定義：退院(つまり、帰宅；期限満了；など)の時の患者の処置。
通常、本フィールドは使用しない。
提案値として使用者定義表 0112 Discharge Disposition 退院処置を参照すること。

使用者定義表 0112 –Discharge Disposition 退院処置

Value	Description
01	Discharged to home reor self ca (routine discharge) 自宅または自己介護施設へ退院 (通常退院)
02	Discharged/transferred to another short term general hospital for inpatient care 短期間の入院管理のため他病院へ退院／転送
03	Discharged/transferred to skilled nursing facility (SNF) 熟練看護施設 (SNF) へ退院／転送
04	Discharged/transferred to an intermediate care facility (ICF) 中間的な診療施設へ退院／転送
05	Discharged/transferred to another type of institution for inpatient care or referred for outpatient services to another institution 異なる種類の入院診療施設へ退院／転送、または他の外来通院施設への紹介
06	Discharged/transferred to home under care of organized home health service organization 退院／転送して在宅看護組織へのもとに在宅管理
07	Left against medical advice or discontinued care 医療的なアドバイスを無視して離院、もしくは治療の継続中止
08	Discharged/transferred to home under care of Home IV provider 退院／転送して在宅静脈注射供給者のもとで在宅管理
09	Admitted as an inpatient to this hospital この病院に入院
10 ...19	Discharge to be defined at state level, if necessary 退院可能と定義された状態 (必要時)
20	Expired (i.e. dead) 終了 (死亡)
21 ... 29	Expired to be defined at state level, if necessary 死亡と定義された状態 (必要時)
30	Still patient or expected to return for outpatient services (i.e. still a patient) 患者状態の継続か、外来通院が必要な患者 (患者状態の継続)
31 ... 39	Still patient to be defined at state level, if necessary (i.e. still a patient) 患者状態の継続と定義された状態 (必要時、患者状態の継続)
01	Discharged to home or self care (routine discharge) 自宅または自己介護施設へ退院 (通常退院)
02	Discharged/transferred to another short term general hospital for inpatient care 短期間の入院管理のため他病院へ退院／転送

PV1-37 Discharged To Location 退院先 (IS) 00167

定義：患者の退院先の施設を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-38 Diet Type 給食タイプ (IS) 00168

定義：患者用の特別の給食タイプを示す。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-39 Servicing Facility サービス施設 (IS) 00169

定義：複数の施設環境の中でこの来院が関係している施設を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-40 Bed Status ベッド状況 (IS) 00170

定義：下位互換のためののみ使用。PLデータ型の第5成分状況を使用すること。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-41 Account Status 会計状況 (IS) 00171

定義：会計状況

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-42 Pending Location 保留所在 (PL) 00172

定義：患者が移動する先の看護ステーション、部屋、ベッド、施設IDおよびベッド状況を示す。第5の成分(ベッド状況)中に値がある場合、それは、PV1-40の値に取って代わる。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-43 Prior Temporary Location 以前の一時的な所在 (PL) 00173

定義：このフィールドは（手術部または放射線部門のような）患者の一時的な場所を示す時に使用される。入院患者の場合、最初の成分はナースステーションであるかもしれないし、非入院患者の場合はクリニック、診療部門、自宅のこともある。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-44 Admit Date/Time 入院日時 (TS) 00174

定義：入院の日付/時刻。

PV1-45 Discharge Date/Time 退院日時 (TS) 00175

定義：退院の日付/時刻。

PV1-46 Current Patient Balance 患者の差引不足額 (NM) 00176

定義：来院患者の現在の差引不足額。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-47 Total Charges 合計有償金額 (NM) 00177

定義：来院有償金額の合計

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-48 Total Adjustments 合計調整金額 (NM) 00178

定義：来院調整金額の合計

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-49 Total Payments 合計支払金額 (NM) 00179

定義：来院の支払い金額の合計

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-50 Alternate Visit ID 代替来院ID (CX) 00180

定義：来院ID番号。このIDは入院時に患者を一意的に識別するために使用される。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-51 Visit Indicator 来院標識 (IS) 01226

定義：データ送信が患者の来院によるのか会計によるのかの識別に使用。

通常、本フィールドは使用しない。

使用者定義表 0326 -Visit Indicator 来院標識

Value	Description
A	Account Level(default) 会計（規定値）

V	Visit Level 来院
---	----------------

PV1-52 Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者 (XCN) 01224

定義：他のヘルスケア供給者を示す。(例えば看護婦, 付き添い, 補助医師)複数の関係者に送ることができる。

通常、本フィールドは使用しない。

7.9 AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報

AL1セグメントは、多様なタイプの患者アレルギー情報を含んでいる。ほとんどのこの情報は使用者定義表による。各AL1セグメントは単一の患者アレルギーについて記述する。

HL7属性表 AL1 – Patient allergy information 患者アレルギー情報

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	R	R		00203	Set ID – AL1 セットID – AL1	
2	250	CWE	O	O		00204	Allergy Typeアレルギータイプ	
3	250	CWE	R	R		00205	Allergy Code/Mnemonic/Descriptionコード/記憶法/記述	
4	250	CWE	O	O		00206	Allergy Severityアレルギー重症度	
5	15	ST	O	O		00207	Allergy Reactionアレルギー反応	
6	8	DT	B	O		00208	Identification Date認識日付	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

AL1フィールド定義

AL1-1 Set ID – AL1 セットID – AL1 (SI) 00203

定義：患者の記録中のアレルギー記述の追加・変更・削除のために個々のトランザクションを一意的に識別する数字である。セグメントの反復が許されるメッセージについては、反復を識別するためにセットIDフィールドが使用される。
反復を識別するための一意識別子。初期値1、増分1。

AL1-2 Allergy Type アレルギータイプ (CWE) 00204

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：一般的なアレルギーカテゴリー(薬、食物、花粉など)を示す。推奨値は使用者定義表0127アレルギータイプを参照のこと。

使用者定義表 0127 - Allergy Type アレルギータイプ

Value	Description
DA	Drug Allergy 薬剤アレルギー
FA	Food Allergy 食事アレルギー
MA	Miscellaneous Allergy 様々なアレルギー
MC	Miscellaneous Contraindication 様々な禁忌
EA	Environmental Allergy 環境アレルギー
AA	Animal Allergy 動物アレルギー
PA	Plant Allergy 植物アレルギー
LA	Pollen Allergy 花粉アレルギー

AL1-3 Allergy Code/Mnemonic/Description アレルギーコード/記憶法/記述 (CWE) 00205

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：一意的に、特別のアレルギーを識別する。この要素は、ある外部かつ標準のコード化するシステム(それは識別されねばならない)に一致させたり、あるいは、局所的な記述、主に文

章の記述あるいは記憶法の記述によっても良い。

本規約では、アレルギーコードとして、下記例のように薬剤アレルギーの場合はHOT9、それ以外の場合はJLAC10を使用することを推奨する。

```
AL1|1|FA^食物アレルギー^HL70127|5A1002411023006^ソバ^JC10|...
AL1|2|LA^花粉アレルギー^HL70127|5A1002216023023^スギ^JC10|...
AL1|3|EA^環境アレルギー^HL70127|5A1102700023023^ハウスダスト^JC10|...
AL1|4|DA^薬剤アレルギー^HL70127|106824501^アリナミン^HOT9|...
```

AL1-4 Allergy Severity アレルギー重症度 (CWE) 00206

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：アレルギー(重度、中程度、軽度など)の一般的な重症度を示す。推奨値は使用者定義表0128アレルギー重症度を参照のこと。

使用者定義表 0128 - Allergy Severity アレルギー重症度

Value	Description
SV	Severe 重度
MO	Moderate 中程度
MI	Mild 軽度
U	Unknown 不明

AL1-5 Allergy Reaction アレルギー反応 (ST) 00207

定義：特定のアレルギー反応(震え、くしゃみ、発疹など)を短く文章で記述したもの。

AL1-6 Identification Date 認識日付(DT) 00208

定義：このフィールドはV2.4以降、旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。アレルギーが識別された日付

7.10 IAM - Patient Adverse Reaction Information Segment 副作用情報セグメント

IAM セグメントは個人／患者における種々の副作用情報を示す。殆どの情報は使用者定義表で与えられる。個々の IAM セグメントは個人／患者に対する 1 つの副作用について記述する。

HL7 属性表 - IAM - 患者副作用情報

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	R	R		01612	Set ID - IAM セット ID- IAM	
2	250	CWE	O	O		00204	Allergen Type Code アレルゲン分類	
3	250	CWE	R	R		00205	Allergen Code/Mnemonic/Description アレルゲン情報	
4	250	CWE	O	O		00206	Allergy Severity Code アレルギー重症度	
5	15	ST	O	O	Y	00207	Allergy Reaction Code アレルギー反応情報	
6	250	CNE	R	R		01551	Allergy Action Code アレルギーアクションコード	
7	427	EI	C	C		01552	Allergy Unique Identifier アレルギー識別情報	
8	60	ST	O	O		01553	Action Reason アレルギー情報追加・変更理由	
9	250	CWE	O	O		01554	Sensitivity to Causative Agent Code アレルギー物質に対する感受性	
10	250	CWE	O	O		01555	Allergen Group Code/Mnemonic/Description アレルゲン群情報	
11	8	DT	O	O		01556	Onset Date アレルギー発症日	
12	60	ST	O	O		01557	Onset Date Text アレルギー発症時期	
13	8	TS	O	O		01558	Reported Date/Time 情報提供日時	
14	250	XPN	O	O		01559	Reported By 情報提供者	
15	250	CWE	O	O		01560	Relationship to Patient Code 情報提供者と患者の続柄	
16	250	CWE	O	N		01561	Alert Device Code 要注意物質コード	
17	250	CWE	O	O		01562	Allergy Clinical Status Code アレルギー臨床確認状況	
18	250	XCN	O	O		01563	Stated by Person 確認者	
19	250	XON	O	O		01564	Stated by Organization 確認機関	
20	8	TS	O	O		01565	Stated at Date/Time 確認日時	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

IAM フィールド定義

IAM-1 Set ID - IAM セット ID - IAM (SI) 01612

定義：このフィールドはこのトランザクションにおける番号を示す。そのセグメントが最初に現れた時はこのシーケンス番号は 1 でなければならない。2 回目の時は 2, といった具合である。

IAM-2 Allergen Type Code アレルゲン分類 (CWE) 00204

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドはアレルギーを分類（薬剤、食物、花粉他）する。推奨値は使用者定義表0127アレルゲン分類を参照のこと。

使用者定義表 0127 - Allergy Type アレルゲン分類

Value	Description
DA	Drug Allergy 薬剤アレルギー
FA	Food Allergy 食事アレルギー
MA	Miscellaneous Allergy 様々なアレルギー
MC	Miscellaneous Contraindication 様々な禁忌
EA	Environmental Allergy 環境アレルギー
AA	Animal Allergy 動物アレルギー
PA	Plant Allergy 植物アレルギー
LA	Pollen Allergy 花粉アレルギー

IAM-3 Allergen Code/Mnemonic/Description アレルゲン情報 (CWE) 00205

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは特定のアレルゲンを一意に識別する。この成分は幾つかの外部のコーディングシステム（必ず識別される必要有り）に一致することがあり、また、ローカルである場合、多くの文章または備忘録であることがある。

もし、システムが一意的識別情報で特定のアレルギーに対するアレルゲンコードを維持するのであれば、そして2つのシステムでIAMで更新モードを使うことに合意するのであれば、このフィールドはIAM-8アレルギー識別情報の代わりに一意的識別情報としてアレルゲンコードを使うことができる。これはスナップショット処理において一意的識別情報のためのアレルゲンコードを使うことを阻むものではない。

【病名】本規約では、アレルゲンの識別に使用するコードとして、下記例のように薬剤アレルギーの場合はHOT9、それ以外の場合はJLAC10を推奨する。

IAM|1|FA^食物アレルギー^HL70127|5A1002411023006^ソバ^JC10|...

IAM|2|LA^花粉アレルギー^HL70127|5A1002216023023^スギ^JC10|...

IAM|3|EA^環境アレルギー^HL70127|5A1102700023023^ハウスダスト^JC10|...

IAM|4|DA^薬剤アレルギー^HL70127|106824501^アリナミン^HOT9|...

IAM-4 Allergy Severity Code アレルギー重症度 (CWE) 00206

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドはアレルギーの重症度を示す。推奨値は使用者定義表0128アレルギー重症度を参照のこと。

IAM-5 Allergy Reaction Code アレルギー反応情報 (ST) 00207

定義：このフィールドは報告されている特定のアレルギー反応情報を示す。この成分は幾つかの外部の標準的なコーディングシステムに一致することがあり、また、ローカルである場合、多くの文章または備忘録であることがある。（例：痙攣、くしゃみ、発疹、他）

IAM-6 Allergy Action Code アレルギーアクションコード (CNE) 01551

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは記録の状態を定義したコードを示す。アレルギー関連のメッセージを差削除、または既に送ったアレルギーメッセージの更新のための送信に使うことができる。推奨値についてはHL7表0323アクションコードを参照のこと。

HL7表 0323 – Action Code アクションコード

Value	Description	Comment
A	Add/Insert 追加/挿入	
D	Delete 削除	
U	Update 更新	
X	No change 変更なし	

IAM-7 Allergy Unique Identifier アレルギー識別情報 (EI) 01552

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは個人に対するひとつのアレルギーを一意的に識別する値を示す。それは特定の個人に対するすべてのセグメントやメッセージに対して一意的である。もしシステムがアレルギーコードを個々のアレルギーに対する一意的識別情報として維持するのなら、このフィールドは使っては成らない。

このフィールドは条件によって使われる。もし、そのフィールドが受信側システムで一意的にアレルギーを識別できる場合は、この代替りのフィールドとしてIAM-3アレルギー情報をを用いる。

IAM-8 Action Reason アレルギー情報追加、変更理由 (ST) 01553

定義：このフィールドはIAM-7アレルギーアクションコードフィールドで示される行動の理由を示す。

IAM-9 Sensitivity to Causative Agent Code アレルギー物質に対する感受性 (CWE) 01554

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは何故その患者が、その物質に触れてはいけなにかの理由を示す。推奨値は使用者定義表0436-アレルギー物質に対する感受性を参照のこと。

使用者定義表 0436 - Sensitivity to Causative Agent Code アレルギー物質に対する感受性

Value	Description	Comment
AD	Adverse Reaction (Not otherwise classified) 他に分類できない副作用	
AL	Allergy アレルギー	
CT	Contraindication 禁忌	
IN	Intolerance 過敏症	

IAM-10 Allergen Group Code/Mnemonic/Description アレルゲン群情報 (CWE) 01555

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドはアレルギー情報 (IAM-3) とアレルギー群情報 (IAM-10) 両方を通信する必要がある時に、アレルギー群を一意的に識別するために用いられるコード、略語、記述を示す。システム間でどの薬剤がどの薬剤群に属するか (例えばBactrimとSulfa drugs、CeclorとPenicillins/Cephalosporins) を把握するために特定の薬剤アレルギーと薬剤群を通信したい時、特定の薬剤アレルギーをIAM-3で、薬剤群をIAM-10で送る。しかしながら、1つの群しか送れないため、IAM-3は主要なアレルギー識別情報のみを送ることになる。

IAM-11 Onset Date アレルギー発症日 (DT) 01556

定義：このフィールドは最初の反応があった実際の日付を示す。

IAM-12 Onset Date Text アレルギー発症時期 (ST) 01557

定義：このフィールドは正確な日付がわからない時に、最初の反応があった時期を文章で記述したものである。(例えば、青春期、少年期、1990年春)

IAM-13 Reported Date/Time 情報提供日時 (TS) 01558

Components: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドはそのアレルギーが医療提供者に情報提供された日時を示す。

IAM-14 Reported By 情報提供者 (XPN) 01459

Components: <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

定義：このフィールドは医療提供者へ、IAM-13情報提供日時にアレルギー情報を提供した人の名前を示す。

IAM-15 Relationship to Patient Code 情報提供者と患者の関係 (CWE) 01560

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは患者にアレルギー情報を提供した人と患者の続柄を示す。NK1-3が使用する表と同じものを使用する。推奨値については使用者定義表0063続柄を参照のこと。例えば、兄弟、姉妹、母親、父親、友人、配偶者、その他が含まれる。

IAM-16 Alert Device Code 要注意物品コード (CWE) 01561

定義：このフィールドは患者が携帯する、もしくは身につける可能性のあるアレルギー上要注意物品を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

IAM-17 Allergy Clinical Status Code アレルギー臨床確認状況 (CWE) 01562

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドはそのアレルギーの確認状態を示す。推奨値は使用者定義表0438-アレルギー臨床状態を参照のこと。

使用者定義表 0438 - Allergy Clinical Status アレルギー臨床状態

Value	Description	Comment
U	Unconfirmed 未確認	
P	Pending 保留	
S	Suspect 疑わしい	
C	Confirmed or verified 確認済	
I	Confirmed but inactive 確認済 (非活性)	
E	Erroneous 誤り	
D	Doubt raised 疑問有り	

IAM-18 Stated by Person 確認者 (XCN) 01563

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

定義：このフィールドはアレルギー臨床状態を指定した医療提供者を示す。

(例：...|Smith^John^J^III^DR^MD|...)

IAM-19 Stated by Organization 確認機関 (XON) 01564

Components: <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

定義：このフィールドはアレルギー情報を更新した医療提供組織の名称を示す。（例：General Hospital）

IAM-20 Stated at Date/Time 確認日時 (TS) 01565

Components: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドはIAM-19確認機関に所属するIAM-18確認者がアレルギー情報を更新した日時を示す。

7.11 PRB - Problem Detail Segment プロBLEM詳細セグメント

プロBLEM詳細セグメントは、与えられた各個人のPROBLEMを追加、更新、修正、かつ、削除するのに必要なデータを含んでいる。

PRB属性-PROBLEM (HL7 Attribute Table - PRB - Problem Details)

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		00816	Action Code アクションコード	
2	26	TS	R	R		00817	Action Date/Tim アクション日付/時刻	
3	250	CWE	R	R		00838	Problem ID プロBLEM ID	
4	60	EI	R	R		00839	Problem Instance ID プロBLEMインスタンス ID	
5	60	EI	O	O		00820	Episode of Care ID ケア ID のエピソード	
6	60	NM	O	O		00841	Problem List Priority プロBLEM一覧表優先権	
7	26	TS	O	O		00842	Problem Established Date/Time プロBLEMを設定した日付/時刻	
8	26	TS	O	O		00843	Anticipated Problem Resolution Date/Time 予期されるプロBLEM解決日付/時刻	
9	26	TS	O	O		00844	Actual Problem Resolution Date/Time 実際のプロBLEM解決日付/時刻	
10	250	CWE	O	O		00845	Problem Classification プロBLEM分類	
11	250	CWE	O	O	Y	00846	Problem Management Discipline プロBLEMマネジメント分野	
12	250	CWE	O	O		00847	Problem Persistence プロBLEMの後引き	
13	250	CWE	O	O		00848	Problem Confirmation Status プロBLEMの確認状態	
14	250	CWE	O	O		00849	Problem Life Cycle Status プロBLEMのライフサイクル状態	
15	26	TS	O	O		00850	Problem Life Cycle Status Date/Time プロBLEMのライフサイクル状態の日付/時刻	
16	26	TS	O	O		00851	Problem Date of Onset プロBLEMの発生日付	
17	80	ST	O	O		00852	Problem Onset Text プロBLEMの発生テキスト	
18	250	CWE	O	O		00853	Problem Ranking プロBLEMのランキング	
19	250	CWE	O	O		00854	Certainty of Problem プロBLEMの確実性	
20	5	NM	O	O		00855	Probability of Problem (0-1) プロBLEMの可能性 (0-1)	
21	250	CWE	O	O		00856	Individual Awareness of Problem プロBLEMの個々の認識	
22	250	CWE	O	O		00857	Problem Prognosis プロBLEMの予後	
23	250	CWE	O	O		00858	Individual Awareness of Prognosis 予後の個々の認識	
24	200	ST	O	O		00859	Family/Significant Other Awareness of Problem/Prognosis 家族/プロBLEMの重要な他の認識/予後	
25	250	CWE	O	O		00823	Security/Sensitivity 安全保護/感度	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition

Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

PRBフィールド定義

PRB-1 Action Code アクションコード (ID) 00816

定義：このフィールドは、メッセージの意図を示す。有効な値についてはHL7表0287-プロブレム/ゴール・アクションコードを参照すること。

HL7表 0287 - Problem/goal action code プロブレム/ゴール・アクションコード

Value	Description	Comment
AD	ADD 追加	
CO	CORRECT 修正	
DE	DELETE 削除	
LI	LINK リンク	
UC	UNCHANGED * 修正無し	
UN	UNLINK リンク無し	
UP	UPDATE 更新	

*UNCHANGEDアクションコードが使用されるのは、適用プログラムに対して、この特定セグメントは修正されるべき情報を含まないことを示すためである。それは後続の正しいレコードへの修正と区別するために提供されている。

PRB-2 Action Date/Time アクション日付/時刻 (TS) 0081

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドはアクション符号によって表わされたオペレーションを実行した日付/時刻を含んでいる。

【病名】本規約では更新時間として利用する。

PRB-3 Problem ID プロブレムID (CWE) 00838

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドはそのプロブレムを識別する。これは施設のプロブレムマスタリストからの識別子である。

【病名】本規約では病名表記を一意に表すコードとして利用する。

PRB-4 Problem Instance ID プロブレムインスタンスID (EI) 00839

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、初期化システムによってプロブレムのインスタンスに割り当てられた識別子を含んでいる。

注：この値が時間の経過にかかわらず一意的なままであることが要求される。このインスタンスIDは、特定患者のための特定インスタンスを識別する。そして一意的であることはすべての患者に共通している。HL7 Ver2.5 規約書2章のエンティティIDデータタイプ記述を参照すること。

【病名】本規約では管理番号として利用する。管理番号とは病名情報を一意にする番号のことを指す。

PRB-5 Episode of Care ID 診療IDエピソード (EI) 00840

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、このプロブレムが当てはまる診療のエピソードを一意的に識別す

る。

- PRB-6 **Problem List Priority プロブレムリストの優先権 (NM) 00841**
定義：このフィールドは、各個人のために維持されるリスト上のこのプロブレムを優先的に扱う。
- PRB-7 **Problem Established Date/Time プロブレム設定日付/時刻 (TS) 00842**
Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
定義：このフィールドは、対応するプロブレムが医療提供者によって当初確認された日付/時刻を含んでいる。
【病名】本規約では診断日として利用する。
- PRB-8 **Anticipated Problem Resolution Date/Time 予想されるプロブレム解決日付/時刻 (TS) 00843**
Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
定義：このフィールドは、明らかにプロブレム解決の予定日付/時刻を含んでいる。
- PRB-9 **Actual Problem Resolution Date/Time 実際のプロブレム解決日付/時刻 (TS) 00844**
Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
定義：このフィールドはプロブレムを実際に解決した日付/時刻を含んでいる。
【病名】本規約では終了日として利用する。
- PRB-10 **Problem Classification プロブレムの分類 (CWE) 00845**
Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>
定義：このフィールドは、プロブレムの種類を示す。このフィールドを使用して、プロブレムを分類し、それらが異なるアプリケーション内で独立に管理され検査されるようにする（例えば入院、最終、手術後、手術前、外来患者、退院など）。
【病名】本規約では診断種別名とICD-10として利用する。診断種別名とは、診断が下された状況を種別する値と定義する。設定は第一成分から第三成分に“ICD-10”の値を設定し、第四成分から第六成分に“診断種別名”を設定し、設定する成分の位置は固定とする。ただし、第二成分は省略と定義する。また、診断種別名のコーディングシステム名は、JHSD0004を用いる。
- PRB-11 **Problem Management Discipline プロブレムマネージメント職種 (CWE) 00846**
Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>
定義：このフィールドは、特定のプロブレムを管理するための責任を持つ医療提供者の属性を示す（例えば診療チーム、看護、内科、呼吸治療、作業療法、給食など）。これは反復フィールドであって、このプロブレムに対する責任を持つすべてのプロブレムの識別ができる。
- PRB-12 **Problem Persistence プロブレムの長期化 (CWE) 00847**
Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>
定義：このフィールドは、プロブレムの持続性を示す（例えば、急性、慢性、など）。
- PRB-13 **Problem Confirmation Status プロブレムの確認状態 (CWE) 00848**
Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>
定義：このフィールドは、プロブレムの検証状態を含んでいる（例えば、確認された、差異、臨時、除外、など）。
【病名】本規約では疑い病名フラグとして利用する。コーディングシステム名は、JHSD0005を用いる。
- PRB-14 **Problem Life Cycle Status プロブレムのライフサイクル状態 (CWE) 00849**
Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>
定義：このフィールドは、この特定の日付/時刻現在のプロブレムの状態を含んでいる。（例

例えば、アクティブ、アクティブで改善中、アクティブで安定している、アクティブで悪化、アクティブでない、解決された、など。

【病名】本規約では転帰区分として利用する。コーディングシステム名は、HL7表0241またはJHSD0005を用いる。

HL7表 0241 – Patient Outcome 患者の結果

Value	Description	Comment
D	死亡	
R	回復	
N	回復せず／変わらない	
W	悪化	
S	後遺症	
F	完全に回復した	
U	未知	

PRB-15 Problem Life Cycle Status Date/Time プロブレムのライフサイクル状態の日付／時刻 (TS) 00850

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、現在のプロブレムについてライフサイクル状態の発効日付／時刻を示す。

【病名】本規約では転帰日として利用する。

PRB-16 Problem Date of Onset プロブレム発生日付／時刻 (TS) 00851

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、そのプロブレムが始まった日付／時刻を含んでいる。

【病名】本規約では開始日として利用する。

PRB-17 Problem Onset Text プロブレム発生テキスト (ST) 00852

このフィールドは、プロブレムが発生した時点のテキスト表現を考慮に入れる。

【病名】本規約では患者の病態をあらわすために実際に入力される文字列として利用する。

PRB-18 Problem Ranking プロブレムのランキング (CWE) 00853

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、ユーザに定義されたプロブレム優先順位を含んでいる。（例えば数値のランキング、あるいは「第1」、「第2」、などの単語の使用）。

【病名】本規約では病名区分として利用する。コーディングシステム名は、JHSD0007を用いる。

PRB-19 Certainty of Problem プロブレム確実性 (CWE) 00854

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、プロブレムの確実性の質的表現を含んでいる（例えば、HI－高い、LO－低い、ME－中程度）。

PRB-20 Probability of Problem (0-1) プロブレムの確率 (0-1) NM) 00855

定義：このフィールドは、そのプロブレムがこの患者のために存在するという確実性の量的あるいは数値的な表現を含んでいる。このフィールドは0～1の有効な範囲を持つ。例えば、医療提供者はそのプロブレムが正確に識別されたことに対し75% (.75) の確信を持つことがある。

- PRB-21 Individual Awareness of Problem **プロブレムについての患者個人の認識 (CWE) 0085**
 Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^
 <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)>
 ^ alternate coding system version ID (ST) ^ <original text (ST)>
 定義：このフィールドは、そのプロブレムに関する患者自身の理解度を含んでいる（例えば、十分な、最低限の、部分的な、など）。
- PRB-22 Problem Prognosis **プロブレムの予後 (CWE) 00857**
 Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^
 <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)>
 ^ alternate coding system version ID (ST) ^ <original text (ST)>
 定義：このフィールドは、各個人のプロブレムの予後を含んでいる（例えば、よい、悪い、など）。
- PRB-23 Individual Awareness of Prognosis **予後についての患者個人の認識 (CWE) 00858**
 Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^
 <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)>
 ^ alternate coding system version ID (ST) ^ <original text (ST)>
 定義：このフィールドは、そのプロブレムの予後について各個人の理解の度合いを含んでいる。（例えば、十分な、最低限の、部分的な、など）
- PRB-24 Family/Significant Other Awareness of Problem/Prognosis **プロブレム／予後についての家族
 その他重要な関係者の認識 (ST) 00859**
 定義：このフィールドは、実際のプロブレム／予後の各個人の家族あるいは他の重要な関係者の理解を示す。
- PRB-25 Security/Sensitivity **セキュリティ／感受性 (CWE) 00823**
 Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^
 <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)>
 ^ alternate coding system version ID (ST) ^ <original text (ST)>
 定義：このフィールドは、そのプロブレムに関するセキュリティや感受性のレベルに関する情報を含んでいる。（例えば、高度に敏感な、敏感でない、敏感な、など）
【病名】 本規約では機密保護サインとして利用する。コーディングシステム名は、HL7 0177を用いる。

7.12 IN1/ZI1 - Insurance Segment 保険セグメント

IN1/ZI1セグメントは、正確な患者への保険適用と保険請求書作成を行うために必要な、保険適用範囲情報を示す。ZI1は病名情報通知のとき用いるが、メッセージ構造上IN1セグメントが使えないため、内容はIN1セグメントと同様とし、ZI1セグメントとして定義した。

HL7属性表 IN1/ZI1 – Insurance 保険情報

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	R	R		00426	Set ID - IN1/ZI1 セットID	
2	250	CWE	R	R		00368	Insurance Plan ID 保険プランID	
3	250	CX	R	O	Y	00428	Insurance Company ID 保険会社 ID	
4	250	XON	O	C	Y	00429	Insurance Company Name 保険会社名	
5	250	XAD	O	N	Y	00430	Insurance Company Address 保険会社住所	
6	250	XPN	O	N	Y	00431	Insurance Co Contact Person 保険会社連絡者	
7	250	XTN	O	N	Y	00432	Insurance Co Phone Number 保険会社電話番号	
8	12	ST	O	N		00433	Group Number グループ番号	
9	250	XON	O	N	Y	00434	Group Name グループ名	
10	250	CX	O	C	Y	00435	Insured's Group Emp ID 被保険者グループ雇用者 ID	
11	250	XON	O	C	Y	00436	Insured's Group Emp Name 被保険者グループ雇用者名	
12	8	DT	O	O		00437	Plan Effective Date プラン有効日時	
13	8	DT	O	O		00438	Plan Expiration Date プラン失効日付	
14	239	AUI	O	N		00439	Authorization Information 認定情報	
15	3	IS	O	C		00440	Plan Type プランタイプ	
16	250	XPN	O	N	Y	00441	Name Of Insured 被保険者名	
17	250	CWE	O	O		00442	Insured's Relationship To Patient 患者と保険者の関係	
18	26	TS	O	O		00443	Insured's Date Of Birth 保険者生年月日	
19	250	XAD	O	O	Y	00444	Insured's Address 保険者住所	
20	2	IS	O	N		00445	Assignment Of Benefits 給付金の配分	
21	2	IS	O	O		00446	Coordination Of Benefits 給付金の調整	
22	2	ST	O	N		00447	Coord Of Ben. Priority 給付金優先順位の調整	
23	1	ID	O	N		00448	Notice Of Admission Flag 入会フラッグの通知	
24	8	DT	O	N		00449	Notice Of Admission Date 入会日付の通知	
25	1	ID	O	N		00450	Report Of Eligibility Flag 有資格フラッグの報告	
26	8	DT	O	N		00451	Report Of Eligibility Date 有資格報告日付	
27	2	IS	O	N		00452	Release Information Code 情報コードの解放	
28	15	ST	O	N		00453	Pre-Admit Cert (PAC) 入会前認定書	
29	26	TS	O	O		00454	Verification Date/Time 確認日付/時刻	
30	250	XCN	O	N	Y	00455	Verification By 確認者	
31	2	IS	O	N		00456	Type Of Agreement Code 同意コードのタイプ	
32	2	IS	O	N		00457	Billing Status 請求状況	
33	4	NM	O	N		00458	Lifetime Reserve Days 予約残日数	
34	4	NM	O	N		00459	Delay Before L.R. Day 予約残日数前遅延	
35	8	IS	O	N		00460	Company Plan Code 会社プランコード	
36	15	ST	O	N		00461	Policy Number ポリシー番号	
37	12	CP	O	N		00462	Policy Deductible 免責ポリシー	
38	12	CP	B	O		00463	Policy Limit – Amount 限度額ポリシー	
39	4	NM	O	O		00464	Policy Limit – Days 限度日数のポリシー	
40	12	CP	B	N		00465	Room Rate - Semi-Private 部屋代 – 半個室	
41	12	CP	B	N		00466	Room Rate – Private 部屋代 – 個室	
42	250	CWE	O	N		00467	Insured's Employment Status 被保険者雇用状態	
43	1	IS	O	N		00468	Insured's Administrative Sex 被保険者の管理上の性別	
44	250	XAD	O	N	Y	00469	Insured's Employer's Address 保険者の従業員の住所	
45	2	ST	O	N		00470	Verification Status 確認状態	
46	8	IS	O	N		00471	Prior Insurance Plan ID 前保険プラン	
47	3	IS	O	N		01227	Coverage Type 保険範囲タイプ	
48	2	IS	O	N		00753	Handicap ハンディキャップ	
49	250	CX	O	N	Y	01230	Insured's ID Number 被保険者ID番号	
50	1	IS	O	N		01854	Signature Code 署名コード	
51	8	DT	O	N		01855	Signature Code Date 署名コード日	
52	250	ST	O	N		01899	Insured's Birth Place 被保険者出生地	
53	2	IS	O	N		01852	VIP Indicator VIP識別	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

IN1/ZI1フィールド定義

IN1/ZI1-1 Set ID - IN1/ZI1 セットID (SI) 00426

定義：セットID (セット連番)。 … セグメント内での通し番号。
 最初の本セグメントが発生したときに、シーケンス番号を1とする。
 続いて2という具合に番号付けを行う。

IN1/ZI1-2 Insurance Plan ID 保険プランID (CWE) 00427

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^
 <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)>
 ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは保険プランの一意の識別子である。

【病名】本規約では、保険種別として利用する。第一成分にはJHSD表 0001- 保険種別にリストされている保険種別をセットする。MI, PE に関しては、法別番号 (2桁の保険種別) がある場合、法別番号を使用する。

JHSD表 0001 Insurance Plan ID 保険種別

値	保険分類	保険名称 (説明)	値	保険分類	保険名称 (説明)
MI	MI	医保保険	PE	PE	公費保険
C0	MI	国民健康保険	10	PE	感染症予防医療法 結核 適正医療
01	MI	政府管掌健康保険	11	PE	感染症予防医療法 結核 従業禁止等
02	MI	船員保険	12	PE	生保 (生活保護法)
03	MI	日雇特例被保険者 (一般療養)	13	PE	戦傷病者特別保護法 療養
04	MI	日雇特例被保険者 (特別療養)	14	PE	戦傷病者特別保護法 更正
06	MI	組管管掌健康保険	15	PE	自立支援法 更正医療
07	MI	防衛省職員給与法による 自衛官等の療養の給付	16	PE	自立支援法 育成医療
27	MI	老人保健法による老人医療	17	PE	児童福祉法 療養の給付
31	MI	国家公務員共済組合	18	PE	原爆被爆者 認定疾病医療費
32	MI	地方公務員等共済組合	19	PE	被爆者医療
33	MI	警察共済組合	20	PE	精神衛生法 措置入院
34	MI	学校共済組合	21	PE	自立支援法 通院医療
63	MI	特例退職者医療 (健保組合)	22	PE	麻薬取締法 措置入院
67	MI	国民健康保険退職者	23	PE	母子保健法
72	MI	特例退職者 (国家公務員共済組合)	28	PE	感染症予防・医療法 一類感染者の入院
73	MI	特例退職者 (地方公務員等共済組合)	29	PE	感染症予防・医療法 新感染症患者の入院
74	MI	特例退職者 (警察共済組合)	52	PE	小児慢性特定疾患治療研究
75	MI	特例退職者 (学校共済組合)	51	PE	特定疾患治療研究
PI	PI	公害医療	52	PE	小児慢性特定疾患治療研究
			53	PE	児童福祉法・精神薄弱福祉法

LI	LI	労災	66	PE	石綿による健康被害救済の法律
TI	TI	自賠	D0	PE	地方公費：PE と同じ意味
PS	PS	公務員災害			
OE	OE	OE：自費（保険なし）	OT	OT	その他

- <例1> 京都府山科区の政府管掌保険
01 ^政府管掌健康保険^ JHSD0001
- <例2> 国民健康保険・大阪
C0 ^国民健康保険^ JHSD0001
- <例3> 鳥取県地方公費・身障
D0 ^特別医療費・身障^ JHSD0001
- <例4> 福岡県 地方公務員 公務中災害
PS ^公務員災害^ JHSD0001
- <例5> 川崎市 公害医療
PI ^公害医療^ JHSD0001
- <例6> 生保・大阪
12 ^生保（生活保護法）^ JHSD0001
- <例7> 27老人・大阪
27 ^老人保健法による老人医療^ JHSD0001

IN1/ZI1-3 Insurance Company ID 保険会社 ID (CX) 00428

Components: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：このフィールドは保険会社を一意になる識別子である。

【病名】本規約では、保険者の番号及び保険者の識別として利用する。保険分類により、保険者の番号及び保険者の識別を記述する。第一成分にセットする番号の詳細を以下の表に区述する。

表 IN1/ZI1-3 保険者IDの詳細

保険分類	保険者の番号 及び 保険者の識別
MI（主保険）	保険（者）番号、27老人：医療証を発行した区市町村番号
PE（公費）	公費負担者番号 or 地方公費独自の記載
LI（労災）	府県＋所轄＋管轄番号（労働保険番号に含まれる）
TI（自賠）	不要
PS（公務員災害）	不要
PI（公害医療）	不要
OE（自費）	不要
OT（その他）	保険に関する番号があれば記入する

国民健康保険等、検証番号は存在するが、政管健保等ないものもあるので、検証番号を含んだ形で、第一成分<ID Number (ST)>に、セットする。第二成分以下は使用しない。

- <例1> 京都府山科区の政府管掌保険
5431
- <例2> 国民健康保険・大阪
274159
- <例3> 鳥取県地方公費・身障
312017 … 市町村番号
- <例4> 福岡県 地方公務員 公務中災害
記載しない（保険者番号がない）
- <例5> 川崎市 公害医療
記載しない（保険者番号がない）
- <例6> 生保・大阪

12275012
 <例 7 > 27老人・大阪
 27274158

IN1/ZI1-4 Insurance company name 保険会社名称 (XON) 00429

Components: <organization name (ST)> ^ <organization name type code (ID)> ^ <ID number (ID)> ^ <check digit (NM)> ^ <check digit scheme (ID)> ^ <assigning authority (HD)> ^ <identifier type code (ID)> ^ <assigning facility ID (HD)>

定義：このフィールドは、保険会社の名前である。

【病名】本規約では、保険者の名称として利用する。第一成分にセットする番号の詳細を以下の表に区述する。

表IN1/ZI1-4 保険者名称の詳細

保険分類	必要性	保険者の番号 及び 保険者の識別
MI (主保険)	不要	保険(者)名、27老人：市町村番号
PE (公費)	不要	公費名称(都道府県名含む)
LI (労災)	不要	労働基準局 or 労働基準監督署の名称
TI (自賠)	必要	自賠責保険会社の名称
PS (公務員災害)	必要	公務員災害補償基金の名称
PI (公害医療)	必要	公害を認定した市又は県の名称
OE (自費)	必要	「自費」と記述する
OT (その他)	必要	保険に関する名称を記入する

- <例 1 > 京都府山科区の政府管掌保険
中京社会保険事務所
- <例 2 > 国民健康保険・大阪
東淀川区(大阪市)
- <例 3 > 鳥取県地方公費・身障
鳥取県倉敷市
- <例 4 > 福岡県 地方公務員 公務中災害
地方公務員災害補償基金
- <例 5 > 川崎市 公害医療
川崎市
- <例 6 > 生保・大阪
阪南市福祉事務所
- <例 7 > 27老人・大阪
大阪市東淀川区

IN1/ZI1-5 Insurance company address 保険会社の住所 (XAD) 00430

定義：このフィールドは保険会社の住所である。同一の保険会社にたいする複数の住所はこのフィールドで送ることが出来る。郵便住所が第1反復フィールドにあると仮定している。郵便住所を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-6 Insurance co contact person 保険会社連絡者 (XPN) 00431

定義：このフィールドは保険会社で連絡する人の名前である。同一連絡者の複数の名前はこのフィールドで送ることが出来る。法的名称が第1反復フィールドにあると仮定している。法的名称を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-7 Insurance co phone number 保険会社電話番号 (XTN) 00432

定義：このフィールドは保険会社の電話番号である。同一の保険会社にたいする複数の電話番号

にはこのフィールドで送ることが出来る。主電話番号が第1反復フィールドにあると仮定している。主電話番号を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-8 Group number グループ番号 (ST) 00433

定義：このフィールドは非保険会社のグループ番号である。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-9 Group name グループ名 (XON) 00434

定義：このフィールドは被保険者のグループ名である。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-10 Insured's group emp. ID 被保険者グループ雇用者ID (CX) 00435

Components: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：このフィールドは被保険者にたいするグループ雇用者IDを保持している。

【病名】本規約では、保険分類により、被保険者の番号を記述する。第一成分にセットする番号の詳細を以下の表に区述する。

表IN1/ZI1-10 被保険者番号の詳細

保険分類	被保険者の番号
MI (主保険)	被保険者 番号、27老人：老人医療受給者番号
PE (公費)	公費受給者番号 or 地方公費独自の記載
LI (労災)	労働保険番号
TI (自賠)	府県+所轄+管轄番号+基幹番号 (管轄単位の会社番号) + 枝番
PS (公務員災害)	自賠償保険証番号
PI (公害医療)	公務災害認定番号
OE (自費)	公害認定証 番号
OT (その他)	不要
	不要

<例1> 京都府山科区の政府管掌保険
999

<例2> 国民健康保険・大阪
123456

<例3> 鳥取県地方公費・身障(鳥取市)
1234567

<例4> 福岡県 地方公務員 公務中災害
123456789

<例5> 川崎市 公害医療
123

<例6> 生保・大阪
159999

<例7> 27老人・大阪
1234567

IN1/ZI1-11 Insured's group emp name 被保険者グループ雇用者名 (XON) 00436

Components: <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

定義：このフィールドは被雇用者保険を提供する雇用者の名前である。

【病名】本規約では、保険分類により、被保険者の記号を記述する。第一成分にセットする番号

の詳細を以下の表に区述する。

表IN1/ZI1-11 被保険者記号の詳細

保険分類	被保険者の記号
MI (主保険)	被保険者 記号、27老人：不要
PE (公費)	不要
LI (労災)	不要
TI (自賠)	不要
PS (公務員災害)	不要
PI (公害医療)	公害認定証 記号
OE (自費)	不要
OT (その他)	不要

- <例1> 京都府山科区の政府管掌保険
山さにい
- <例2> 国民健康保険・大阪
阪国東淀
- <例3> 鳥取県地方公費・身障(鳥取市)
鳥取
- <例4> 福岡県 地方公務員 公務中災害
… 不要
- <例5> 川崎市 公害医療
川崎20
- <例6> 生保・大阪
… 不要
- <例7> 27老人・大阪
… 不要

IN1/ZI1-12 Plan effective date プラン有効日時 (DT) 00437

定義：このフィールドは保険が有効になる日時である。

【病名】本規約では、保険有効開始日として利用する。

IN1/ZI1-13 Plan expiration date プラン失効日付 (DT) 00438

定義：このフィールドは保険がカバーできるあるいは責務がある最終日時である。

【病名】本規約では、保険有効終了日として利用する。

IN1/ZI1-14 Authorization information 認定情報 (CM) 00439

定義：保険のタイプに基づいて、ある保険補償範囲は、全ての救急外入院前と救急入院の48時間以内に得られる認定番号かコードを必要とする。保険請求書はこの番号なしでは許されない。

日付と認定元はこのフィールドのコンポーネントである。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-15 Plan type プランタイプ (IS) (IS) 00440

定義：このフィールドは、たとえばメディケア、メディケイド、ブルークロス、HMOなどの種々のプランタイプを識別するコーディング構造を含む。

【病名】本規約では、様々な保険のプランタイプを特定するコードとして利用する。

- ・保険種別により、使用できるコードは限定される。
- ・PE (公費) の場合、公費の意味が県単位で異なる場合があるので必須とする。第一成分にセットする番号の詳細を、テーブル：JHSD0002 に示す。

JHSD表 0002 保険のプランタイプ

保険種別	保険のプランタイプ
02 (船員保険)	OJ:職務上
32 (地方公務員共済：船員学校)	LS:下船後3ヶ月以内

PE (公費)	CC:通勤災害 01 ~ 47 県番号 (JIS-X-401)
MI (主保険)	K1: 継続 K2: 任意継続 K3: 特別療養

※ 継続の説明

継続 保険資格喪失時の疾病を健康保険の資格喪失後も継続して給付を受けられる制度

任意継続 保険資格喪失後 20 日以内の疾病任意継続申請者)

特別療養 健康保険の被保険者が資格喪失後に日雇特例被保険者

(日々雇い入れられる者や季節的業務に雇い入れられる者等の日雇労働者) 又はその被扶養者になった場合に、資格喪失時に病気やけが等で病院にかかっていた時に、6ヶ月を限度に健康保険の資格喪失後も継続して給付を受けられる制度)

IN1/ZI1-16 Name of insured 被保険者名 (XPN) 00441

定義: このフィールドは被保険者の名前である。被保険者は保険ポリシーにより保証されている個人に医療サービスを提供する保険会社と同意した個人である。被保険者として複数の名前をこのフィールドで送ることができる。法的名称が第1反復フィールドにあると仮定している。法的名称を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-17 Insured's relationship to patient 保険契約者名との関係 (続柄) (CWE) 00442

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義: このフィールドは患者と被保険者との関係を示す。

被保険者:

SEL: 本人、EME: 従業員 (医師保険の従業員本人: 給付率が異なるため区別)

被扶養者:

EXF: 家族、SPO: 配偶者、CHD: 子供 等の記述も可とする。HL7表0063のテーブルに従う。

保険種別: MIで使用。その他は、被保険者本人なので、省略可能(公費・労災等: SEL)

HL7表 0063 被保険者との関係

続柄	意味	続柄	意味	続柄	意味	続柄	意味
SEL	本人	DEP	障害で扶養されている	EXF	拡大家族 (家族と記述)	ASC	仲間
SPO	配偶者	WRD	保護観察	SIB	兄弟姉妹	EMC	緊急連絡先
DOM	共同生活者	PAR	親	BRO	兄弟	OWN	所有者
CHD	子供	MTH	母親	SIS	姉妹	TRA	調教師
GCH	孫	FTH	父親	FND	友人	MGR	管理者
NCH	本来の子供	CGV	介護者	OAD	その他の成人	NON	なし
SCH	継子	GRD	保護者	EME	従業員	UNK	不明
FCH	里子	GRP	祖父母	EMR	雇い主	OTH	その他

IN1/ZI1-18 Insured's date of birth 保険者生年月日 (TS) 00443

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは被保険者の生年月日を示す

IN1/ZI1-19 Insured's address 被保険者住所 (XAD) 00444

Components: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation

Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^
<Expiration Date (TS)>

定義：このフィールドは被保険者個人の住所である。被保険者は保険ポリシーにより保証されている個人に医療サービスを提供する保険会社と同意した個人である。同一の個人に複数の住所をこのフィールドで送ることが出来る。郵便住所が第1反復フィールドにあると仮定している。郵便住所を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

IN1/ZI1-20 Assignment of benefits 給付金の配分 (IS) 00445

定義：このフィールドは医療提供者と保険金の割り当てを同意した被保険者かどうか示している。もしそうであるなら、保険は直接提供者に支払われる。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-21 Coordination of benefits 給付金の調整 (IS) 00446

定義：このフィールドは、他の保険ポリシーと連携した補償かどうか、また、独立した補償範囲と患者に対して有効である

他の保険と関係がない給付金の支払いかどうかを示している。

【病名】本規約では、給付割合として利用する。日本の健康保険医療では、法別番号で、優先順と給付割合は決まっているので、ここに、保険の給付割合を割り当てる。現在、入院・外来で、給付率は同じなので区別をしない。

給付割合は、%表現の 2桁とする。但し、100%給付は、MX とする。

JHSD表 0003 Applying allocation 給付割合

給付割合	意味
0 ~ 99	%表現
MX	100%給付

IN1/ZI1-22 Coord of ben priority 給付金優先順位の調整 (ST) 00447

定義：もし保険が他の保険プランと調整することがある場合、このフィールドは優先順位を指定する。1、2、3のような値である。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-23 Notice of admission flag 入会フラッグの通知 (ID) 00448

定義：このフィールドは保険会社が医療提供者から、保健の使用確認通知を必要とするかどうかを示す。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-24 Notice of admission date 入会日付の通知 (DT) 00449

定義：通知が必要であるなら、このフィールドはそれが送られた日付を示す。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-25 Report of eligibility flag 有資格フラッグの報告 (ID) 00450

定義：このフィールドは、当該保険保有者が、その患者が給付金の資格があることを示す記録を送るかどうか、あるいはこれらの給付金かどうかを識別するかどうかを示す。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-26 Report of eligibility date 資格報告日付 (DT) 00451

定義：このフィールドは資格報告 (ROE: Report of eligibility) を受け取ったかどうか、と受け取った日付とともに指定する。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-27 Release information code 情報コードの解放 (IS) 00452

定義：このフィールドは医療提供者が患者の情報を公開できるか、どんな情報を解放できるかを示す。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-28 Pre-admit cert. 入会前認定書 (ST) 00453

定義：このフィールドは入会前認定コードを示す。もし入会が入会前に認定されなければ、これ

は入会に関するコードである。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-29 Verification date/time 確認日付/時刻 (TS) 00454

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは医療提供者が患者に指示された給付があることを確認した日時を示す。

【病名】本規約では、保険の最終更新（確認）日とする。

IN1/ZI1-30 Verification by 確認者 (XCN) 00455

定義：給付を確認した個人を示す。同じ被保険者に対して複数の名前を送ることが出来る。法的名称が第1反復フィールドにあると仮定している。法的名称を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-31 Type of agreement code – Policy limit – amount 同意コードのタイプ (IS) 00456

定義：このフィールドは保険プランをさらに定義するために使用する。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-32 Billing status 請求状況 (IS) 00457

定義：このフィールドは特定の保険が請求されたかどうか、もしそうであるなら請求書のタイプを示す。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-33 Lifetime reserve days 予約残日数 (NM) 00458

定義：このフィールドは保険ポリシーに基づいて提供あるいはカバーされているサービスに対する残りの日数である。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-34 Delay before L.R. day 予約残日数前遅延 (NM) 00459

定義：このフィールドは全予約日数以前の遅延を示す。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-35 Company plan code 会社プランコード (IS) 00460

定義：このフィールドはIN1/ZI1-3 - Insurance Company IDのデータをより定義するためのオプション情報である。推奨値としてUser-defined Table 0042 - Company Plan Codeを参照のこと。この表は保険会社を一意に識別するために使用するコードである。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-36 Policy number ポリシー番号 (ST) 00461

定義：このフィールドは当該患者のプランを一意に識別するための被保険者の個々のポリシー番号である。保険の特定のタイプとして、Medicaid、Medicare、Champus（例、IN2-6 - Medicare Health Ins Card Number, IN2-8 - Medicaid Case Number, IN2-10 - Military ID Number）のためのIN2セグメントの特殊なフィールドも存在する。しかし、本フィールド（IN1/ZI1-36 - Policy Number）はたとえその患者の保険番号がこれらの他のフィールドの一つに送られたときにも記入されることを推奨する。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-37 Policy deductible 免責ポリシー (CP) 00462

定義：このフィールドは保証人（例 控除額、超過額など）の責任である保険プランによって特化されている総額を示す。

通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-38 Policy limit - amount 限度額ポリシー (CP) 00463

Components: <quantity (NM)> ^ <denomination (ID)> ^ <price type (ID)> ^ <from value (NM)> ^ <to value (NM)> ^ <identifier (ID)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ID)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)> ^ <range type (ID)>

定義：このフィールドは支払われる保険ポリシーの最大総額である。

【病名】本規約では、月又は日の支払限度額として利用する。

<例>

1月 1, 000円 上限 ... 1000 ^\^^^^^^^^^^
1日 500円 上限 ... 500 ^\^^^^^^^^^^
IN1/ZI1-39 (上限日数) が、指定されない場合は、月上限、指定される場合は、日上限となる。

IN1/ZI1-39 Policy limit - days 限度日数ポリシー (NM) 00464

定義：このフィールドは保険ポリシーがカバーする最大日数を示す。

【病名】本規約では、月の最大自己負担日数として利用する（月3回まで、500円など）。

IN1/ZI1-38 (上限金額金額) が、累積上限であり、日数の上限がない場合は指定しない。

<例>

1月 1, 000円 上限 ... |1000 ^\^^^^^^^^^^|
1日 500円 上限 月 3回まで ... |500 ^\^^^^^^^^^^|3|

IN1/ZI1-40 Room rate - semi-private 部屋代 一半個室 (CP) 00465

定義：このフィールドはV2.3のような旧版との互換性を確保するためのみである。このフィールドの代わりにIN2-28 - Room Coverage Type/Amountを使用すること。旧版との互換性を取るときは、IN1/ZI1-40 - Room Rate Semi-Privateはポリシーがカバーする平均部屋代である。通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-41 Room rate - private 部屋代 一個室 (CP) 00466

定義：このフィールドはV2.3のような旧版との互換性を確保するためのみである。このフィールドの代わりにIN2-28 - Room Coverage Type/Amountを使用すること。旧版との互換性を取るときは、IN1/ZI1-41 - Room Rate - Privateはポリシーでカバーする最大個室費用である。通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-42 Insured's employment status 被保険者雇用状態 (CWE) 00467

定義：このフィールドは被保険者の雇用状態を維持する。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-43 Insured's sex 被保険者の管理上の性別 (IS) 00468

定義：このフィールドは被保険者の性別を示す。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-44 Insured's employer's address 保険者の従業員の住所 (XAD) 00469

定義：このフィールドは被保険者の従業員の雇用者住所である。同一の雇用者に複数の住所を送ることが出来る。郵便住所が第1反復フィールドにあると仮定している。郵便住所を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-45 Verification status 確認状態 (ST) 00470

定義：このフィールドは保険保有者と当該患者との関係状態を示す
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-46 Prior insurance plan ID 前保険プラン (IS) 00471

定義：このフィールドは保険がカバーしているタイプの識別の符号化構造か請求システムの目的でカバーされているサービスのタイプの種類を示す。たとえば、医師請求システムは医師/専門家チャージをカバーするプランにたいする保険情報のみを受け取りたいという場合である。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-47 Coverage type 保険範囲タイプ (IS) 01227

定義：このフィールドは保険がカバーしているタイプの識別の符号化構造か請求システムの目的でカバーされているサービスのタイプの種類を示す。たとえば、医師請求システムは医師/専門家チャージをカバーするプランにたいする保険情報のみを受け取りたいという場合である。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-48 Handicap code ハンディキャップ (IS) 00753

定義：このフィールドは被保険者の障害を記述するためのコードである。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-49 Insured's ID number 被保険者ID番号 (CX) 01230

定義：このデータエレメントは被保険者に対する医療機関識別子である。割り当て機関とIDタイプコードは全てのCXデータタイプとして強く推奨される。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-50 Signature Code 署名コード (IS) 01854

定義：本フィールドは患者/引受人の承認署名がいかにかに得られたか、そしていかにかにプロバイザによって維持されたかを示すためのコードを示す。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-51 Signature Code Date 署名コード日 (DT) 01855

定義：患者引受人の承認署名が得られた日付
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-52 Insured's Birth Place 被保険者出生地 (ST) 01899

定義：被保険者の出生地の記述を示す。
通常本フィールドは使用しない。

IN1/ZI1-53 VIP Indicator VIP識別 (IS) 01852

定義：本フィールドは保険者のためのVIPのタイプを識別する。
通常本フィールドは使用しない。

7.13 ORC - Order Common Segment 共通オーダーセグメント

共通オーダーセグメント(ORC)は、すべてのオーダーに共通なデータ要素を伝達するために使用される(要求されるすべてのタイプのサービス)。場合によっては、ORCは文字列ORC|OK|<依頼者オーダー番号>|<実施者オーダー番号>|<CR>のように単純になる。

詳細内容がオーダーのために必要ないならば、オーダー詳細セグメントは省略してよい。たとえば、オーダーを保留するためには、ORCで次のフィールドを付けて伝達する(HDの値付きのORC-1-オーダー制御、ORC-2-依頼者オーダー番号、およびORC-3実施者オーダー番号)。

ORCのフィールドとオーダー詳細セグメントの中のフィールドとの間にいくつかの重複がある。これらは以下の節に述べる。原則として、ORCとOBRに重複する情報は、OBRセグメントのものを優先する。

ORC使用注記

a)依頼者オーダーグループ

本規格では、複数のオーダーを1つのグループに集めるメカニズムをサポートする。大抵の場合、これは1人の患者に対して「依頼セッション」を表すために使用される。

オーダーグループは、ORC-4-依頼者グループ番号に関連するオーダー(ORCs)のリストである。グループは、依頼者が最初のオーダーに依頼者グループ番号を付けた時に確立する。オーダーグループは、同じ依頼者グループ番号を有するすべてのORCsおよびすべての詳細セグメントから成る。オーダーは、グループからキャンセルを使用して除去したり、取換えや親子メカニズムを使用して追加したりできる。新規オーダーは、その他の方法でのグループへの追加はできない。

b)重複フィールド

ORCは、すべてのオーダー(すなわち要求されたサービス)に共通なフィールドを一様に定義するよう意図されている。ただし、一部のORCフィールドは、一部のオーダー詳細セグメント(たとえばOBR、RXO)では重複する。たとえば、ORC-2依頼者オーダー番号は、OBR-2依頼者オーダー番号フィールドと同じ意味および目的を持つ。これによって過去のバージョンおよびASTMとの上位互換性が保たれる。

これらのフィールドを使用する規則では、ORCに現われない値はオーダー詳細セグメントに現われねばならない。しかし、両方の箇所に値を入れて混乱を避けることが望ましい。

c)親子 - キャンセル、保留、中断

親オーダーのキャンセル、保留または中断の要求の伝達は、その要求は親オーダーおよびすべての関連の子オーダーに対して再帰的に適用されるよう意図されている。たとえば

- 1)EKGアプリケーションが3回のEKGに対するオーダーを受け、これが3日連続で毎朝行われるとする。
- 2)EKGアプリケーションは3つの子オーダーを、各々の要求されたEKGに対して1つずつ作成する。
- 3)元の親オーダーを取消す要求が受取られた時に1日目のEKGが実施されていた。(親は取消せなかった)
- 4)残りの、未実施の子は要求の結果として取り消される。

【病名】病名では親/子オーダーは使用しない。

HL7属性表 ORC -Order Common Segment 共通オーダー

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		00215	Order Control オーダー制御	
2	22	EI	C	R		00216	Placer Order Number 依頼者オーダー番号	
3	22	EI	C	O		00217	Filler Order Number 実施者オーダー番号	
4	22	EI	O	R		00218	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	2	ID	O	O		00219	Order Status オーダー状態	
6	1	ID	O	O		00220	Response Flag 応答フラグ	
7	200	TQ	B	B	Y	00221	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	200	EIP	O	O		00222	Parent 親	
9	26	TS	O	O		00223	Date/Time of Transaction トランザクション日時	
10	250	XCN	O	O	Y	00224	Entered By 入力者	
11	250	XCN	O	O	Y	00225	Verified By 検証者	
12	250	XCN	O	O	Y	00226	Ordering Provider 依頼者	
13	80	PL	O	O		00227	Enterer's Location 入力場所	
14	250	XTN	O	O	Y/2	00228	Call Back Phone Numberコールバック用電話番号	
15	26	TS	O	O		00229	Order Effective Date/Time オーダー有効日時	

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
16	250	CWE	O	O		00230	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	250	CWE	O	O		00231	Entering Organization 入力組織	
18	250	CWE	O	O		00232	Entering Device 入力装置	
19	250	XCN	O	O	Y	00233	Action By 発動者	
20	250	CWE	O	O		01310	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	250	XON	O	O	Y	01311	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	250	XAD	O	O	Y	01312	Ordering Facility Address オーダ施設住所	
23	250	XTN	O	O	Y	01313	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	250	XAD	O	O	Y	01314	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	250	CWE	O	O		01473	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	60	CWE	C	C		01641	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 拡張利用注意書き理由	
27	26	TS	O	O		01642	Filler's Expected Availability Date/Time 実施者可能日時	
28	250	CWE	O	O		00615	Confidentiality Code 信頼性モード	
29	250	CWE	O	O		01643	Order Type オーダタイプ	
30	250	CNE	O	O		01644	Enterer Authorization Mode 入力者許可モード	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

ORCフィールド定義

ORC-1 Order Control オーダ制御 (ID) 00215

定義：オーダセグメントの機能を決定する。採りうる値はHL7表0119 -オーダ制御を参照。コードは大別すると次の3つのカテゴリに入る。

a) イベント要求

イベントを発動するために、『NW』（新規オーダ）とか『CA』（オーダ要求のキャンセル）のようなコードが使用される。

b) イベント肯定応答承認

イベント要求に返答するために、『OK』（オーダが受け入れられた）とか『CR』（要求されたようにオーダが取り消された）のようなコードが使用される。

c) イベント通知

イベントが発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、『OC』（オーダが取り消された）とか『OD』（オーダが中断された）のようなコードが使用される。いかなるアプリケーション応答も必要としない。

イベント要求コードは、イベントを発動することを意図する。イベント肯定応答コードは、イベントを要求したアプリケーションに回答することを意図する。イベント通知コードは、他のアプリケーションにたとえば次のようなことを知らせることを意図する。すなわち実施者がオーダに対し何かアクションをとりそれを他のアプリケーション、たとえば依頼者が知る必要がある場合等である。

実施者、依頼者、および他のアプリケーションは、イベント要求、イベント肯定応答、およびイベント通知型トリガーイベントを相互互換的に使用できる。しかしながら、あるオーダー制御コード(例 CR)は実施者のみが生成することができ、他のオーダー制御コード(例 CA)は依頼者のみが生成することができる。

HL7表 0119 -Order Control Code オーダー制御コードとその意味

Value ¹	Description	Originator ²	Field Note ³
NW	New order 新規オーダー	P	I
OK	Order accepted & OK オーダー受付 & OK	F	l(ハトシエイ時使用可)
UA	Unable to Accept Order 受付オーダーキャンセル	F	n(使用しない)
CA	Cancel order request オーダーキャンセル依頼	P	A
OC	Order canceled オーダーキャンセル完了	F	(ハトシエイ時使用可)
CR	Canceled as requested オーダーキャンセル完了(要求通り)	F	
UC	Unable to cancel オーダーキャンセル(不能)	F	B
DC	Discontinue order request オーダー中断要求	P	c(CAにて対応)
OD	Order discontinued オーダー中断	F	(CAにて対応)
DR	Discontinued as requested オーダー中断(要求通り)	F	(CAにて対応)
UD	Unable to discontinue オーダー中断(不能)	F	(CAにて対応)
HD	Hold order request オーダー保留要求	P	(使用しない)
OH	Order held オーダー保留	F	(使用しない)
UH	Unable to put on hold オーダー保留(不能)	F	(使用しない)
HR	On hold as requested オーダー保留(要求通り)	F	(使用しない)
RL	Release previous hold 前回保留オーダーを解放	P	(使用しない)
OE	Order released オーダー解放	F	(使用しない)
OR	Released as requested オーダー解放(要求通り)	F	(使用しない)
UR	Unable to release オーダー解放(不能)	F	(使用しない)
RP	Order replace request オーダー修正依頼	P	e,d,h
RU	Replaced unsolicited オーダー修正通知(実施者)	F	f,d,h(RPにて対応)
RO	Replacement order 修正後オーダー	P,F	g,d,h,l(RPにて対応)
RQ	Replaced as requested オーダー修正受理	F	d,e,g,h
UM	Unable to replace オーダー修正(不能)	F	
PA	Parent order 親オーダー	F	I
CH	Child order 子オーダー	F,P	I
XO	Change order request オーダー変更要求	P	(RPにて対応)
XX	Order changed, unsol. オーダー変更(非要求)	F	(RPにて対応)
UX	Unable to change オーダー変更(不能)	F	(RPにて対応)
XR	Changed as requested オーダー変更(要求通り)	F	(RPにて対応)
DE	Data errors データエラー	P,F	(使用しない)
RE	Observations to follow 検査付帯情報	P,F	j(使用しない)
RR	Request received 要求受付	P,F	k(使用しない)
SR	Response to send order status request 送信オーダー状態応答	F	(使用しない)
SS	Send order status request 要求	P	(使用しない)
SC	Status changed オーダー状態要求送信	F,P	(使用しない)
SN	Send order number 状態変更	F	l(使用しない)
NA	Number assigned オーダー番号送信	P	l(使用しない)
CN	Combined result 統合検査結果	F	M
RF	Refill order request 補充オーダー要求	F, P	O
AF	Order refill request approval 補充オーダー要求承認	P	P
DF	Order refill request denied 補充要求オーダー拒否	P	Q
FU	Order refilled, unsolicited オーダー補充済、非要求	F	R
OF	Order refilled as requested オーダー補充済、	F	S
UF	Unable to refill 補充不可	F	T
LI	診療or医療メッセージへのリンクオーダー		(使用しない)
UF	診療or医療メッセージからのアイリンクオーダー		(使用しない)

注記:

- 1 オーダー制御値フィールド。
- 2 『F』: この値は、実施者から開始し、依頼者他に送られる。『P』: この値は、依頼者または、依頼者特権(インタ

フェースネゴシエーションにおいて同意したような)を持つ他のアプリケーションから開始する。”

3 コードの説明については、表の注を見ること。

ORCオーダー制御コード表に関する注意

- a) CA
 オーダキャンセル依頼は、以前にオーダしたサービスを行わないようにとの要求である。キャンセル要求の確認は、実施者によっておこなわれる。たとえば、CRの(ORC-1-オーダー制御)値を持つメッセージである。
- b) UC
 UC オーダキャンセル(不能)コードは、依頼されたサービスが実施者によって取り消せないポイントにあるとき、あるいは、現場の取り決めて実施者によるキャンセルを禁止するとき使用される。このコードの使用は、ORC-6-応答フラグに従う。
- c) DC
 オーダ中断要求コードは、進行中の依頼されたサービスをやめるために使用される。それは、キャンセル要求と同じではない。それは、オーダーが起るのを防止するために使用される。
- d) RP, RQ, RU, RO
 オーダ修正依頼は、以前に依頼された、1個以上のオーダーの置き換えである。取換えられたオーダーは、あたかも取り消されたオーダーのように扱われる。依頼されたサービスが取換えられるかどうか、いつ取換えるかは、現場独自で決定する。オリジナルのオーダーがもとのままであることをサイトが要求するならば、親/子オーダー制御コードを使用する。このような時は、オーダー修正コードを使用しない。
 取換えられる各々のオーダーには、RP(実施者に対するオーダー修正依頼)のORC-1-オーダー制御値またはRU(実施者によって作成された、オーダー修正通知(実施者))を使用すること。RUは実施者によって使用され、依頼者および、または他のシステムに通知するためのものである。現場の取り決めによって、ORCセグメント(RPまたはRUと)の後には、そのオリジナルのオーダー詳細セグメントが続いてもよい。ORCセグメント(RPまたはRUと)の後には、RO(修正後オーダーを示す)のORC-1-オーダー制御値をもつ、ORCセグメントが続かなければならない。現場の取り決めによっては、RO値を持つORCは、オーダー詳細セグメントが後に続いてもよい。
 たとえば、部門のアプリケーションが2個のOBRオーダーを3つの異なったオーダーで取換えていたと仮定する。セグメントの連続は、次の通りになる。

RU and RO usage (example) RUとRO使用法 (例)

Segment	Order Control	Comment
ORC OBR	RU	1st replaced ORC 旧第1ORC 1st replaced order's detail segment 旧第1オーダーの詳細セグメント
ORC OBR	RU	2 nd replaced ORC 旧第2ORC 2 nd replaced order's detail segment 旧第2オーダーの詳細セグメント
ORC OBR	RO	1st replacement ORC 新第1ORC 1st replacement order's detail segment 新第1オーダーの詳細セグメント
ORC OBR	RO	2nd replacement ORC 新第2ORC 2 nd replacement order's detail segment 新第2オーダーの詳細セグメント
ORC OBR	RO	3 rd replacement ORC 新第3ORC 3 rd replacement order's detail segment 新第3オーダーの詳細セグメント

ORC-6-応答フラグの値によって、OBRセグメントが存在せねばならないかどうか決定される。この取換え方法は、取換えのすべての可能なケースを扱う：1個から1個へ、多数から1個へ、1個から多数へ、および多数から多数へである。もし依頼者が実施者に2つのRPの付いたこの要求を送り実施者から依頼者への応答があるとすると、2つのRU(オーダー修正通知(実施者))は2つのRQ(オーダー修正受理)となる。

RQ and RO usage (example) RQとRO使用法 (例)

Segment	Order Control	Comment
ORC	RQ	1 st replaced ORC 旧第1ORC

Segment	Order Control	Comment
OBR		1 st replaced order's detail segment 旧第1オーダーの詳細セグメント
ORC	RQ	2 nd replaced ORC 旧第2ORC
OBR		2 nd replaced order's detail segment 旧第2オーダーの詳細セグメント
ORC	RO	1 st replacement ORC 新第1ORC
OBR		1 st replacement order's detail segment 新第1オーダーの詳細セグメント
ORC	RO	2 nd replacement ORC 新第2ORC
OBR		2 nd replacement order's detail segment 新第2オーダーの詳細セグメント
ORC	RO	3 rd replacement ORC 新第3ORC
OBR		3 rd replacement order's detail segment 新第3オーダーの詳細セグメント

e) RP, RQ

オーダー取換要求コードは依頼アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個以上の新規オーダーを1個以上の新規オーダーと取換えることを許可する。

f) RU

オーダー修正通知(実施者)コードは依頼アプリケーションから要求されることなしに実施アプリケーションが別なアプリケーションに知らせることを許可する。

g) RO, RQ

取換えオーダーコードは実施者のアプリケーションによってオーダーされたサービスの正確な取換えを指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記のRPとRUのオーダー制御コードによって使用される。

h) RP, RQ, RU, RO

ROの制御値をもつORCセグメントのオーダー番号の規則は取換え型(RPまたはRU)によって決定される。

RU型(すなわち実施者からのオーダー修正通知)のときには、実施者オーダー番号は、実施アプリケーションによっていつものように生成される。依頼者オーダー番号は、RUのオーダー制御値付きの最初に送られたORCの依頼者オーダー番号と全く同一である。

RP型(すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー修正依頼)のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーのためと同一の手順を使用して、実施アプリケーションによって生成される。

取換えシーケンスがORUメッセージ(すなわち検査結果報告の間に)において使用される時の、オーダー修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。

- 1) ROのオーダー制御値付きのORC
- 2) いかなるOBRセグメント(いかなるオーダー詳細セグメントによって変えられる)
- 3) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く
- 4) NTEセグメントは、定型ORUメッセージにおけるのと同様にOBR(あるいはいかなるオーダー詳細セグメント)またはOBXセグメントの後に続けられる。

i) PA, CH

親(PA)と子(CH)のオーダー制御コードは親(オリジナルオーダー)を変える事なく「親オーダー」から「子オーダー」を生み出して良い。PAのORC-1-オーダー制御値を持つ1個以上のORCセグメントは、CHのORC-1-オーダー制御値を持つ1個以上のORCセグメントが後に続く。ORC-6-応答フラグの値によってOBRセグメントが存在せねばならないかどうか決定される。

たとえば、細菌培養が2つの生物と対応する感受性試験の結果を生成したと仮定する。そのときセグメントのシーケンスは、次の通りである：

Example of two child orders 2つの子オーダーの例

Segment	Order Control	Comment
ORC	PA	1st parent ORC 第1親ORC
ORC	CH	1st child ORC 第1子ORC
OBR		1st child order 第1子オーダー
ORC	CH	2nd child ORC 第2子ORC

Segment	Order Control	Comment
OBR		2nd child order 第2子オーダー

親子パラダイムの依頼者番号の割り当ては、実施者の依頼者が子オーダーを生成するかどうか、または依頼者がSN/NAトランザクションをサポートするかどうかによって依存する。依頼者が子オーダーを作成するならば、それはその通常の手続きに応じてそれらの依頼者番号を割り当てる。実施者が子を作成するならば、そこで2つの可能性がある：各々の子はその親の依頼者番号を受け継ぐか、あるいは、実施者は依頼者が依頼者番号を割り当てるよう要求するためにSN/NAトランザクションを使用する。どちらのケースでも、実施アプリケーションは、その通常の手続きに応じて子の実施者番号を作成する。

子オーダーが送られるときは常に、ORCセグメントのORC-8親に、親の実施者番号(実施者から開始するならば)および親の依頼者番号(実施者から開始するならば、あるいは依頼者から開始するならば)が割り振られる。

親子のメカニズムは、たとえば、毎朝、連続して3回のEKGのオーダーを発行するといったように、親オーダーを拡張することのために使用される。

j) RE

検査付帯情報コードは、オーダーと共に患者固有情報を送るのに使用される。オーダー詳細セグメント(たとえば、OBR)の後には、1個以上の検査セグメント(OBX)を続けることができる。ORUメッセージとして伝えることができるいかなる検査情報も、このメカニズムで伝えることができる。結果がオーダーと共に送られるときは、結果は、そのオーダーの直後に続けられるべきである。

次の例は、3個の処方オーダーのためのセグメントのシーケンスを、REコードの使用例で示す。

RE usage (example) RE使用法 (例)

Segment	Order Control	Comment
MSH		
PID		
ORC	NW	First new order 第1新規オーダー
RXO		First order segment 第1オーダーセグメント
ORC	NW	2nd new order 第2新規オーダー
RXO		2nd order segment 第2オーダーセグメント
[ORC	RE	Patient-specific observation, optional in V 2.2 患者固有検査情報 (V2.2ではオプション)
OBR]		Observation OBR, optional in V 2.2 OBR検査情報 (V2.2ではオプション)
OBX		An observation segment 検査情報セグメント
OBX		Another observation segment 他の検査情報セグメント
OBX		Another observation segment 他の検査情報セグメント
OBX		Another observation segment 他の検査情報セグメント
ORC	NW	3rd order 第3オーダー
RXO		3rd order segment 第3オーダーセグメント

HL7のこのバージョンにおいて、結果は、1個以上のOBXセグメントとしてオーダーと共に送ることができる。但し、ORCとOBRセグメントを必ずしも含む必要はない。

検査情報は、ORCを使用せずに、ORUメッセージを用いて伝えることができる。

ORUメッセージのOBRセグメントに含まれない情報を伝える必要が生じるときがある。この場合、ORCがORUメッセージに含まれることを推奨する。

REのオーダー制御値は、OMGメッセージにおいてのみ要求される。オーダーの後に検査結果(OBX)が続くことを示唆するためである。REコードはORUメッセージでは必要ではない。なぜならOBRセグメントの後に検査結果(OBX)を続けることができるからである。

k) RR

下位互換性のため。現在のバージョンにおいては、受付了解応答に等しい。要求受信コードは、オーダーメッセージが受け取られて、後で処理されることを示す。すなわち、そのオーダーは、より正確な応答をするための処理をまだ実行していないということである。

l) SN, NA, NW

オーダー番号の要求に関与する3つの状態がある(ORC-2-依頼者オーダー番号またはORC-3-実施者オーダー番号)。

- 1) 実施アプリケーションが、たとえば、HISのような集中アプリケーションからORC-3-実施者オーダ番号を要求する必要があるとき。
- 2) 実施アプリケーションが、たとえば、オーダのような他のアプリケーションからORC-2-依頼者オーダ番号を要求する必要があるとき。
- 3) アプリケーション(実施アプリケーションでない)が新規オーダのためにORC-3-実施者オーダ番号を割り当てたいとき

1) 実施アプリケーションが、集中実施者オーダ番号を必要とする場合。

SN 送信オーダ番号コードは、実施者のために、ORC-3-実施者オーダ番号をある、HISのような集中(その他のアプリケーションと呼ぶ)から要求するためのメカニズムを提供する、たとえば中央HISである。これはSNのORC-1-オーダ制御値を含んでいるOMGメッセージを送ることによって行う。このORCはNullのORC-3-実施者オーダ番号とORC-2-依頼者オーダ番号を持つ。これらは実施者がオーダを開始するとき、実施アプリケーションによって作成されたものである。

OMG(SN型)メッセージは、以下の2つの方法によって肯定応答される。

i) OKのORC-1-オーダ制御値を含んでいるORGメッセージによる。要求されなかったOMGメッセージは、NAのORC-1-オーダ制御値付きのORCを含んでいて、後のある時間に送られる。

ii) 以下で述べるNAのORC-I-オーダ制御値を含んでいるORGメッセージによって実現できる。

NA番号を割り当てられたコードは、その他のアプリケーションが実施アプリケーションに、最近割り当てられた実施者オーダ番号を知らせることを許す。ORC-1-オーダ制御値は、NAの値、ORC-2-依頼者オーダ番号(SN値を持つORCから)、および最近割り当てられた実施者オーダ番号を含む。

注： 依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号の両方が、実施者のアプリケーションIDを持つ。 .

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
SN	filler application 実施者アプリケーション	Placer order number^filler application ID 依頼者オーダ番号 ^ 実施者アプリケーションID	Null
NA	Other application その他のアプリケーション	Placer order number^filler application ID 依頼者オーダ番号 ^ 実施者アプリケーションID	filler order number^filler application ID 実施者オーダ番号 ^ 実施者アプリケーションID

2) 実施アプリケーションが、依頼者オーダ番号を必要とする場合

SN 送信オーダ番号コードは、実施アプリケーションがORC-2-実施者オーダ番号をその他のアプリケーションから要求するためのメカニズムを提供する。これはSNのORC-1-オーダ制御値を含んでいるOMGメッセージを送ることによって行う。このORCはnullのORC-2-依頼者オーダ番号とORC-3-実施者オーダ番号を持つ。これらは実施者がオーダを開始するとき、実施アプリケーションによって作成されたものである。

OMG(SN型)メッセージは、2つの方法によって肯定応答される

i) OKのORC-1-オーダ制御値を含んでいるORGメッセージによって。要求されなかったOMGメッセージは、NAのORC-1-オーダ制御値付きのORCを含んでいて、後のある時間に送られる。

ii) 以下で述べるNAのORC-I-オーダ制御値を含んでいるORGメッセージによって。

NA 番号を割り当てられたコードは、『その他』アプリケーションが実施アプリケーションに、最近割り当てられたORC-2-依頼者オーダ番号を知らせることを許す。ORCは、NAのORC-1-オーダ制御値、最近割り当てられたORC-2-依頼者オーダ番号、およびORC-3-実施者オーダ番号(SN値を持つORCから)を含む。

注： 新しいORC-2-依頼者オーダ番号は、依頼者のアプリケーションIDを持っている。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
SN	Filler application 実施者アプリケーション	Null	filler order number^filler application ID 実施者オーダ番号 ^ 実施者アプリケーションID
NA	Other application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID

	その他のアプリケーション	依頼者オーダー番号 ^ 依頼者アプリケーションID	実施者オーダー番号 ^ 実施者アプリケーションID
--	--------------	---------------------------	---------------------------

- 3) アプリケーションが、実施者オーダー番号を割り当てたい場合
 NW オーダを作成するアプリケーション(実施アプリケーションではない)が、実施者に新規
 オーダの実施者オーダー番号を割り当てたいとき、
 または
 RO (RO following an RP). この場合、その他のアプリケーションがORC3-実施者オーダー番号
 を完成する。この時には、実施者オーダー番号の2番目の成分として、実施アプリケーションIDを使用する。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
NW , RO	Other application to the filler 実施者への他のアプリケーション	placer order number^placer application ID 依頼者オーダー番号 ^ 依頼者アプリケーションID	filler order number^filler application ID 実施者オーダー番号 ^ 実施者アプリケーションID

m) CN

統合検査結果コードは、複数のオーダーに関連する結果を送るためのメカニズムを提供する。この状態が、通常、放射線科医が、複数のオーダーで表示された複数の検査に対して単一のレポートを作成するときに放射線科レポートに見られる。たとえば、リュウマチ性の関節炎患者のひざと手のフィルムは、放射線科医の側でひとつのレポートを生成することがある。
 そのような結果が報告される時、CNコードが最後のORC以外の全てのREを置き換える。結果は最後のORCとそのOBRに続く。3つのORCに続く単一の報告の例は下記の通りである：

```
MSH|...
PID|...
ORC|CN|...
OBR||A4461XA^HIS|81641^RAD|73666^Bilateral Feet|...
ORC|CN|...
OBR||A4461XB^HIS|81642^RAD|73642^Bilateral Hand PA|...
ORC|RE|...
OBR||A4461XC^HIS|81643^RAD|73916^Bilateral Knees|...
OBX||CWE|73916&IMP||Radiologist's Impression|...
OBX||CWE|73642&IMP||Radiologist's Impression|...
OBX||FT|73642&GDT||Description|...
```

n) UA

オーダー受付不可コードが使用されるのは、新しいオーダーを実施者が受付できないときである。受付できない理由としては、その患者にアレルギーのある薬剤の処方要求したこと、またはそのオーダーを実施するための機器が利用できないことが考えられる。これはMSAセグメント内で定義される通信レベルでの受付とは異なることに留意すること。

o) RF

RFは実施者または依頼者の両方による要求を受け入れる。実施者は依頼者からの補充許可を要求しているかもしれない。依頼者システムは、補充が実施者システムによって行われるよう要求しているかもしれない。

p) AF

AFは補充または補充の量を許可する依頼者からの返答である。

q) DF

DFは依頼者がオーダーの補充を許可しないことを示す。下記のオーダー制御コード理由を使用して、要求拒否の理由を示してもよい。これらの値は、「NCPDF SCRIPT回答セグメントコードリスト修飾子」に由来することに留意すること。

- AA Patient unknown to the provider 提供者が患者を知らない
- AB Patient never under provider care 患者は提供者から医療を受けたことがない
- AC Patient no longer under provider care 患者はもはや医療を受けていない
- AD Patient has requested refill too soon 患者はリフィルを要求したがそれが早過ぎる
- AE Medication never prescribed for the patient 患者に投薬したことがない

AF Patient should contact provider first 患者は最初に提供者にコンタクトするべきである
AG Refill not appropriate リフィルが適切でない

r) FU

FUは依頼者に対して、実施者が補充を患者の要求によるオーダに対して発行したことを通知する。

s) OF

OFは補充に対する依頼者システムの要求に直接応答する。

t) UF

UFは実施者システムが許可補充要求に対してアプリケーションレベル拒否を示す。

ORC-2 Placer Order Number 依頼者オーダ番号 (EI) 00216

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義： 依頼アプリケーションのオーダ番号

第1成分は、個々のオーダ(たとえば、(OBR))を識別する15文字までの文字列である。それは、依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられる。それは、特定の依頼アプリケーションからのすべてのオーダの中から一意の一つのオーダを識別する。第2成分は依頼アプリケーションのアプリケーションIDを含む。アプリケーションIDは、アプリケーションに一意に関連する6つの文字までの文字列である。ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。2つの成分は、共通の区切り文字によって分離される。

このように一意ではなく、真の依頼者がいくらかあいまいな3つの状態がある。

a) RU取替えに続く、ROのORC-1-オーダ制御値の場合；

b) CH(子オーダー)のORC-1-オーダ制御値の場合；

c) SN(番号を送ること)のORC-1-オーダ制御値の場合；

ORC-2-依頼者オーダ番号がこれらの場合どのように割り当てられるかの詳細については、ORC-1-オーダ制御の下のテーブルの注を参照すること。

ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所で文書化されている、施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がOMGとORGのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて述べた)。

ORC-2-依頼者オーダ番号は、OBR-2-依頼者オーダ番号と同じある。依頼者オーダ番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。その逆もまた真である。もし両方のフィールド、すなわちORC-2-依頼者オーダ番号およびOBR-2-依頼者オーダ番号が設定されるならば、それらは同じ値でなければならない。結果がORUメッセージで送られるとき、ORCは必要ないが、依頼者オーダ識別番号がOBRセグメント内に存在せねばならない。

これらの規則は、上位互換性のためORCとOBRの両方の中に存在している他のフィールドにも適用する。(たとえば、数量/タイミング、親番号、オーダ依頼者、および依頼コールバック用電話番号)。

ORC-3 Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI) 00217

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義： 実施アプリケーションに関連したオーダ番号。その第1成分は、オーダ詳述セグメントを識別する15文字の文字列である(例 OBR)。それは、オーダ実施(受け取る)アプリケーションによって割り当てられる。この文字列は、特定の実施アプリケーション(例 臨床検査)の他のオーダから、そのオーダ(オーダ詳細セグメントにおいて明示されるように)を、一意に識別せねばならない。一意性は長時間にわたって持続しなければならない。

第2成分は、実施アプリケーションIDを含んでいる。実施アプリケーションIDは、6文字ま

での文字列であり、アプリケーションをネットワーク上の他のアプリケーションから識別する。実施者オーダ番号の第2成分は、オーダの実際の実施者を常に識別する。

ある施設または相互通信施設グループは、アプリケーションの一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所で文書化されている、施設のマスター辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がOMGとORGのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて確認したように)。

ORC-3-実施者オーダ番号は、OBR-2-実施者オーダ番号と同じある。実施者オーダ番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。(この規則はORCおよびOBRの中の他の同一フィールドに対するものと同じであり、上位互換性およびASTMとの互換性を促進する。)これが特に重要なのは、結果がORUメッセージで送られる。この場合、ORCは必要ないが、実施者オーダ識別番号がOBRセグメント内に存在せねばならない。

実施者オーダ番号(OBR-3あるいはORC-3)は、オーダとその関連した検査を一意に識別する。たとえば、ある施設が検査をいくつかの関連アプリケーションから集め、それを共通のデータベースの中に入れ、この共通のデータベースがまた別のアプリケーションによって検査のために照会される、と仮定する。この場合、共通のデータベースアプリケーションによって送られた実施者オーダ番号と依頼者オーダ番号は、それぞれオリジナルの実施者および依頼者であろう。すなわち共通のデータベースアプリケーションによって割り当てられた新しいものではない。

同様に、実施者あるいは依頼者でないオーダの第三者アプリケーションが、オーダの状態を修正する(たとえば、それをキャンセルすること)権限があるならば、その第三者アプリケーションは、実施者にOMGメッセージを送る。そこには、『CA』に等しいORC-1オーダ制御の付いたORCセグメント、およびオリジナル依頼者オーダ番号および実施者オーダ番号を含む。いずれもそれ自身が割り当ててることではない。

ORC-4 Placer Group Number 依頼者グループ番号 (EI) 00218

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：オーダ依頼アプリケーションが複数セットのオーダを一緒にグループ化して後でそれらを識別できるようにする。

第1成分は、15文字までの文字列であって、これがすべての他のオーダグループを特定の依頼アプリケーションから一意に識別する。それは依頼アプリケーションによって割り当てられて、ORCの依頼者オーダ番号と同じシリーズでもよいが、これは必須ではない。

第2成分は、依頼アプリケーションIDであり、これはORC-2-依頼者オーダ番号の第2成分と同じである。

ORC-5 Order Status オーダ状態(ID) (ID) 00219

定義：オーダの状態。取りうる値についてはHL7表0038-オーダ状態を参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合または状態が変更になった場合に、オーダの状態を報告することであり、オーダ自体を処理する事ではない。オーダ状態は、メッセージが送られるとき送信アプリケーションに知られていた状態を反映させる。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

HL7表 0038に示すオーダー状態は、HL7表 0119-オーダ制御と同じ様な内容を含んでいるが、目的は異なる。オーダ状態は、ORC-1-オーダ制御値のSRまたはSCにおいて典型的に使用される。これはオーダの状態を、要求を受けた時または当事者に随時報告するためである。

HL7表 0038 -Order status オーダ状態

Value	Description
A	Some, but not all, results available 部分的完了
CA	Order was canceled オーダが取り消された
CM	Order is completed オーダが完了した
DC	Order was discontinued オーダが中断した
ER	Error, order not found エラー、オーダが見つからない

Value	Description
HD	Order is on hold オーダが保留
IP	In process, unspecified 進行中、不定
RP	Order has been replaced オーダが取替えられた
SC	In process, scheduled 進行中、予定

ORC-6 Response Flag 応答フラグ (ID) 00220

定義：これによって依頼者(送信)アプリケーションは、実施者から返されるべき情報の量を決定できる。要求されたレベルの応答は、即時には可能ではないかもしれない、しかし、それが可能なときは、実施者(受信)アプリケーションは、情報を送らなければならない。フィールドがnullであるとき、フィールドのデフォルト値はDである。取りうる値についてはHL7表0121-応答フラグを参照のこと。

HL7表 0121 -Response flag 応答フラグ

Value	Description
E	Report exceptions only 例外のみを報告
R	Same as E, also Replacement and Parent-Child Eと同じ、また取換えおよび親子
D	Same as R, also other associated segments Rと同じ、また他の関連セグメント
F	Same as D, plus confirmations explicitly Dと同じ、プラス明確な確認
N	Only the MSA segment is returned MSAセグメントのみが返却される

ORC-7 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

定義：(このフィールドは下位互換を保つ目的のためだけに残されている)

ORC-8 Parent 親 (EIP) 00222

Components: <Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

Subcomponents for Placer Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (UI)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Filler Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (UI)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関係付ける。親子のメカニズムは、ORC-1-オーダ制御の注のところで述べられる。第1成分は、親オーダの依頼者オーダ番号を含んでいる。それは、オーダが子であるとき要求される。

第2成分は、親オーダーの実施者オーダー番号を含んでいる。

依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号との成分は、このフィールドの2つの成分の副成分として送られる。

ORC-9 Date/Time Of Transaction トランザクション日時 (TS) 00223

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このトランザクションがオーダアプリケーションに入る日時。新規オーダを作成するメッセージの場合は、これは、オーダが入れられた日付および時間である。

たとえば、キャンセルなどの他のメッセージの場合は、このトランザクションが送信アプリケーションに入る日時である。この日付と時間は、現在のトランザクションのためのもので、オリジナルのオーダへの訂正のための『取り換え』た時刻ではない。同様に、このセグメントのORC-10-入力者、ORC-11-検証者、およびORC-13-入力の場所も現在のトランザクションに関連づけられ、オリジナルのオーダに関連づけではない。

ORC-10 Entered By 入力者 (XCN) 00224

定義：要求をアプリケーションに実際に打鍵した人の所属氏名。それは、要求が不正確に入れられ、関連部門が要求を明らかにする必要がある場合、監査証跡となる。現場の取り決めによって、ID 番号または名前成分は、省略されてもよい。

要求をアプリケーションに実際に打鍵した操作者のID。

ORC-11 Verified By 検証者 (XCN) 00225

定義：入れられた要求の精度を検証した人の所属氏名。それが使用されるのは、要求が技師によって入力され、看護婦などのより高い権威者によって検証される必要がある場合である。現場の取り決めによって、ID 番号や名前成分は、省略されてもよい。

ORC-12 Ordering Provider オーダ依頼者 (XCN) 00226

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義： 要求を作成することに責任がある依頼する医師などの所属氏名。要求を作成することに責任がある依頼する医師などID。

【病名】 診断医のID・氏名(姓・名)を示す。姓・名の分離が難しい場合は<姓>フィールドを使用する。

ORC-13 Enterer's Location 入力者の場所 (PL) 00227

Components: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

Subcomponents for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Comprehensive Location Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Authority for Location (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： 要求を入力した人の場所(たとえば、部門、階)。それは、部門のあるサブカテゴリを含むためサイト固有のベースに基づいて使用されてもよい複合フィールドである。たとえば、ICU4は、4階のICUの場所の呼称とするなど。

ORC-14 Call Back Phone Number コールバック用電話番号 (XTN) 00228

Components: <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義： 要求またはオーダに関して、必要な他の情報を確認するための電話番号。

ORC-15 Order Effective Date/Time オーダ有効の日時 (TS) 00229

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： 変更要求が有効になった、あるいは、有効になる予定の日時。

ORC-9-トランザクション(日時)が、ORC-15-オーダ [訳注：原文はORC-16-オーダとなっているが、明らかな間違いのため修正した] 有効日時の後またはそれに等しくなっているならば、ORCおよびその下のセグメントにおけるデータ値はこの日時に有効になった。

ORC-9-トランザクション 日時がORC-15-オーダ有効日時より前ならば、ORCおよびその下位セグメントのデータ値は、オーダ有効日時に有効になるよう計画される。

有効ORC-15-オーダ有効日時が空白にしておかれるならば、その値は、ORC-9-トランザクション日時と等しいと仮定される。また、トランザクション日時が空白であるならばMSH-7-メッセージと等しいと仮定される。

ORC-15-オーダ有効日時(同じORCセグメントのオーダ制御コードイベントのために)が、ORC-7-数量/タイミングと異なる場合は、ORC-15-オーダ有効日時が優先する。一例としてORCイベントが実施者への連続オーダに対する中断要求であり、かつオーダ有効日時がORC-7-数量/タイミング終了日時の前にあるならば、オーダ有効日時が優先する。ORCの中で識別されたオーダが子を持っているならば、開始しなかった子は取り消される必要がある；プロセスに子がいるならば、それは中断される必要がある；子が中断できる点を超えて前進しているならば、その状態は影響されない。

ORC-16 Order Control Code Reason オーダ制御コード理由 (CWE) 00230

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義： オーダ制御コード(HL7表0119)によって述べたオーダイベントの理由の説明。コード化したあるいはテキスト形式のどちらでもよい。オーダ特定のセグメント(たとえば、RXO、ORO、OBR)の後のNTEは、その特定のセグメントのためにコメントとなる。もうひとつ、オ

ーダ制御コード理由の目的には、そのオーダイベントの理由を拡張することがある。

ORC-1-オーダ制御がNWであるときは、ORC-16-オーダ制御コード理由に、普通は値を設定しない。ただし、設定できないわけではない。取り消されたオーダのときには、たとえば、このフィールドは、一般的に、キャンセルの理由を説明するために使用される。

良く実証されたアレルギーのために医者からの処方オーダをキャンセルした調剤システムは、このフィールドでアレルギーの事実が多分報告される。

それが薬理相互作用のためにこのオーダをキャンセルしたならば、このフィールドは、相互作用物質の少なくとも名称(およびコード、必要とするならば)となる。文章で相互作用、および相互作用の激しさの程度を述べる。

ORC-17 Entering Organization 入力組織 (CWE) 00231

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義： 入力者がオーダを入力/修正した時に属していた組織

入力者の所属(CWE型)なので、医師が入力するオーダ情報では診療科と扱う。

ORC-18 Entering Device 入力装置識別 (CWE) 00232

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義： オーダを入力するため使用された物理的装置(端末やPC)の識別子

ORC-19 Action By 発動者 (XCN) 00233

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義： 対応するオーダ制御コードによって表されたイベントを発動した人の所属氏名。たとえば、オーダ制御コードがCA(オーダキャンセル依頼)であるならば、このフィールドは、オーダキャンセルを要求した人を表す。

ORC-20 Advanced beneficiary notice code 受益者注意コード (CWE) 01310

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義： このフィールドは患者もしくは患者の責任で保険外のサービスに対して費用の支払うことを保証していない状態を示す。この要素は、H C F Aの条件を満たす為に導入された。

参照： 使用者定義表 0339 - Advanced beneficiary notice code 事前保険金受給通知コード

Value	Description
1	Service is subject to medical necessity procedures サービスは医学の必要性がある手続きである
2	Patient has been informed of responsibility, and agrees to pay for service 患者は支払いの義務があり、それを通知されている
3	Patient has been informed of responsibility, and asks that the payer be billed 患者は支払いを了承し請求書を送ることを要求している
4	Advanced Beneficiary Notice has not been signed 受益者注意はサインされていない

ORC-21 Ordering facility name オーダ施設名 (XON) 01311

Components: <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

Subcomponents for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、オーダの発行者施設を記述する

ORC-22 Ordering facility address オーダ施設住所 (XAD) 01312

Components: In Version 2.3 and later, replaces the AD data type. <street address (SAD)> ^ <other designation (ST)> ^ <city (ST)> ^ <state or province (ST)> ^ <zip or postal code (ST)> ^ <country (ID)> ^ <address type (ID)> ^ <other geographic designation (ST)> ^ <county/parish code (IS)> ^ <census tract (IS)> ^ <address representation code (ID)> ^ <address validity range (DR)>

定義：このフィールドは、オーダの発行者施設の住所を記述する

ORC-23 Ordering facility phone number オーダ施設電話番号 (XTN) 01313

Components: [NNN] [(999)]999-9999 [X99999] [B99999] [C any text] ^ <telecommunication use code (ID)> ^ <telecommunication equipment type (ID)> ^ <email address (ST)> ^ <country code (NM)> ^ <area/city code (NM)> ^ <phone number (NM)> ^ <extension (NM)> ^ <any text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダの発行施設の電話番号を記述する

ORC-24 Ordering provider address オーダ提供者住所 (XAD) 01314

Components: In Version 2.3 and later, replaces the AD data type. <street address (SAD)> ^ <other designation (ST)> ^ <city (ST)> ^ <state or province (ST)> ^ <zip or postal code (ST)> ^ <country (ID)> ^ <address type (ID)> ^ <other geographic designation (ST)> ^ <county/parish code (IS)> ^ <census tract (IS)> ^ <address representation code (ID)> ^ <address validity range (DR)>

定義：このフィールドは、オーダの医療提供者住所を記述する

ORC-25 Order status modifier オーダ状態変更 (CWE) 01473

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、ORC-5 オーダ状態の変更、または、再生の記述する。定義されたオーダ状態コードの追加のレベル特性、もしくは追加の情報を提供する為に使われる。このオーダ状態はHL7により定義されたものとは異なり、APにより状態コードを任意に設定できる。データタイプはCWEである。

使用規則：このフィールドはORC-5状態が指定されていれば使用される。

ORC-26 Order status modifier 事前保険金受給通知上書き理由 (CWE) 01641

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、患者が受益者注意コードにサインしない理由を含む。理由はコード化されるか或いは自由なテキスト形式で入力される。

条件：このフィールドはORC-20 受益者注意コードの値が、通知にサインされていない場合に要求される。例えば、ORC-20 が使用者定義表 0339—受益者注意コードに3 或いは4 の値が入力されている場合、または、関連する外部コード表で同様の値は入力されている場合、追加の資格或いは説明のための情報が正しい値として認められる。

ORC-27 Filler's Expected Availability Date/Time 実施者サービス可能日時 (TS) 01642

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、実施者がサービス可能な日時を指定する。例えば、処方箋が受け取り可能或いは研究結果が可能となる場合に記述する。

ORC-28 Confidentiality Code 守秘コード (CWE) 00615

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダを取り巻くセキュリティレベル又或いは注意度に関する情報を含む。(例えば嚴重注意、注意不要、注意など)。可能な値に関しては、HL7 表 0177 – 守秘コード を参照のこと。特別な守秘レベルを持つデータの処理に関しては、現場特殊な交渉に委ねる。

HL7表 0177 -Confidentiality Code 守秘コード

Value	Description	Comment
AID	AIDS patient 患者	
EMP	Employee 従業員	
ETH	Alcohol/drug treatment patient アルコール/薬物中毒 治療患者	
HIV	HIV(+) patient HIV(+)患者	
PSY	Psychiatric patient 精神医学患者	
R	Restricted 限定	
U	Usual control 通常管理	
UWM	Unwed mother 未婚の母	
V	Very restricted 非常に限定	
VIP	Very important person or celebrity 重要人物や名士	

ORC-29 Order Type オーダタイプ (CWE) 01643

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダが入院患者にセット、あるいは外来患者にセットされ実行されるかどうかを示している。もし、このフィールドが値を持っていないければ、システムのデフォルト値がとられる。推奨値に関しては、HL7表 0482 – オーダタイプを参照のこと。

例：理学療法を続行するために発行されるオーダを取り消す前に、或いは地域薬局で処方箋をもらうオーダを取り消す前は、その患者は、PV1によると入院患者だが、そのオーダ自体は外来患者に発行される場合。

HL7表 0482 -Order Type オーダタイプ

Value	Description	Comment
I	Inpatient Order 入院患者オーダ	
O	Outpatient Order 外来患者オーダ	

ORC-30 Enterer Authorization Mode 承認モード入力 (CNE) 01644

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダを作成或いは変更する責任を持った実行者からの記録を承認する形態を示している。推奨値に関しては、HL7表 0483 承認モードを参照のこと。

HL7表 0483 -Authorization Mode 承認モード

Value	Description	Comment
EL	Electronic 電子的	
EM	E-mail	
FX	Fax	
IP	In Person 本人自ら	
MA	Mail	
PA	Paper 紙	
PH	Phone 電話	
RE	Reflexive (Automated system)再帰的 (自動化システム)	
VC	Video-conference TV会議	
VO	Voice 口頭	

7.14 OBX - Observation/Result Segment 検査結果セグメント

OBXセグメントは単一検査あるいは部分検査を転送するのに使用される。それは分割不可能なレポートの最小単位に相当する。

その主な機能はレポート・メッセージで検査関連情報を伝達することである。しかし、OBXを検査オーダーに含めることもできる。この場合、実施者が作成する検査結果を解釈できるように、実施者が必要とする臨床情報をOBXで伝送する。

本規約では、ADTメッセージ内でPIDセグメントに付随するOBXセグメントにおいて、感染症・血型等のプロフィール情報を部門システムに伝達する目的で主に使用する。

HL7属性表－OBX－検査結果

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		00569	Set ID – Observational SimpleセットID	
2	2	ID	C	R		00570	Value Type 値型	
3	250	CWE	R	R		00571	Observation Identifier 検査項目	
4	20	ST	C	C		00572	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	65536	*	C	C	Y	00573	Observation Value 検査値	
6	250	CWE	O	O		00574	Units 単位	
7	60	ST	O	O		00575	References Range 基準値範囲	
8	5	IS	O	O	5	00576	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	5	NM	O	O		00577	Probability 確率	
10	2	ID	O	O	Y	00578	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	1	ID	R	R		00579	Observ Result Status 検査結果状態	
12	26	TS	O	O		00580	Date Last Obs Normal Values 最終検査正常値日付	
13	20	ST	O	O		00581	User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検	
14	26	TS	O	O		00582	Date/Time of the Observation 検査日時	
15	250	CWE	O	O		00583	Producer's ID 実施者ID	
16	250	XCN	O	O	Y	00584	Responsible Observer 検査責任者	
17	250	CWE	O	O	Y	00936	Observation Method 検査方法	
18	22	EI	O	O	Y	01479	Equipment Instance Identifier 装置コード	
19	26	TS	O	O		01480	Date/Time of the Analysis 分析日付	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

検査結果コメントの例

検査材料、検査方法、検査結果への補足、検査できなかったことへの説明、などのコメントは検査結果のOBXに続くOBXで表現する。コメントの値型はSTやTXが代表的と考えられるがコメントコードでの運用しか出来ない場合は二者間の協議で値型CWEでコードでの運用も可能である。出来る限りコメント内容に制限のないフリーテキストを推奨する。

OBXフィールド定義

OBX-1 Set ID - Observation Simple セットID-単純検査 (SI) 00569

定義：同一のOBRセグメントに対し1から付番される通し番号。

OBX-2 Value Type 値型 (ID) 00570

定義: OBX内の検査結果値のフォーマット。値がCWEである場合、結果はコード化入力値でなければならない。値型がTXまたはFTである場合、結果はテキスト群である。値型の検査で採りうる値はHL7表0125-値型に列記される(5.4データ型を参照)。たとえば、PNは成分区切り文字により分離した6つの成分から成る。NMは有効な型であるが、通常数字として報告される検査では、結果の一部として非数値文字が報告されることがあるので(結果が測定器で計りきれないことを示すために>300を使う場合など)、文字列(ST)データ型を持つことがある。たとえば">300"では、">"は記号であり桁"300"は数値と考えられる。

以下を除くすべてのHL7データ型が有効である。

CM: 特定のデータ型でないから、

CQ: OBX-5-検査値の単位は、OBX-6-単位に必ず明示的に指定されるから、

SIシーケンスID: HL7メッセージセグメント以外に適用されないから。

実際の検査値がOBXでは送られていないが、他のどこかに存在する場合、RP値(参照ポインタ)を使用しなければならない。たとえば、検査が画像(ドキュメント関連画像あるいは医学関連画像)から成る場合、画像そのものはOBXで送ることができない。その場合送信システムは、参照ポインタを送信するよう選択することができる。受信システム側は、ACR-NEMAなどの他の標準インターフェースにより、あるいは適切なデータベースサーバーにより実際の画像へアクセスする必要がある場合は、いつでもこの参照ポインタを使用することができる。

HL7表 0125 - Value type 値型

Value	Description
AD	Address 住所
CE	Coded Entry コード化値
CF	Coded Element With Formatted Values 書式付コード化値
CK	Composite ID With Check Digit 点検数字付き複合ID
CN	Composite ID And Name 複合IDと名前
CP	Composite Price 合成価格
CX	Extended Composite ID With Check Digit 検査数字を備えた拡張合成ID
DT	Date 日付
ED	Encapsulated Data カプセルに入れられたデータ
FT	Formatted Text (Display) 書式付テキスト (表示)
MO	Money 貨幣
NM	Numeric 数値
PN	Person Name 人名
RP	Reference Pointer 参照ポインタ
SN	Structured Numeric 構造化した数値
ST	String Data. 文字列データ
TM	Time 時間
TN	Telephone Number 電話番号
TS	Time Stamp (Date & Time) 時間スタンプ (日時)
TX	Text Data (Display) テキスト・データ (表示)
XAD	Extended Address 拡張アドレス
XCN	Extended Composite Name And Number For Persons 人の拡張合成名前および番号
XON	Extended Composite Name And Number For Organizations 組織の拡張合成名前および番号
XPN	Extended Person Number 拡張人番号 (人名)
XTN	Extended Telecommunications Number 拡張遠隔通信番号

値型の構成成分については 6.4データ型を参照のこと

OBX-3 Observation Identifier 検査項目ID (CWE) 00571

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：検査項目を表す一意な識別子。検査結果コメントをセットする場合検査項目IDを接尾辞で修飾したコードを用いる。検査結果コメントの扱いを参照。

大半のシステムでは、識別子は受信システムが検査情報を処理するために、他の検査属性を

列記した検査項目マスタテーブルを参照するために使用される。検査IDと検査項目マスタテーブルとの関係は、請求記録中の課金コードと課金マスタテーブルの関係に類似している。

OBX-4 Observation Sub-ID 検査サブID (ST) 00572

定義：1つのOBRの下で編成された複数のOBXセグメントが同じ検査項目IDを持つ場合、それぞれのOBXセグメントを識別するのに使う。たとえば、胸部X線レポートには独立した3つの診断が含まれることがある。標準では、3つのOBXセグメント(1つの診断所見に1つのOBXセグメント)が必要である。これらのOBXセグメントの1番目のサブIDに1、2番目のサブIDに2、および3番目のサブIDに3を入れることにより、HL7は、編集あるいは交換に際し各OBXセグメントを一意に識別することができる。

サブ識別子は、外科病理学などのレポートで関連成分をグループ化するのにも使われる。外科病理学レポートでは、1回の手術により得られた組織をすべて1つのレポートにまとめるということは昔からよくある。胆嚢および虫垂の検査を記述した単一の外科病理学レポートを考えてみる。このレポートは概ね図7-10に示すように転送されるだろう。

図 7-10. Example of sub-identifier usage

```
OBR|1|||88304&SURG PATH REPORT...
OBX|1|CWE|88304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM...
OBX|2|TX|88304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALLBLADDER...
OBX|3|TX|88304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAM SHOWS HISTOLOGICALLY
    NORMAL GALLBLADDER TISSUE...
OBX|4|CWE|88364&IMP|1|M-00100^NML^SNM...
OBX|5|CWE|88304&ANT|2|T66000^APPENDIX^SNM...
OBX|6|TX|88304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED, SWOLLEN, BOGGY APPENDIX...
OBX|7|TX|88304&MDT|2|INFILTRATION WITH MANY PMN's - INDICATING INFLAMMATORY
    CHANGE...
OBX|8|CWE|88304&IMP|2|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM...
```

図7-10の例では、レポートの各成分に対して2つのセグメントがある(2つある組織のそれぞれに対して1つのセグメント)。このように、88304&ANTセグメントが2個存在する；88304&GDTセグメントが2個存在する。88304&MDTセグメントが2個存在する。胆嚢に適用されるセグメントはすべてサブ識別子として1を持つ。虫垂に適用されるセグメントはすべてサブ識別子「2」を持つ。

OBX-5 Observation Value 検査結果値 (*) 00573

定義：検査実施者により検査された検査結果値。検査結果値はこのセグメント中のOBX-2-値型で設定されるデータ型に応じて表記される。このフィールドはOBXセグメントの必須フィールドである。数値なのかあるいは短いテキストなのかどうかに拘らず、回答はASCII文字コードで記録されるものとする。

数値型の検査結果であっても比較演算子や接尾辞を持つ場合、値型が文字列STの場合と構造化数値SNの場合によって、検査結果値の表記が異なるので注意、例えば、ST型では100以上(>100)や2+であるが、SN型では>^100や^2+となる。可能な限りSN型を使用することを推奨する。

【病名】感染症・血型情報の送信：

PIDセグメントに付随する一連のOBXセグメントで、感染症や血液型などの患者のプロファイル情報を記述する場合、例えば以下のような表記を行う。

```
PID|...
OBX|1|ST|5H010000001810114^血液型-ABO式^JC10|1|AB|||||P|20060125
OBX|2|ST|6B050000006474211^MRSA^JC10|2|+|||||P|20060210
OBX|3|ST|5F015144002383111^HB^JC10|3|+|||||P|20060210
OBX|4|ST|5F500143000000011^HIV^JC10|3|-|||||P|20060210
...
```

項目を特定するのに使用するコードとして、本規約ではJLAC10を推奨する。

- OBX-6 Units 単位 (CWE) 00574
 Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>
 定義：単位のデータ型はCWEデータ型である。
- OBX-7 References Range 基準値範囲 (ST) 00575
 定義：検査で有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限界を表す。
- OBX-8 Abnormal Flags 異常フラグ (IS) 00576
 定義：結果の正常状態を示すテーブルルックアップ。所見（正常、異常）フラグに用いる。
- OBX-9 Probability 確率 (NM) 00577
 定義：定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。
- OBX-10 Nature Of Abnormal Test 異常検査の特質 (ID) 00578
 定義：判定の元になった集団を指示。
- OBX-11 Observ Result Status 検査結果状態 (ID) 00579
 定義：採りうるコードについては、HL7表0085－検査結果状態－を参照。このフィールドは、1つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。
 【病名】感染症・血型などのプロフィール情報を表現する場合には、最終結果の情報という意味で、'F'を使用する。

HL7表 0085 - Observation Result Status Codes Interpretation 検査結果状態

Value	Description
C	Record coming over is a correction and thus replaces a final result 到着レコードは修正であり結果を書き換え
D	Deletes the OBX record OBXレコードを削除する
F	Final results; Can only be changed with a corrected result. 最終結果：修正結果でのみ変更可能
I	Specimen in lab; results pending 臨床検査室の検体；結果保留
N	Not asked; used to affirmatively document that the observation identified in the OBX was not sought when the universal service ID in OBR-4 implies that it would be sought.
O	Order detail description only (no result) 依頼詳細記述（結果なし）
P	Preliminary results 事前結果
R	Results entered -- not verified 結果を入力 -- 未検証
S	Partial results 部分結果
X	Results cannot be obtained for this observation この検査では、結果は得られない
U	Results status change to Final. Without retransmitting results already sent as 'preliminary. 結果状態を最終へ変更。結果は変化しなかった(テストを転送しない) たとえば、放射線科により状態が事前から最終へ変更される
W	Post original as wrong, e.g., transmitted for wrong patient

- OBX-12 Effective Date Last Obs Normal Value 最新正常値有効日付 (TS) 00580
 Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 定義：測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更などを表す。
- OBX-13 User Defined Access Checks 利用者定義アクセス点検 (ST) 00581
 定義：これにより実施者は、受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できるようになる。
- OBX-14 Date-Time Of the Observation 検査日時 (TS) 00582
 Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 定義：検査日時は検査が行われた日時である。
- OBX-15 Producer's ID 実施者ID (CWE) 00583
 Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>
 定義：検査実施責任者の一意な識別子。
- OBX-16 Responsible Observer 検査責任者 (XCN) 00584
 Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^

<DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^
<Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^
<Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^
<Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order
(ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^
<Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：要求された場合、検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。

OBX-17 Observation Method 検査方法 (CWE) 00936

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^
<alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)>
^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。

OBX-18 Equipment instance identifier 装置識別ID (EI) 01479

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type
(ID)>

定義：このフィールドは検査に用いられる装置の識別IDである。

OBX-19 Date/time of the analysis 分析日付 (TS) 01480

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、実装置 I D で指定された機器によって分析結果の世代と関連したタイムスタンプを転送する為に使われる。

7.15 RCP - response control parameter segment 応答コントロールパラメータセグメント

RCPセグメントは、照会に対する応答で返送されるべきデータの、量を制限するために使われる。

属性表 - RCP - 応答コントロール・パラメーター

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	1	ID	O		0091	00027	Query Priority
2	10	CQ	O		0126	00031	Quantity Limited Request
3	250	CWE	O		0394	01440	Response Modality
4	26	TS	C			01441	Execution and Delivery Time
5	1	ID	O		0395	01443	Modify Indicator
6	512	SRT	O	Y		01624	Sort-by Field
7	256	ID		Y		01594	Segment group inclusion

RCP フィールド定義

RCP-1 Query Priority 照会 優先度 (ID) 00027

定義：このフィールドは応答が期待されるタイムフレームが含まれる。

提案される値については、HL7 テーブル 0091-照会優先度を参照。テーブル値とその後のフィールドは、応答のためのタイムフレームを指定する。

HL7 テーブル 0091 - 照会 優先度

Value	Description	Comment
D	Deferred 遅延	
I	Immediate 即時	

RCP-2 Quantity Limited Request 数量制限要求 (CQ) 00031

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、要求しているシステムにより受け入れられる応答の最大長が含まれる。有効な入力、第2のコンポーネントで指定されたユニットで与えられる数値(最初のコンポーネントに)である。デフォルトはLI (ライン)。

第2のコンポーネントの有効なエントリーは、HL7 テーブル 0126 -数量制限要求を参照。セグメント・パターン応答では、ラインは一つのセグメントとして定義される。

HL7 テーブル 0126 -数量制限要求

Value	Description	Message Usage	Comment
CH	Characters 文字	RSP/RTB/RDY	Used where size of input buffer has limitations
LI	Lines 行	RTB/RDY	
PG	Pages ページ	RDY	
RD	Records レコード	RSP/RTB/RDY	In RSP record = hit
ZO	Locally defined ローカル定義		

RCP-3 Response Modality 応答様式 (CWE) 01440

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、応答メッセージのタイミングとグルーピングを指定する。有効な値については、HL7 テーブル 0394－応答形式を参照。

HL7 テーブル 0394 – 応答様式

Value	Description	Comment
R	Real Time リアルタイム	
T	Bolus (a series of responses sent at the same time without use of batch formatting) バッチ以外の事前処理	
B	Batch バッチ	

RCP-4 Execution and Delivery Time 実行及び配送時間 (TS) 01441

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

返送される応答の時間を指定する。このフィールドは、RCP-1 照会優先度が D (遅延)の値の時に限り、評価される (値が入れられる)

RCP-5 Modify Indicator 変更表示子 (ID) 01443

定義：このフィールドは、申し込みが新しいものか、あるいは変更がされつつあるのかを指定する。有効な値については、HL7 テーブル 0395－変更インジケータを参照。

テーブル 0395 –変更指示子

Value	Description	Comment
N	New Subscription 新規	
M	Modified Subscription 変更	

RCP-6 Sort-by Field ソートするフィールド (SRT) 01624

Components: <Sort-by Field (ST)> ^ <Sequencing (ID)>

定義：表になっている返答を求める照会のために、このフィールドは、どちらのフィールドによって、応答がソートされるかということ、そして、区分けをする順序を指定する。QSC別形が用いられていないときに、このフィールドの最初のコンポーネントのために指定された値は、アウトプット仕様および注釈のColNameフィールドから引き出される。セクション5.3.3.1を参照。QSC別形が使われるときには、これらの値はインプット/アウトプット仕様および注釈のColNameフィールドから引き出される。例についてはセクション5.9.4.1を参照。

このフィールドのそれぞれの繰り返しは、一つのソート・フィールドを指定する。このように、このフィールドの最初の繰り返しは、第一次的なソート・フィールドを指定する；第2の繰り返しは、第二次的なソート・フィールドを指定する；etc. .

RCP-7 Segment Group Inclusion セグメント・グループ包含 (ID) 01594

定義：応答に含まれるオプション・セグメント・グループを指定する。セグメント・グループの値については、HL7 テーブル 0391－セグメント・グループを参照。これは、複数のセグメント・グループを含めるための繰り返しフィールドである。このフィールドのデフォルト (表されていない) は、全ての関連するグループが含まれることを意味する。 .

本フィールドは Null 値固定とする。

注：セグメント・グループのためのコードは、HL7テーブル0391から取り出されるが、セグメント・グループ (e.g. PIDG) の正確なセグメント-レベルの定義は、そのセグメントグループが現れる、その照会のコンフォーマンス・ステートメントの中だけから与えられる。 .

例：

HL7 テーブル 0391 – セグメントグループ

Value	Description	Comment
PIDG	PID group	

Value	Description	Comment
OBRG	OBR group	
ORCG	ORC group	
RXAG	RXA group	
RXDG	RXD group	
RXEG	RXE group	
RXOG	RXO group	
Etc		

注：HL7テーブル0391-セグメント・グループは、現在、HL7によって定義されたいかなる値も含まない。値はHL7技術委員会によって投票により同意されたものがコンFORMANCE・ステートメント中にあるので、それらがこのテーブルに含まれるだろう。

7.16 ZPR - Extended Problem Information プロブレム拡張情報セグメント

ト

プロブレム拡張情報セグメントは、与えられた各個人のプロブレムに付随する必要なデータを含んでいる。

ZPR属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE		O	Y	ZP001	Modifier Code(Prefix) 修飾語管理番号 (接頭語)	
2	250	CWE		R		ZP002	Disease Code 病名管理番号	
3	250	CWE		O	Y	ZP003	Modifier Code(Suffix) 修飾語管理番号 (接尾語)	
4	250	CWE		O	Y	ZP004	Modifier Code for Exchange(Prefix) 修飾語交換用コード (接頭語)	
5	250	CWE		O		ZP005	Disease Code for Exchange 病名交換用コード	
6	250	CWE		O	Y	ZP006	Modifier Code for Exchange(Suffix) 修飾語交換用コード (接尾語)	
7	199	ST		O		ZP007	Comment コメント	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

ZPRフィールド定義

ZPR-1 修飾語管理番号 (接頭語) (CWE) ZP001

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST) ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、MEDIS標準病名を利用する場合は、接頭語の修飾語管理番号を含んでいる。修飾語が複数存在する場合は、繰り返しを利用するが、その順番はMEDIS標準病名集で定義されている修飾語テーブルの「接続位置区分」の規程に従った並び順にする。

ZPR-2 病名管理番号 (CWE) ZP002

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST) ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは病名管理番号を含んでいる。

ZPR-3 修飾語管理番号 (接尾語) (CWE) ZP003

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST) ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、MEDIS標準病名を利用する場合は、接尾語の修飾語管理番号を含んでいる。修飾語が複数存在する場合は、繰り返しを利用するが、その順番はMEDIS標準病名集で定義されている修飾語テーブルの「接続位置区分」の規程に従った並び順にする。

ZPR-4 修飾語交換用コード（接頭語）（CWE） ZP004

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、MEDIS標準病名集で規定された接頭語の修飾語交換用コードを含んでいる。修飾語が複数存在する場合は、繰り返しを利用するが、その順番はMEDIS標準病名集で定義されている修飾語テーブルの「接続位置区分」の規程に従った並び順にする。

ZPR-5 病名管理番号（CWE） ZP005

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドはMEDIS標準病名集で規定された病名交換用コードを含んでいる。

ZPR-6 修飾語交換用コード（接尾語）（CWE） ZP006

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、MEDIS標準病名集で規定された接尾語の修飾語交換用コードを含んでいる。修飾語が複数存在する場合は、繰り返しを利用するが、その順番はMEDIS標準病名集で定義されている修飾語テーブルの「接続位置区分」の規程に従った並び順にする。

ZPR-7 コメント（ST） ZP007

定義：このフィールドは、病名に付随するコメントを含んでいる。

付録－ 1. 患者情報通知のメッセージ例

(1) 患者情報（基本情報・緊急連絡先・勤務先）の更新

項目名	項目値	備考
患者 ID	12345678	
漢字氏名	山田 太郎	
カナ氏名	ヤマダ タロウ	
生年月日	1965/4/15	
性別	男	
住所	東京都港区虎ノ門 1 丁目 1 9 番 9 号	
郵便番号	105-0001	
電話番号	03-3506-8010	
Email アドレス	taro@jahis.jp	
緊急連絡先	氏名：山田 次郎 住所：東京都千代田区永田町 1 丁目 7 - 1 郵便番号：100-0014 電話番号：03-3581-5111	
勤務先	名称：A B C D E F G 商事(株) 住所：東京都新宿区西新宿 2 丁目 8 - 1 郵便番号：163-8001 電話番号：03-5321-1111	

```
MSH|^~\&|SEND||RECEIVE||20070902171523||ADT^A08^ADT_A01|20070902171523|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID||12345678^^^PI||山田^太郎^^^^L^|~ヤマダ^タロウ^^^^L^P||19650415|M||東京都港区虎ノ門 1 丁
目 1 9 番 9 号^^^1050001^^H~東京都新宿区西新宿2丁目 8 - 1
^^^1688001^^B||03-5321-1111^PRN^PH^taro@jahis.jp|03-5321-1111^WPN^PH<CR>
NK1|1|山田^次郎^^^^L^|EMC^緊急連絡先^HL70063|東京都千代田区永田町 1 丁目 7 - 1
^^^1000014^^H|03-3581-5111^PRN^PH<CR>
NK1|2|山田^太郎^^^^L^|~ヤマダ^タロウ^^^^L^P|SEL^本人^HL70063|東京都港区虎ノ門 1 丁目 1 9 番 9
号^^^1050001^^H~東京都新宿区西新宿2丁目 8 - 1
^^^1638001^^B|03-3506-8010^PRN^PH^taro@jahis.jp|03-5321-1111^WPN^PH|||||A B C D E F G 商事
(株)^D<CR>
PV1||N<CR>
<EOM>
```

■ MSHセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20070902171523	
9	メッセージ型	ADT^A08^ADT_A01	
10	メッセージ制御 ID	20070902171523	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PIDセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	12345678^^^PI	患者 ID

5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	患者名
7	生年月日	19650415	生年月日
8	性別	M	性別
11	患者住所	東京都港区虎ノ門1丁目19番9号^^^^1050001^^H ~東京都新宿区西新宿2丁目8-1^^^^1638001^^B	患者住所 勤務先住所
13	電話番号—自宅	03-3506-8010^PRN^PH^taro@jahis.jp	自宅電話番号 E-mail アドレス
14	電話番号—勤務先	03-5321-1111^WPN^PH	勤務先電話番号

■ NK1セグメント (緊急連絡先)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID-NK1	1	
2	氏名	山田^次郎^^^^L^I	緊急連絡先氏名
3	続柄	EMC^緊急連絡先^HL70063	
4	住所	東京都千代田区永田町1丁目7-1^^^^1000014^^H	緊急連絡先住所
5	電話番号	03-3581-5111^PRN^PH	緊急連絡先電話番号

■ NK1セグメント (勤務先)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID-NK1	2	
2	氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	患者氏名
3	続柄	SEL^本人^HL70063	
4	住所	東京都港区虎ノ門1丁目19番9号^^^^1050001^^H ~東京都新宿区西新宿2丁目8-1^^^^1638001^^B	患者住所 勤務先住所
5	電話番号	03-3506-8010^PRN^PH^taro@jahis.jp	自宅電話番号 E-mail アドレス
6	勤務先電話番号	03-5321-1111^WPN^PH	勤務先電話番号
13	所属組織名	A B C D E F G 商事(株)^D	勤務先名称

(2) 患者情報 (感染症・血型) の更新

項目名	項目値	備考
患者 ID	12345678	
漢字氏名	山田 太郎	
カナ氏名	ヤマダ タロウ	
生年月日	1965/4/15	
性別	男	
感染症・因子#1	因子コード : 5H010000001810114 因子名 : 血液型-ABO 式 検査結果 : AB 検査日 : 2007/08/15	
感染症・因子#2	因子コード : 5H020000001810111 因子名 : 血液型-Rh(D)因子 検査結果 : + 検査日 : 2007/08/15	
感染症・因子#3	因子コード : 6B050000006474211 因子名 : MRSA 検査結果 : + 検査日 : 2007/08/22	
感染症・因子#4	因子コード : 5F015144002383111 因子名 : HB 検査結果 : - 検査日 : 2007/08/22	
感染症・因子#5	因子コード : 5F500143000000011 因子名 : HIV 検査結果 : - 検査日 : 2007/08/22	

```
MSH|^~\&|SEND|RECEIVE||20070902171523||ADT^A08^ADT_A01|20070902171523|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID||12345678^P||山田^太郎^L^I~ヤマダ^タロウ^L^P||19650415|M<CR>
PV1||N<CR>
OBX|1|ST|5H010000001810114^血液型-ABO式^JC10|1|AB||||F||20070815<CR>
OBX|2|ST|5H020000001810111^血液型-Rh(D)因子^JC10|2|+||||F||20070815<CR>
OBX|3|ST|6B050000006474211^MRSA^JC10|3|+||||F||20070822<CR>
OBX|4|ST|5F015144002383111^HB^JC10|4|-||||F||20070822<CR>
OBX|5|ST|5F500143000000011^HIV^JC10|5|-||||F||20070822<CR>
<EOM>
```

■ MSHセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20070902171523	
9	メッセージ型	ADT^A08^ADT_A01	
10	メッセージ制御 ID	20070902171523	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PIDセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	12345678^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	患者漢字氏名、カナ氏名
7	生年月日	19650415	生年月日
8	性別	M	性別

■ PV1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	N	

■ OBXセグメント (血液型-ABO式)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	結果値タイプ	ST	
3	検査項目	5H010000001810114^血液型-ABO 式^JC10	因子コード、因子名
4	検査サブ ID	1	
5	結果値	AB	検査結果
11	検査結果状態	F	
14	検査日時	20070815	検査日

■ OBXセグメント(血液型-Rh(D)因子)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	2	
2	結果値タイプ	ST	
3	検査項目	5H020000001810111^血液型-Rh(D)因子^JC10	因子コード、因子名
4	検査サブ ID	2	
5	結果値	+	検査結果
11	検査結果状態	F	
14	検査日時	20070815	検査日

■ OBXセグメント (MRSA)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	3	
2	結果値タイプ	ST	
3	検査項目	6B050000006474211^MRSA^JC10	因子コード、因子名
4	検査サブ ID	3	
5	結果値	+	検査結果
11	検査結果状態	F	
14	検査日時	20070822	検査日

■ OBXセグメント (HB)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	4	
2	結果値タイプ	ST	
3	検査項目	5F015144002383111^HB^JC10	因子コード、因子名
4	検査サブ ID	4	

5	結果値	-	検査結果
11	検査結果状態	F	
14	検査日時	20070822	検査日

■ OBXセグメント (HIV)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	5	
2	結果値タイプ	ST	
3	検査項目	5F500143000000011^HIV^JC10	因子コード、因子名
4	検査サブ ID	5	
5	結果値	-	検査結果
11	検査結果状態	F	
14	検査日時	20070822	検査日

(3) アレルギー情報の更新

項目名	項目値	備考
患者 ID	12345678	
漢字氏名	山田 太郎	
カナ氏名	ヤマダ タロウ	
生年月日	1965/4/15	
性別	男	
アレルギー#1	種別：花粉 対象：スギ花粉(5A1002216023023) 発現日：1996/01 症状：目のかゆみ	
アレルギー#2	種別：食物 対象：ソバ (5A1002411023006) 発現時期：小学校低学年の頃 症状：湿疹	
アレルギー#3	種別：環境 対象：ハウスダスト (5A1102700023023) 発現日：2003/02 症状：くしゃみ	
アレルギー#4	種別：薬剤 対象：アリナミン(106824501) 発現日：2007/07/10 消失日：2007/08/30 症状：のどの渇きが止まらない	

```
MSH|^~\&|SEND|RECEIVE|20070902171523|ADT^A60^ADT_A60|20070902171523|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID||12345678^^^^PI||山田^太郎^^^^L^~ヤマダ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>
IAM|1|LA^花粉アレルギー^HL70127|5A1002216023023^スギ^JC10|Y^あり^HL70136|目のかゆみ|A^追加
^HL70323||||199601<CR>
IAM|2|FA^食物アレルギー^HL70127|5A1002411023006^ソバ^JC10|Y^あり^HL70136|湿疹|A^追加
^HL70323||||小学校低学年の頃<CR>
IAM|3|EA^環境アレルギー^HL70127|5A1102700023023^ハウスダスト^JC10|Y^あり^HL70136|くしゃみ
|A^追加^HL70323||||200302<CR>
IAM|4|DA^薬剤アレルギー^HL70127|106824501^アリナミン^HOT9|Y^あり^HL70136|のどの渇きが止ま
らない|A^追加^HL70323||||20070710^20070830<CR>
<EOM>
```

■ MSHセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20070902171523	
9	メッセージ型	ADT^A60^ADT_A60	
10	メッセージ制御 ID	20070902171523	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PIDセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	12345678^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	患者漢字氏名、カナ氏名
7	生年月日	19650415	生年月日
8	性別	M	性別

■ IAMセグメント (スギ花粉)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- IAM	1	
2	アレルゲン分類	LA^花粉アレルギー^HL70127	種別
3	アレルゲン情報	5A1002216023023^スギ^JC10	アレルギー対象
4	アレルギー重症度	Y^あり^HL70136	
5	アレルギー反応情報	目のかゆみ	症状
6	アレルギーアクションコード	A^追加^HL70323	
11	アレルギー発症日	199601	発現日

■ IAMセグメント (ソバ)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- IAM	2	
2	アレルゲン分類	FA^食物アレルギー^HL70127	種別
3	アレルゲン情報	5A1002411023006^ソバ^JC10	アレルギー対象
4	アレルギー重症度	Y^あり^HL70136	
5	アレルギー反応情報	湿疹	症状
6	アレルギーアクションコード	A^追加^HL70323	
12	アレルギー発症時期	小学校低学年の頃	発現時期

■ IAMセグメント (ハウスダスト)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- IAM	3	
2	アレルゲン分類	EA^環境アレルギー^HL70127	種別
3	アレルゲン情報	5A1102700023023^ハウスダスト^JC10	アレルギー対象
4	アレルギー重症度	Y^あり^HL70136	
5	アレルギー反応情報	くしゃみ	症状
6	アレルギーアクションコード	A^追加^HL70323	
11	アレルギー発症日	200302	発現時期

■ IAMセグメント (アリナミン)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- IAM	4	
2	アレルゲン分類	DA^薬剤アレルギー^HL70127	種別
3	アレルゲン情報	106824501^アリナミン^HOT9	アレルギー対象
4	アレルギー重症度	Y^あり^HL70136	
5	アレルギー反応情報	のどの渇きが止まらない	症状
6	アレルギーアクションコード	A^追加^HL70323	
11	アレルギー発症日	20070710^20070830	発現日、消失日

(4) 保険情報の更新

項目名		項目値
患者 ID		12345678
漢字氏名		山田 太郎
カナ氏名		ヤマダ タロウ
生年月日		1965/4/15
性別		男
保険 #1	種別・県番号	政府管掌健康保険(01) 東京都(01)
	保険者の番号 および識別	東京社会保険事務局・政管健 保(2111)
	保険会社名称	港社会保険事務所
	保険番号	1 2 3 4 5 6
	保険記号	港 (2)
	保険給付率	30%
保険 #2	種別・県番号	自立支援法 更正医療(15)
	保険者の番号 および識別	15138092
	保険番号	1626605
	公費：県番号	13
	保険給付率	90%
	月上限金額	37,200 円

項目名		項目値
保険 #3	種別・県番号	心身障害者(80)
	保険者の番号 および識別	80137094
	保険番号	9551409
	公費：県番号	13
	保険給付率	100%
	月上限金額	0 円
全保険共通	有効開始日	2007/04/01
	有効終了日	2008/03/31
	被保険者名	山田 太郎
	保険契約者との 関係	本人
	被保険者生年月日	1965/4/151961/2/3
	被保険者住所	105-0001 東京都港区虎ノ門 1 - 1 9 - 9

```
MSH|^~\&|SEND||RECEIVE||20070902171523||ADT^A08^ADT_A01|20070902171523|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID||12345678^P||山田^太郎^L^~ヤマダ^タロウ^P||19650415|M<CR>
PV1||N<CR>
IN1|1|01^政府管掌健康保険^JHSD0001|2111|港社会保険事務所|||1 2 3 4 5 6|港 ( 2 )
|20070401|20080331|13|山田^太郎^L^|SEL^本人^HL70063|19650415|東京都港区虎ノ門 1 - 1 9 -
9 ^^^1050001||70<CR>
IN1|2|15^自立支援法 更正医療^JHSD0001|15138092|||1626605||20070401|20080331||13|山田^太郎
^^^L^|SEL^本人^HL70063|19650415|東京都港区虎ノ門 1 - 1 9 - 9
^^^1050001||90|||||37200^E<CR>
IN1|3|80^心身障害者^JHSD0001|80137094|||9551409||20070401|20080331||13|山田^太郎
^^^L^|SEL^本人^HL70063|19650415|東京都港区虎ノ門 1 - 1 9 - 9 ^^^1050001||MX|||||0^
E<CR>
<EOM>
```

■ MSHセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20070902171523	
9	メッセージ型	ADT^A08^ADT_A01	
10	メッセージ制御 ID	20070902171523	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PIDセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	12345678^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	患者漢字氏名、カナ氏名
7	生年月日	19650415	生年月日
8	性別	M	性別

■ PV1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	N	

■ IN1セグメント (政府管掌健康保険)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - IN1	1	
2	保険プラン ID	01^政府管掌健康保険^JHSD0001	保険種別
3	保険会社 I D	2111	保険 (者) 番号
4	保険者の名称	港社会保険事務所	保険会社名称
10	被保険者 番号	1 2 3 4 5 6	被保険者番号
11	被保険者 記号	港 (2)	保険記号
12	保険有効開始日 (プラン有効日付)	20070401	有効開始日
13	保険有効終了日 (プラン失効日付)	20080331	有効終了日
15	プランタイプ	13	県番号
16	被保険者名	山田^太郎^^^^L^I	被保険者名
17	保険契約者名との関係 (続柄)	SEL^本人^HL70063	保険契約者との関係
18	被保険者生年月日	19650415	被保険者生年月日
19	被保険者住所	東京都港区虎ノ門 1 - 1 9 - 9^^^^1050001	被保険者住所
21	保険の負担割合	70	保険給付率

■ IN1セグメント (自立支援法 更正医療)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - IN1	2	
2	保険プラン ID	15^自立支援法 更正医療^JHSD0001	保険種別
3	保険会社 I D	15138092	保険 (者) 番号
10	被保険者 番号	1626605	被保険者番号
12	保険有効開始日 (プラン有効日付)	20070401	有効開始日
13	保険有効終了日 (プラン失効日付)	20080331	有効終了日
15	プランタイプ	13	県番号
16	被保険者名	山田^太郎^^^^L^I	被保険者名
17	保険契約者名との関係 (続柄)	SEL^本人^HL70063	保険契約者との関係
18	被保険者生年月日	19650415	被保険者生年月日
19	被保険者住所	東京都港区虎ノ門 1 - 1 9 - 9^^^^1050001	被保険者住所

21	保険の負担割合	90	保険給付率
38	上限金額(限度額ポリシー)	37200^□E	月上限金額

■ IN1セグメント (心身障害者)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - IN1	3	
2	保険プラン ID	80^心身障害者^JHSD0001	保険種別
3	保険会社 I D	80137094	保険 (者) 番号
10	被保険者 番号	9551409	被保険者番号
12	保険有効開始日(プラン有効日付)	20070401	有効開始日
13	保険有効終了日(プラン失効日付)	20080331	有効終了日
15	プランタイプ	13	県番号
16	被保険者名	山田^太郎^L^	被保険者名
17	保険契約者名との関係(続柄)	SEL^本人^HL70063	保険契約者との関係
18	被保険者生年月日	19650415	被保険者生年月日
19	被保険者住所	東京都港区虎ノ門 1 - 1 9 - 9 ^^^^1050001	被保険者住所
21	保険の負担割合	MX	保険給付率
38	上限金額(限度額ポリシー)	0^□E	月上限金額

付録－２． 病名情報通知のメッセージ例

(1) 標準病名集の標準病名のみ

項目名	項目値	備考
病名	胃炎	
病名コード	20054174(胃炎)	
病名交換用コード	TSQF	
修飾語コード		
修飾語交換用コード		
修飾語コード		
修飾語交換用コード		
修飾語コード		
修飾語交換用コード		
ICD-10	K297	
転帰区分	回復せず	
保険種別	01	
管理番号	123456789012345	
版数	01	
診断日	2006/12/31	
開始日	2006/12/31	
転帰日	2007/1/15	
終了日	2007/1/15	
更新日時	2007/1/15	
診断種別	外来時	
主病名		
コメント		

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

PRB|AD|20070115|20054174^胃炎^MDCDX2|123456789012345|||20061231||20070115|K297^^I10^O^外来時^JHSD0004|||N^回復せず^HL70241|20070115|20061231|胃炎|1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定^HL70177<CR>

ZPR||20054174^胃炎^MDCDX2||TSQF^胃炎^MDCDX2<CR>

ZI1|1|01^政府管掌健康保険^JHSD0001|2111|港社会保険事務所|||123456|港(2)|20060401|20070331|20070401|13||SEL^本人^HL70063|19650415|東京都港区虎ノ門1-19-9^^^1050001||70<CR>

ORC|NW|123456789012345_01|||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^~^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^~^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^P|||01^内科^L|||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>

<EOM>

■ PRBセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	アクションコード	AD	
2	アクション日付/時刻	20070115	更新日時
3	プロブレムID	20054174^胃炎^MDCDX2	病名管理番号
4	プロブレムインスタンスID	123456789012345	管理番号

7	プロブレムを設定した日付/時刻	20061231	診断日
9	実際のプロブレム解決日付/時刻	20070115	終了日
10	プロブレム分類	K297^I10^O^外来時 ^JHSD0004	診断種別名・ICD-10
14	プロブレムのライフサイクル状態	N^回復せず^HL70241	転帰区分
15	プロブレムのライフサイクル状態の日付/時刻	20070115	転帰日
16	プロブレムの発生日付	20061231	開始日
17	プロブレムの発生テキスト	胃炎	病名
18	プロブレムのランキング	1^主診断^JHSD0007	病名区分
25	安全保護/感度	V^非常に限定^HL70177	機密保護サイン

■ ZPRセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	病名コード	20054174^胃炎^MDCDX2	病名管理番号
5	病名交換用コード	TSQF^胃炎^MDCDX2	病名交換用コード

■ ZI1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID - ZI1	1	セットID (セット連番)
2	保険プランID	01^政府管掌健康保険 ^JHSD0001	保険プランID (保険種別)
3	保険会社ID	2111	保険者の番号 及び 保険者の識別
4	保険者の名称	港社会保険事務所	保険者の名称
10	被保険者番号	123456	被保険者番号
11	被保険者記号	港(2)	被保険者記号
12	保険有効開始日(プラン有効日付)	20060401	保険有効開始日(プラン有効日付)
13	保険有効終了日(プラン失効日付)	20070331	保険有効終了日(プラン失効日付)
15	プランタイプ	13	プランタイプ
17	保険契約者名との関係(続柄)	SEL^本人^HL70063	保険契約者名との関係
18	被保険者生年月日	19650415	被保険者生年月日
19	被保険者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9 ^^^1050001	被保険者住所
21	保険の負担割合	70	保険の負担割合

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345_01	<オーダ番号>_<版数(オーダ番号)>
10	入力者	123456^山田^太郎 ^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^P	更新者
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎 ^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^P	診断医

17	入力組織	01^内科^L	診療科
29	オーダータイプ	O^外来患者オーダー^HL70482	入外区分

(2) 標準病名集の修飾語+病名

項目名	項目値	備考
病名	過敏性大腸炎の初期疾患	
病名コード	20069737 (大腸炎)	
病名交換用コード	VSES(大腸炎)	
修飾語コード	27000267 (過敏性)	
修飾語交換用コード	3216 (過敏性)	
修飾語コード	27000027 (の初期)	
修飾語交換用コード	1111 (の初期)	
修飾語コード	27001344 (疾患)	
修飾語交換用コード	08MV (疾患)	
ICD-10	A09	
転帰区分	未知	
保険種別	01	
管理番号	123456789023456	
版数	01	
診断日	2007/2/28	
開始日	2007/2/28	
転帰日	2007/3/7	
終了日	2007/3/7	
更新日時	2007/3/7	
診断種別	外来時	
主病名		
コメント		

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

PRB|AD|20070307|20069737^大腸炎^MDCDX2|123456789023456|||20070228||20070307|A09^^I10^O^
 外来時^JHSD0004|||U^未知^HL70241|20070307|20070228|過敏性大腸炎の初期疾患|1^主診断
 ^JHSD0007|||V^非常に限定^HL70177<CR>

ZPR|27000267^過敏性^MDCDX2|20069737^大腸炎^MDCDX2|27000027^の初期^MDCDX2~27001344^
 疾患^MDCDX2|3216^過敏性^MDCDX2|VSES^大腸炎^MDCDX2|1111^の初期^MDCDX2~08MV^疾患
 ^MDCDX2<CR>

Z11|1|01^政府管掌健康保険^JHSD0001|2111|港社会保険事務所|||123456|港(2)
 |20060401|20070331|20070401|13||SEL^本人^HL70063|19650415|東京都港区虎ノ門1-19-9
 ^^^1050001||70<CR>

ORC|NW|123456789023456_01|||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^~^ヤマダ^タロウ
 ^^^^^L^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^~^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^P|||01^内科^L|||||||O^
 外来患者オーダ^HL70482<CR>
 <EOM>

■ PRBセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	アクションコード	AD	
2	アクション日付/時刻	20070307	更新日時
3	プロブレム ID	20069737^大腸炎^MDCDX2	病名管理番号
4	プロブレムインスタンス ID	123456789023456	管理番号
7	プロブレムを設定した日付/時刻	20070228	診断日

9	実際のプロブレム解決日付/時刻	20070307	終了日
10	プロブレム分類	A09^I10^O^外来時^JHSD0004	診断種別名・ICD-10
13	プロブレムの確認状態		疑い病名フラグ
14	プロブレムのライフサイクル状態	U^未知^HL70241	転帰区分
15	プロブレムのライフサイクル状態の日付/時刻	20070307	転帰日
16	プロブレムの発生日付	20070228	開始日
17	プロブレムの発生テキスト	過敏性大腸炎の初期疾患	病名
18	プロブレムのランキング	1^主診断^JHSD0007	病名区分
25	安全保護/感度	V^非常に限定^HL70177	機密保護サイン

■ ZPRセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	修飾語コード (接頭語)	27000267^過敏性^MDCDX2	修飾語管理番号
2	病名コード	20069737^大腸炎^MDCDX2	病名管理番号
3	修飾語コード (接尾語)	27000027^の初期^ ^MDCDX2~27001344^疾患 ^MDCDX2	修飾語管理番号
4	修飾語交換用コード (接頭語)	3216^過敏性^MDCDX2	修飾語交換用コード
5	病名交換用コード	VSES^大腸炎^MDCDX2	病名交換用コード
6	修飾語交換用コード (接尾語)	1111^の初期^MDCDX2~08MV^ 疾患^MDCDX2	修飾語交換用コード

■ ZI1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - ZI1	1	セット ID (セット連番)
2	保険プラン ID	01^政府管掌健康保険 ^JHSD0001	保険プラン ID (保険種別)
3	保険会社 ID	2111	保険者の番号 及び 保険者の識別
4	保険者の名称	港社会保険事務所	保険者の名称
10	被保険者 番号	123456	被保険者 番号
11	被保険者 記号	港 (2)	被保険者 記号
12	保険有効開始日 (プラン有効日付)	20060401	保険有効開始日 (プラン有効日付)
13	保険有効終了日 (プラン失効日付)	20070331	保険有効終了日 (プラン失効日付)
15	プランタイプ	13	プランタイプ
17	保険契約者名との関係 (続柄)	SEL^本人^HL70063	保険契約者名との関係
18	被保険者生年月日	19650415	被保険者生年月日
19	被保険者住所	東京都港区虎ノ門 1-19-9 ^^^1050001	被保険者住所
21	保険の負担割合	70	保険の負担割合

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	
2	依頼者オーダー番号	123456789023456_01	<オーダー番号>_<版数 (オーダー番号)>

10	入力者	123456^山田^太郎 ^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^P	更新者
12	オーダー発行者	123456^山田^太郎 ^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^P	診断医
17	入力組織	01^内科^L	診療科
21	オーダー施設名		医療機関 ID
29	オーダータイプ	O^外来患者オーダー^HL70482	入外区分

(3) 疑い病名

項目名	項目値	備考
病名	盲腸炎の疑い	
病名コード	20077010 (盲腸炎)	
病名交換用コード	J62J (盲腸炎)	
修飾語コード	27000001 (の疑い)	
修飾語交換用コード	5395 (の疑い)	
修飾語コード		
修飾語交換用コード		
修飾語コード		
修飾語交換用コード		
ICD-10	K592	
転帰区分		
保険種別	01	
管理番号	123456789034567	
版数	01	
診断日	2007/4/10	
開始日	2007/4/10	
転帰日		
終了日		
更新日時	2007/4/10	
診断種別	外来時	
疑い病名フラグ	疑いあり	
コメント	継続的な観察が必要	

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

PRB|AD|20070410|20077010^盲腸炎^MDCDX2|123456789034567|||20070410|||K592^^10^O^外来時
^JHSD0004|||1^疑いあり^JHSD0005|||20070410|盲腸炎の疑い|1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定
^HL70177<CR>

ZPR||20077010^盲腸炎^MDCDX2|27000001^の疑い^MDCDX2|J62J^盲腸炎^MDCDX2|5395^の疑い
^MDCDX2|継続的な観察が必要<CR>

ZI1|1|01^政府管掌健康保険^JHSD0001|2111|港社会保険事務所|||123456|港(2)
|20060401|20070331|20070401|13||SEL^本人^HL70063|19650415|東京都港区虎ノ門1-19-9
^^^1050001||70<CR>

ORC|NW|123456789034567_01|||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^~^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^~^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^^P|||01^内科^L|||||O^
外来患者オーダ^HL70482<CR>

<EOM>

■ PRBセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	アクションコード	AD	
2	アクション日付/時刻	20070410	更新日時
3	プロブレムID	20077010^盲腸炎^MDCDX2	病名管理番号
4	プロブレムインスタンスID	123456789034567	管理番号
7	プロブレムを設定した日付/時刻	20070410	診断日

10	プロブレム分類	K592^^\10^O^外来時 ^JHSD0004	診断種別名・ICD-10
13	プロブレムの確認状態	1^疑いあり^JHSD0005	疑い病名フラグ
16	プロブレムの発生日付	20070410	開始日
17	プロブレムの発生テキスト	盲腸炎の疑い	病名
18	プロブレムのランキング	1^主診断^JHSD0007	病名区分
25	安全保護/感度	V^非常に限定^HL70177	機密保護サイン

■ ZPRセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	病名コード	20077010^盲腸炎^MDCDX2	病名管理番号
3	修飾語コード (接尾語)	27000001^の疑い^MDCDX2	修飾語管理番号
5	病名交換用コード	J62J^盲腸炎^MDCDX2	病名交換用コード
6	修飾語交換用コード (接尾語)	5395^の疑い^MDCDX2	修飾語交換用コード
7	コメント	継続的な観察が必要	コメント

■ ZI1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - ZI1	1	セット ID (セット連番)
2	保険プラン ID	01^政府管掌健康保険 ^JHSD0001	保険プラン ID (保険種別)
3	保険会社 ID	2111	保険者の番号 及び 保険者の識別
4	保険者の名称	港社会保険事務所	保険者の名称
10	被保険者 番号	123456	被保険者 番号
11	被保険者 記号	港 (2)	被保険者 記号
12	保険有効開始日 (プラン有効日付)	20060401	保険有効開始日 (プラン有効日付)
13	保険有効終了日 (プラン失効日付)	20070331	保険有効終了日 (プラン失効日付)
15	プランタイプ	13	プランタイプ
17	保険契約者名との関係 (続柄)	SEL^本人^HL70063	保険契約者名との関係
18	被保険者生年月日	19650415	被保険者生年月日
19	被保険者住所	東京都港区虎ノ門 1-19-9 ^^^1050001	被保険者住所
21	保険の負担割合	70	保険の負担割合

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789034567_01	<オーダ番号>_<版数 (オーダ番号)>
10	入力者	123456^山田^太郎 ^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^P	更新者
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎 ^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^P	診断医
17	入力組織	01^内科^L	診療科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

(4) 主病名、副病名混在

項目名	項目値	備考
主病名	高血圧症	
病名コード	20061593 (高血圧症)	
病名交換用コード	UHGQ (高血圧症)	
ICD-10	I10	
副病名	糖尿病	
病名コード	20071549 (糖尿病)	
病名交換用コード	EM7Q (糖尿病)	
ICD-10	A09	
転帰区分		
保険種別	01	
管理番号	123456789045678	
版数	01	
診断日	2007/12/28	
開始日	2007/12/28	
転帰日		
終了日		
更新日時	2007/12/28	
診断種別	入院時	
疑い病名フラグ		
コメント		

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

PRB|AD|20071228|20061593^高血圧症^MDCDX2|123456789045678|||20071228|||10^^10^|^入院時
^JHSD0004|||||20071228|高血圧症|1^主診断^JHSD0007|||||V^非常に限定^HL70177<CR>

ZPR||20061593^高血圧症^MDCDX2||UHGQ^高血圧症^MDCDX2<CR>

ZI1|1|01^政府管掌健康保険^JHSD0001|2111|港社会保険事務所|||||123456|港(2)
|20060401|20070331|20070401|13||SEL^本人^HL70063|19650415|東京都港区虎ノ門1-19-9
^^^1050001||70<CR>

ORC|NW|123456789045678_01|||||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^~^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^~^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^P|||||01^内科^L|||||||||^
入院患者オーダ^HL70482<CR>

PRB||||AD|20071228|20071549^糖尿病^MDCDX2|123456789045678|||20071228|||A09^^10^|^入院時
^JHSD0004|||||20071228|糖尿病|2^副診断^JHSD0007|||||V^非常に限定^HL70177<CR>

ZPR||20071549^糖尿病^MDCDX2||EM7Q^糖尿病^MDCDX2<CR>

ZI1|1|01^政府管掌健康保険^JHSD0001|2111|港社会保険事務所|||||123456|港(2)
|20060401|20070331|20070401|13||SEL^本人^HL70063|19650415|東京都港区虎ノ門1-19-9
^^^1050001||70<CR>

ORC|NW|123456789045678_01|||||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^~^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^~^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^P|||||01^内科^L|||||||||^
入院患者オーダ^HL70482<CR>

<EOM>

■ PRBセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	アクションコード	AD	

2	アクション日付/時刻	20071228	更新日時
3	プロブレム ID	20061593^高血圧症 ^MDCDX2	病名管理番号
4	プロブレムインスタンス ID	123456789045678	管理番号
7	プロブレムを設定した日付/時刻	20071228	診断日
10	プロブレム分類	I10^I10^入院時 ^JHSD0004	診断種別名・ICD-10
16	プロブレムの発生日付	20071228	開始日
17	プロブレムの発生テキスト	高血圧症	病名
18	プロブレムのランキング	1^主診断^JHSD0007	病名区分
25	安全保護/感度	V^非常に限定^HL70177	機密保護サイン

■ ZPRセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	病名コード	20061593^高血圧症 ^MDCDX2	病名管理番号
5	病名交換用コード	UHQ^高血圧症^MDCDX2	病名交換用コード

■ ZI1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - ZI1	1	セット ID (セット連番)
2	保険プラン ID	01^政府管掌健康保険 ^JHSD0001	保険プラン ID (保険種別)
3	保険会社 ID	2111	保険者の番号 及び 保険者の識別
4	保険者の名称	港社会保険事務所	保険者の名称
10	被保険者 番号	123456	被保険者 番号
11	被保険者 記号	港 (2)	被保険者 記号
12	保険有効開始日(プラン有効日付)	20060401	保険有効開始日 (プラン有効日付)
13	保険有効終了日(プラン失効日付)	20070331	保険有効終了日 (プラン失効日付)
15	プランタイプ	13	プランタイプ
17	保険契約者名との関係 (続柄)	SEL^本人^HL70063	保険契約者名との関係
18	被保険者生年月日	19650415	被保険者生年月日
19	被保険者住所	東京都港区虎ノ門1-19 -9^1050001	被保険者住所
21	保険の負担割合	70	保険の負担割合

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789045678_01	<オーダ番号>_<版数 (オーダ番号)>
10	入力者	123456^山田^太郎 ^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^タ ロウ^^^^^^L^^^^^P	更新者
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎 ^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^タ ロウ^^^^^^L^^^^^P	診断医
17	入力組織	01^内科^L	診療科

29	オーダータイプ	I^入院患者オーダー^HL70482	入外区分
----	---------	--------------------	------

■ PRBセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	アクションコード	AD	
2	アクション日付/時刻	20071228	更新日時
3	プロブレム ID	20071549^糖尿病^MDCDX2	病名管理番号
4	プロブレムインスタンス ID	123456789045678	管理番号
7	プロブレムを設定した日付/時刻	20071228	診断日
10	プロブレム分類	A09^I10^入院時^JHSD0004	診断種別名・ICD-10
16	プロブレムの発生日付	20071228	開始日
17	プロブレムの発生テキスト	糖尿病	病名
18	プロブレムのランキング	2^副診断^JHSD0007	病名区分
25	安全保護/感度	V^非常に限定^HL70177	機密保護サイン

■ ZPRセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	病名コード	20071549^糖尿病^MDCDX2	病名管理番号
5	病名交換用コード	EM7Q^糖尿病^MDCDX2	病名交換用コード

■ ZI1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - ZI1	1	セット ID (セット連番)
2	保険プラン ID	01^政府管掌健康保険^JHSD0001	保険プラン ID (保険種別)
3	保険会社 ID	2111	保険者の番号 及び 保険者の識別
4	保険者の名称	港社会保険事務所	保険者の名称
10	被保険者 番号	123456	被保険者 番号
11	被保険者 記号	港 (2)	被保険者 記号
12	保険有効開始日 (プラン有効日付)	20060401	保険有効開始日 (プラン有効日付)
13	保険有効終了日 (プラン失効日付)	20070331	保険有効終了日 (プラン失効日付)
15	プランタイプ	13	プランタイプ
17	保険契約者名との関係 (続柄)	SEL^本人^HL70063	保険契約者名との関係
18	被保険者生年月日	19650415	被保険者生年月日
19	被保険者住所	東京都港区虎ノ門 1-19-9 ^^^^1050001	被保険者住所
21	保険の負担割合	70	保険の負担割合

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	
2	依頼者オーダー番号	123456789045678_01	<オーダー番号>_<版数 (オーダー番号)>
10	入力者	123456^山田^太郎 ^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^タ ロウ^^^^^^L^^^^^P	更新者

12	オーダー発行者	123456^山田^太郎 ^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^タ ロウ^^^^^^L^^^^^P	診断医
17	入力組織	01^内科^L	診療科
29	オーダータイプ	I^入院患者オーダー^HL70482	入外区分

付録－３． 照会・応答のメッセージ例

(1) 患者情報（基本情報）の照会

項目名	項目値	備考
照会条件	患者 ID : 2581159	受信レコード件数 : 最大 99 件
QPD-3	2581159	患者リスト

```
MSH|...<CR>
QPD|Z01^Patient Query Sample^L|Q002|2581159<CR>
RCP||99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>
<EOM>
```

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	Z01^Patient Query Sample^L	
2	照会タグ	Q002	
3	患者リスト	2581159	

■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度		
2	数量制限要求	99^RD&レコード&HL70126	
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	

(2) 患者情報 (基本情報) の応答

項目名	項目値	備考
依頼日時	20070821114323	
患者ID	2581159	
患者氏名	山田太郎	
性別	男	
生年月日	19700101	

MSH|...<CR>
 MSA|AA|8332<CR>
 QAK|Q002|OK|Z01^Patient Query Sample^L|1<CR>
 QPD|Z01^Patient Query Sample^L|Q002|2581159<CR>
 PID|||2581159^^^PI||山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P||19700101|M||東京都港区虎ノ門1丁目
 19番9号^^^1050001^^H||03-1234-5678^PRN^PH<CR>
 IN|1|01^政府管掌健康保険^JHSD0001|2111|港社会保険事務所|||123456|港(2)
 |20060401|20070331|20070401||SEL^本人^HL70063|19650415|東京都港区虎ノ門1-19-9
 ^^1050001||070801<CR>
 <EOM>

■ MSAセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	肯定応答コード	AA	
2	メッセージ制御 ID	8332	

■ QAK セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会タグ	Q002	
2	照会応答状態	OK	
3	メッセージ照会名	Z01^Patient Query Sample^L	
4	ヒットカウント合計	1	ヒットしたレコードの件数

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	Z01^Patient Query Sample^L	
2	照会 タグ	Q002	
3	患者リスト	2581159	

■ PIDセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID- PID		
2	患者ID		
3	患者IDリスト	2581159^^^PI	10バイト以内
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	第7成分(名前タイプコード)と第8成分(名前表示コード)は必須。
7	生年月日	19700101	年は西暦
8	性別	M	

■ PV1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	N	

■ IN1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID (セット連番)	1	
2	保険プランID (保険種別)	01^政府管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険者の番号 及び 保険者の識別	2111	
4	保険者の名称	港社会保険事務所	
10	被保険者 番号	123456	
11	被保険者 記号	港 (2)	
12	保険有効開始日 (プラン有効日付)	20060401	
13	保険有効終了日 (プラン失効日付)	20070331	
15	プランタイプ	13	
17	保険契約者名との関係	SEL^本人^HL70063	
18	被保険者生年月日	19650415	
19	被保険者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9 ^^^1050001	
21	保険の負担割合	70	

(3) 患者情報（アレルギー情報）の照会

項目名	項目値	備考
照会条件	患者 ID : 2581159	受信レコード件数 : 最大 99 件
QPD-3	2581159	患者リスト

MSH|...<CR>

QPD|Z01^Allergy Query Sample^L|Q002|2581159<CR>

RCP||99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>

<EOM>

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ照会名	^Allergy Query Sample^L	
2	照会タグ	Q002	
3	患者リスト	2581159	

■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度	I	
2	数量制限要求	99^RD&レコード&HL70126	
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	

(3) 患者情報（アレルギー情報）の照会

項目名	項目値	備考
照会条件	患者 ID : 2581159	受信レコード件数 : 最大 99 件
QPD-3	2581159	患者リスト

MSH|...<CR>

QPD|Z01^Allergy Query Sample^L|Q002|2581159<CR>

RCP||99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>

<EOM>

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	^Allergy Query Sample^L	
2	照会タグ	Q002	
3	患者リスト	2581159	

■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度	I	
2	数量制限要求	99^RD&レコード&HL70126	
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	

(4) 患者情報 (アレルギー情報情報) の応答

項目名	項目値	備考
依頼日時	20070821114323	
患者ID	2581159	
患者氏名	山田太郎	
性別	男	
生年月日	19700101	
アレルギー#1	種別：花粉 対象：スギ花粉(5A1002216023023) 発現日：1996/01 症状：目のかゆみ	
アレルギー#2	種別：食物 対象：ソバ (5A1002411023006) 発現時期：小学校低学年の頃 症状：湿疹	
アレルギー#3	種別：環境 対象：ハウスダスト (5A1102700023023) 発現日：2003/02 症状：くしゃみ	
アレルギー#4	種別：薬剤 対象：アリナミン(106824501) 発現日：2007/07/10 消失日：2007/08/30 症状：のどの渇きが止まらない	

```
MSH|...<CR>
MSA|AA|8332<CR>
QAK|Q002|OK|Z01^Allergy Query Sample^L|4<CR>
QPD|Z01^Allergy Query Sample^L|Q002|2581159<CR>
PID|||2581159^P|| 山 田 ^ 太 郎 ^~~~~L^|~ ヤ マ ダ ^ タ ロ ウ
~~~~L^P||19700101|M|||03-1234-5678^PRN^PH<CR>
IAM||1|LA^花粉アレルギー^HL70127|5A1002216023023^スギ^JC10|Y^あり^HL70136|目のかゆみ|A^追
加^HL70323|199601<CR>
IAM||2|FA^食物アレルギー^HL70127|5A1002411023006^ソバ^JC10|Y^あり^HL70136|湿疹|A^追
加^HL70323|小学校低学年の頃<CR>
IAM||3|EA^環境アレルギー^HL70127|5A1102700023023^ハウスダスト^JC10|Y^あり^HL70136|くしゃみ
|A^追加^HL70323|200302<CR>
IAM||4|DA^薬剤アレルギー^HL70127|106824501^アリナミン^HOT9|Y^あり^HL70136|のどの渇きが止ま
らない|A^追加^HL70323|20070710^20070830<CR>
<EOM>
```

■ MSAセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	肯定応答コード	AA	
2	メッセージ制御 ID	8332	

■ QAK セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会タグ	Q002	

2	照会応答状態	OK	
3	メッセージ照会名	Z01^Allergy Query Sample^L	
4	ヒットカウント合計	4	ヒットしたレコードの件数

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	Z01^Allergy Query Sample^L	
2	照会 タグ	Q002	
3	患者リスト	2581159	

■ PIDセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- PID	1	
3	患者 ID リスト	2581159^^^^PI	
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	第7成分（名前タイプコード）と第8成分（名前表示コード）は必須。
7	生年月日	19700101	年は西暦
8	性別	M	

■ IAMセグメント (スギ花粉)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- IAM	1	
2	アレルゲン分類	LA^花粉アレルギー^HL70127	種別
3	アレルゲン情報	5A1002216023023^スギ^JC10	
4	アレルギー重症度	Y^あり^HL70136	
5	アレルギー反応情報	目のかゆみ	症状
6	アレルギーアクションコード	A^追加^HL70323	
11	アレルギー発症日	199601	

■ IAMセグメント (ソバ)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- IAM	2	
2	アレルゲン分類	FA^食物アレルギー^HL70127	種別
3	アレルゲン情報	5A1002411023006^ソバ^JC10	
4	アレルギー重症度	Y^あり^HL70136	
5	アレルギー反応情報	湿疹	症状
6	アレルギーアクションコード	A^追加^HL70323	
12	アレルギー発症時期	小学校低学年の頃	

■ IAMセグメント (ハウスダスト)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- IAM	3	
2	アレルゲン分類	EA^環境アレルギー^HL70127	種別
3	アレルゲン情報	5A1102700023023^ハウスダスト^JC10	
4	アレルギー重症度	Y^あり^HL70136	
5	アレルギー反応情報	くしゃみ	症状
6	アレルギーアクションコード	A^追加^HL70323	

11	アレルギー発症日	200302	
----	----------	--------	--

■ IAMセグメント (アリナミン)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- IAM	4	
2	アレルギー分類	DA^薬剤アレルギー^HL70127	種別
3	アレルギー情報	106824501^アリナミン^HOT9	アレルギー対象
4	アレルギー重症度	Y^あり^HL70136	
5	アレルギー反応情報	のどの渇きが止まらない	症状
6	アレルギーアクションコード	A^追加^HL70323	

(5) 病名情報の照会

項目名	項目値	備考
照会条件	患者 ID : 2581159	受信レコード件数 : 最大 99 件
QPD-3	2581159	患者リスト

MSH|...<CR>

QPD|Z01^Patient disease Query Sample^L|Q002|2581159<CR>

RCP||99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>

<EOM>

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	Z01^Patient disease Query Sample^L	
2	照会タグ	Q002	
3	患者リスト	2581159	

■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度		
2	数量制限要求	99^RD&レコード&HL70126	
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	

(6) 病名情報の応答

項目名	項目値	備考
病名	胃炎	
病名コード	20054174(胃炎)	
病名交換用コード	TSQF	
修飾語コード		
修飾語交換用コード		
修飾語コード		
修飾語交換用コード		
修飾語コード		
修飾語交換用コード		
ICD-10	K297	
転帰区分	回復せず	
保険種別	01	
管理番号	123456789012345	
版数	01	
診断日	2006/12/31	
開始日	2006/12/31	
転帰日	2007/1/15	
終了日	2007/1/15	
更新日時	2007/1/15	
診断種別	外来時	
主病名		
コメント		

MSH|...<CR>
 MSA|AA|8332<CR>
 QAK|Q002|OK|Z01^Patient disease Query Sample^L|1<CR>
 QPD|Patient Problem Query Sample|Q002|2581159<CR>
 PID|||2581159^P||山田^太郎^L^I~ヤマダ^タロウ^L^P||19700101|M||東京都港区虎ノ門1丁目
 19番9号^1050001^H||03-1234-5678^PRN^PH<CR>
 PRB|AD|20070115|20054174^胃炎^MDCDX2|123456789012345||20061231||20070115|K297^I10^O^外
 来時^JHSD0006|||N^回復せず^HL70241|20070115|20061231|胃炎|1^主診断^JHSD0009|||V^非常に限
 定^HL70177<CR>
 ZPR||20054174^胃炎^MDCDX2||TSQF^胃炎^MDCDX2<CR>
 ZI1|1|01^政府管掌健康保険^JHSD0001|2111|港社会保険事務所|||123456|港(2)
 |20060401|20070331|20070401||SEL^本人^HL70063|19650415|東京都港区虎ノ門1-19-9
 ^1050001||70<CR>
 <EOM>

■ MSAセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	肯定応答コード	AA	
2	メッセージ制御 ID	8332	

■ QAK セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
-----	--------------	---	----

1	照会タグ	Q002	
2	照会応答状態	OK	
3	メッセージ照会名	Z01^Patient disease Query Sample^L	
4	ヒットカウント合計	1	ヒットしたレコードの件数

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	Patient Problem Query Sample	
2	照会タグ	Q002	
3	患者リスト	2581159	

■ PIDセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者IDリスト	2581159^^^^PI	
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	第7成分（名前タイプコード）と第8成分（名前表示コード）は必須。
7	生年月日	19700101	年は西暦
8	性別	M	
11	Patient Address	東京都港区虎ノ門1丁目19番9号 ^^^^1050001^^H	

■ PRBセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	アクションコード	AD	
2	アクション日付/時刻	20070115	
3	プロブレムID	20054174^胃炎^MDCDX2	
4	プロブレムインスタンスID	123456789012345	
7	プロブレムを設定した日付/時刻	20061231	
9	実際のプロブレム解決日付/時刻	20070115	
10	プロブレム分類	K297^^10^O^外来時^JHSD0006	
13	プロブレムの確認状態		
14	プロブレムのライフサイクル状態	N^回復せず^HL70241	
15	プロブレムのライフサイクル状態の日付/時刻	20070115	
16	プロブレムの発生日付	20061231	
17	プロブレムの発生テキスト	胃炎	
18	プロブレムのランキング	1^主診断^JHSD0009	
25	安全保護/感度	V^非常に限定^HL70177	

■ ZPRセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	修飾語コード（接頭語）		
2	病名コード	20054174^胃炎^MDCDX2	
3	修飾語コード（接尾語）		
4	修飾語コード（接頭語）		
5	病名コード	TSQF^胃炎^MDCDX2	
6	修飾語コード（接尾語）		

7	コメント		
---	------	--	--

■ ZI1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID - ZI1	1	
2	保険プランID	01^政府管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社ID	2111	
4	保険者の名称	港社会保険事務所	
10	被保険者番号	123456	
11	被保険者記号	港(2)	
12	保険有効開始日(プラン有効日付)	20060401	
13	保険有効終了日(プラン失効日付)	20070331	
17	保険契約者名との関係(続柄)	SEL^本人^HL70063	
18	被保険者生年月日	19650415	
19	被保険者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9^^^1050001	
21	保険の負担割合	70	